

# イザヤ書

イザヤ研究所訳

アブラハム・ギレアディ



Hebraeus Press

イザヤ研究所インターナショナル

The Book of Isaiah: Isaiah Institute Translation  
English Edition Copyright © 2012 by Hebraeus Press  
Japanese Edition Copyright © 2026 by Isaiah Institute International  
[www.IsaiahProphecy.com](http://www.IsaiahProphecy.com)

All rights reserved  
Japanese Edition E-Book ISBN 978-4-910531-04-5

記事やレビューの中に含まれている短い引用文を除き、本書のいかなる部分も、出版社の書面による許可なしに複製することはできません。ヘブライアス出版 P.O.Box 91382, San Diego, CA 921692. 本書は、いかなる宗教、教会、宗派の見解をも提示しておらず、一切の責任は著者のみが負うものです。

## アブラハム・ギレアディ博士の紹介

アブラハム・ギレアディ博士は第二次世界大戦中のオランダに生まれました。第二次世界大戦中、一家でニュージーランドに移住し、若いころはジャズやロックの人気ミュージシャンとして活動。その後、精神的なルーツに戻るために音楽を諦めてイスラエルへ移住し、エルサレムのラビ養成学校にてヘブライ語やユダヤ人の文化、ユダヤ人特有の聖典の分析方法を学びます。5年間の移住生活の後、米国ブリガム・ヤング大学にてヘブライ語聖書と古代中東学を専門に修士号と博士号を取得します。博士課程修了後、さらに10年間の研究を通して発見したイザヤの文学手法と分析結果に基づき、イザヤ書の解説書を継続的に出版してきました。その研究は研究者たちに、イザヤ書の解釈を根本から変えるほどの影響を与えていきます。

## イザヤ研究所とヘブライアス財団

イザヤ研究所(Isaiah Institute)は、預言者イザヤ(紀元前742–701年頃)のメッセージを広めることを目的として、米国NPOヘブライアス財団により2000年に設立されました。同研究所では、アブラハム・ギレアディ博士によるイザヤ書の画期的な研究と分析が、終末に関する預言者イザヤのメッセージを世界中に伝えための理想的なリソースであると考えており、そのため博士の書籍や講義などを様々な媒体により世界中に広めるボランティア活動を行っています。

イザヤ研究所インターナショナルは、今の時代に生きるわたしたちにとって極めて重要なイザヤ書の解説書を英語圏外に広めることを目的として、イザヤ研究所の外国語部門として2018年に立ち上げられました。2021年5月からは日本で一般社団法人としての認可を受けて、イザヤ書の解説書を日本語やその他の言語に翻訳し出版する事業を展開しています。

イザヤ研究所インターナショナル ホームページ  
[www.isaiahinstitute.jp](http://www.isaiahinstitute.jp)



# イザヤ書

## イザヤ研究所訳

### 表記についての説明

- 1) ヘブライ語の散文から翻訳されたイザヤ書の節は、ページの端から端へと続いています。詩で書かれた節は字下げが入れられています。

【例】イザヤ 6:8–9(8–9 節前半は散文、9 節後半以降は詩。)

8 それから、わたしはこう語られるわたしの主の声を聞いた。「わたしは誰を遣わそうか。誰が我々のために行くだろうか。」それでわたしは答えて言った。「ここにわたしがおります。わたしをお遣わしください。」

9 すると主は言われた。「行って、これらの民に告げなさい。

散文

『聞き続けなさい。だが理解することはない。』  
見続けなさい。だが悟ることはない。』

詩(字下げあり)

- 2) 不完全な表現、あるいは難しい言い回しを明確にするために本文に挿入された言葉は斜体で表示されています。

【例】イザヤ 24:14

14 そのとき、これらの者は声を上げて、喜んで叫び、  
海の向こう側の者たちは、エホバの知恵に歓喜する。

- 3) 難解な単語やフレーズには、それらの後に上付き文字<sup>a</sup>、もしくは<sup>b</sup>前後に二つの同じ上付き文字<sup>b</sup>が付けられており、脚注があることを示しています。脚注は各章ごとにアルファベット順に記されており、各節はその番号によって示されています。

【例】イザヤ 48:14

14 あなたがたすべての者よ、集まって聞け。

あなたがたの中で<sup>f</sup>これらのことを行つて告げたのは誰か。

<sup>f</sup>14 ヘブライ語 *bahem*(彼らの中で)を *bakem* に修正。

4) 脚注の略語には次のようなものがあります。

□—マソラ本文。本翻訳文の基となったヘブライ語正典。

▣—聖マルコ修道院収蔵の死海文書(1QIsa<sup>a</sup>)に記されたイザヤ書。

(訳注:クムランにて発見)

▤—旧約聖書のギリシャ語七十人訳聖書。

5) 本文で場所を移動した単語やフレーズは、亀甲括弧〔 〕で補正され、脚注<sup>a</sup>で示されています。

【例】イザヤ 30:29

29 しかし、あなたがたのためには

祭りが始まる夜のように歌声がある。

人々がエホバの山、イスラエルの岩へ向かう道中で

笛〔と太鼓とて琴〕<sup>c</sup>を鳴らして行進するときのように

心に喜びがある。

---

<sup>c</sup>29 おそらく原文に挿入場所の置き間違いがあったと思われる 32 節の、「死闘に見舞われる」に続く言葉をここへ移動。

6) 本文で場所を移動した節は脚注<sup>a</sup>で示されています。

【例】イザヤ 32:19(14 節と 15 節の間に移動)

19<sup>a</sup> 霽によって森は倒され、

街はことごとく平地となるからである。

---

<sup>a</sup>19 この節は本文での順番が間違っていると思われる。

7) エホバ、主の僕、またはアッシリア/バビロンの王の仮名として機能する隠<sup>いん</sup>ゆ<sup>てき</sup>喻的なキーワードは、強調書体で示されています。

【例】イザヤ 11:4

4 彼は義をもって貧しい者を裁き、

公正をもってその地の身分の低い者のために仲裁する。

彼はその口の鞭をもって地を打ち、

その唇の息をもって悪人を殺す。

# イザヤ書

## 第1章

1 アモツの息子イザヤが、ユダの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの治世にユダとエルサレムについて見た示現。

2 天よ、聞け。地よ、耳を傾けよ。

エホバが語られた。

「わたしは息子らを養い、育てた。

しかし彼らはわたしに逆らった。

3 雄牛はその飼い主を知り、

ろばはその主人の畜舎を知る。

しかしイスラエルは知らない。

わたしの民は悟らない。」

4 ああ、道を外れた国民、

罪の重い民、

悪を行う者の子孫、

よこしまな子らよ。

彼らはエホバを捨て、

イスラエルの聖者を拒絶し、

背教に陥った。

5 なぜわがままを重ね、

なおも打たれようとするのか。

頭はことごとく病み、

心はすっかり病におかされている。

6 足の裏から頭まで、

健やかなところはどこもなく、

傷と、打ち傷と、生傷ばかりだ。

これらの傷は押し出されず、包まれず、

軟膏で和らげされることもない。

7 あなたがたの地は荒れ廃れ、  
あなたがたの町々は火で焼かれ、  
生まれ故郷はあなたがたの前で異国人に食い尽くされ、  
他国人に奪われ荒廃した。

8 シオンの娘は残された。  
ぶどう畠の雨宿り小屋のように、  
うり畠の見張り小屋のように、  
包囲された町のように。

9 もし万軍のエホバが、わずかな生存者を残されなければ、  
わたしたちはソドムのように、  
あるいはゴモラのようになっていたであろう。

10 ソドムの指導者たちよ、  
エホバの言葉を聞け。  
あなたがたゴモラの民よ、  
わたしたちの神の律法を心に留めよ。

11 エホバは言われる、  
「あなたがたがわたしにささげる多くの犠牲は、何が目的なのか。  
わたしは雄羊のささげ物と、  
肥えた獣の脂肪に飽きている。  
雄牛や子羊、雄やぎの血を  
わたしは望まない。」

12 あなたがたがわたしに会いに来るとき、  
そのようにわたしの庭を踏み荒すことを誰が求めるか。

13 あなたがたはもはや、無益なささげ物を携えてきてはならない。  
それらはわたしにとって忌まわしい薫香のようである。  
新月や安息日に集会を開くこと、  
聖なる集まりにある悪事を  
わたしは認めることができない。

14 あなたがたの毎月の集会や定例の集会を、  
わたしの心は忌み嫌う。

それらはわたしの重荷となっており、  
わたしはそれらに耐えるのに倦み疲れている。

- 15 あなたがたが手を伸べるとき、  
わたしは自分の目を覆う。  
あなたがたは長い間祈るが、わたしは聞かない。  
あなたがたの手は血にまみれている。

16 あなたがたの身を洗って、清めなさい。

わたしの目の前から

あなたがたの悪い行いを取り除き、  
悪を行うことをやめなさい。

- 17 善を行うことを習いなさい。公正を求め、  
虐げられる者のために立ち上がりなさい。  
孤児の訴えを弁護し、  
寡婦のために懇願しなさい。」

18 「さあ、来なさい。真偽を問おうではないか」と、  
エホバは言われる。

「あなたがたの罪は縛のようだが、  
雪のように白くすることができる。  
それらは紅のように赤く染まったが、  
羊の毛のように白くなることができる。

- 19 もし、あなたがたが進んで行い従うなら、  
地の良い物を食べるだろう。

20 しかし、あなたがたが拒んで背くなら、  
剣の餉食になるだろう。」

エホバは御自分の口によってこれを語られた。

- 21 どうして、忠実な町が  
娼婦になってしまったのか。  
そこには公正が満ち、  
義がそこに宿っていた。  
しかし、今は人殺しで満ちている。

22 あなたの銀はかすとなり、  
あなたのぶどう酒は水で薄められている。

23 あなたの統治者たちは反逆者で、  
強盗どもの仲間である。

一人残らず賄賂を愛し、  
報酬を追い求める。  
彼らは孤児に公正を施さず、  
寡婦の訴えは彼らの前に届かない。

24 それゆえ、万軍のエホバ、  
イスラエルの勇者である主は告げられる。  
「彼らは災いだ。  
わたしは敵対する者を絶やし、  
わたしの敵に報復しよう。」

25 わたしはわが手をあなたの上に回復し、  
るつぼ<sup>a</sup>の中のように、あなたのかすを溶かし出し、  
あなたの混ざり物をすべて取り除く。

26 わたしは、あなたの裁き人を最初のように、  
あなたの助言者を初めのように回復する。  
その後、あなたは義の町、  
忠実な町と呼ばれる。」

27 シオンは正義によって、  
その中の、悔い改める者は義によって<sup>b</sup>贖われるからである。  
28 しかし、犯罪者と罪人は、  
完全に打ち碎かれる。  
エホバを捨てる者たちが滅ぼし尽くされるとき。

---

<sup>a</sup>25 ヘブライ語の *kabbor* と *potash/lye* は、*kakur* に修正。48:10 と比較。

<sup>b</sup>27 訳注)ヘブライ語で「代価を支払って解放し、救出する」の意。イザヤ 29:22;35:  
10;51:11 も同じ。

- 29 あなたがたは<sup>a</sup>、大切にしていた櫻の木のゆえに恥を受け、  
好んでいた園のゆえに赤面する。
- 30 あなたがたは葉の枯れた櫻の木のようになり、  
水の枯れた園のようになる。
- 31 力ある者はくずのようになり、  
その業は火花のようになる。  
両方とも燃え上がり、  
それを消す者はいない。

## 第2章

1 アモツの息子イザヤが示現で見たユダとエルサレムについての預言。

- 2 末日に、  
エホバの家の山は、  
山々の頭として確立され、  
もろもろの丘の間で傑出し、  
すべての国々はこれに流れくる。
- 3 多くの民は来て言う。  
「さあ、わたしたちはエホバの山に、  
ヤコブの神の家に登り行こう。  
主は御自分の道をわたしたちに教え、  
わたしたちがその道に従えるようにされる。」
- 律法はシオンから出、  
エホバの言葉はエルサレムから出るからである。
- 4 主は国々の間で裁きを行い、  
多くの民のために仲裁をされる。  
彼らは剣を打ち直してすきとし、  
やりを打ち直して鎌とする。  
国は国に向かって剣を上げず、

<sup>a</sup>29 ヘブライ語で「彼ら」の意。

<sup>a</sup>2 囮のとおり。囮では *bet essentiae* 「～に/～として」。

彼らはもはや戦いのことを学ばない。

5 ヤコブの家よ、来たれ。

さあ、わたしたちはエホバの光に従おう。

6 エホバよ、あなたは御自分の民、

ヤコブの家を見捨てられた。

それは彼らが、ペリシテ人のように

東方から来た靈媒師たちに連なり<sup>b</sup>、

幼稚な異教徒に満足しているからだ。

7 彼らの地には金銀が満ち、

その富には限りがない。

彼らの地には馬が満ち、

その戦車も限りがない。

8 彼らの地には偶像が満ち、

彼らは自分の手の業、

自分の指で作った物を挙げる。

9 こうして人々が自らを卑しめるとき、

人は低くされる。

彼らをお赦しにならないように。

10 岩の中に入り、ちりの中に隠れよ。

エホバの臨在の莊厳さと、

その栄光の輝きを避けて。

11 人々の傲慢な目は低くされ、

人の高ぶりは卑しめられる。

その日には、ただエホバだけが高められる。

12 万軍のエホバは、

すべて誇り高ぶる者と傲慢な者と、

自らを高くするすべての者が

低くされる日を備えておられる。

---

<sup>b</sup>6 ヘブライ語の接続詞 *we* を前置詞 *be* に修正。

- 13 その日は、自らを高くする  
     そびえ立つレバノンのすべての杉と  
     バシャンのすべての櫻の木、
- 14 すべての高い山々と高地の丘、
- 15 すべての高い塔と堅固な城壁、
- 16 商船と娯楽船<sup>b</sup>  
     〔海に浮かぶすべての船〕<sup>c</sup>に臨む。
- 17 人々の傲慢は卑しめられ、  
     人の高ぶりは低くされる。  
     その日には、ただエホバだけが高められる。
- 18 主は偽りの神々をことごとく取り除かれる。
- 19 主が立ち上がり、恐怖をもって地を打たれるとき、  
     人々は岩のほら穴に入り、  
     地の穴に入る。  
     エホバの臨在の莊厳さと  
     その栄光の輝きを避けて。
- 20 その日、人々は拝むために自ら作った  
     銀の偶像と金の神々を、  
     もぐらやこうもりに  
     投げ与える。
- 21 主が立ち上がり、恐怖をもって地を打たれるとき、  
     人々は岩の割れ目に入り、  
     崖の裂け目に入る。  
     エホバの臨在の莊嚴さと、  
     主の栄光の輝きを避けて。
- 22 人間の物に頼ることをやめよ、  
     鼻で息をするだけの者に。

<sup>b</sup>16 ヘブライ語では「タルシシュの船」。<sup>c</sup>16 囮のとおり。囮にはない。

そのような者に何の価値があろうか。

### 第3章

- 1 まさに今、主なる万軍のエホバは  
　　ユダとエルサレムから  
　　杖と支えとともに取り去られる。  
　　すなわち、すべての食糧と水、
- 2 勇士と戦士、  
　　判事と預言者、占い師と長老、
- 3 下士官と高官、  
　　議官と熟練した職人、雄弁な者を取り去られる。
- 4 「わたし、エホバは、年若い者たちをその統治者とし、  
　　素行の悪い者たちに彼らを牛耳らせる。
- 5 民は互いに虐げ合い、  
　　人はおのれの隣人を虐げる。  
　　若者は年長者に対して、  
　　卑しい者は高潔な者に対して尊大に振る舞う。
- 6 そのとき、人はその父の家にいる兄弟をつかまえて言う。  
　　「あなたは外套を持っている。  
　　わたしたちの指導者となり、  
　　この荒廃を治めてくれ」と。
- 7 しかしその日、彼はその手を挙げ、声を張り上げて言う。  
　　「わたしは癒す者ではない。  
　　わたしの家には食物も衣服もない。  
　　わたしを民の指導者にしないでくれ」と。
- 8 エルサレムはつまずき、ユダは倒れる。  
　　その舌と行いがエホバに背いており、  
　　まさに主の目の前で  
　　主の栄光を侮辱するものであるからだ。
- 9 彼らの本性はその顔つきに表れている。

彼らはソドムのようにその罪を見せびらかし、  
それを隠すことができない。

彼らの魂は災いだ。

彼らは自ら災難を招いたのだ。

10 義人に告げよ、彼らは幸いであると。

彼らはその働きの実を食べる。

11 しかし悪人は災いだ、

惨禍が彼らを襲うとき。

彼らは自らの業ゆえに

報いを受けることになる。

12 わたしの民はどうかと言えば、幼子が彼らを従わせ、

女たちが権力を振りかざす。

ああ、わたしの民よ、あなたの指導者たちはあなたを誤らせ、

あなたの伝統的な道を廃する。

13 エホバは立場を公言し、彼らと争われる。

国々を裁くために立ち上がられた。

14 主は御自分の民の長老たちと統治者たちを

裁きにかけて、彼らに言われる。

「ぶどう畑を食い荒したのはあなたがたである。

あなたがたは乏しい者から奪って自らの家を満たしている。

15 あなたがたはわたしの民を虐げ、

貧しい者を恥入らせるとはどういうことか」と、

万軍のエホバは言われる。

16 さらにエホバは言われる。

シオンの女たちは高ぶり、

気取って、その目を縁取り、

歩くときにはいつもこびを売り、

その足でコツコツと音を鳴らすゆえに、

17 わたしの主はシオンの女たちの頭を

かぶろをもって悩まされる。

エホバは彼女たちの隠れたところを露わにされる。

18 その日、わたしの主は彼女たちの美しい衣服をはぎ取られる。すなわち、足首の飾り、髪飾り、月形の飾り、19 耳輪、首飾り、スカーフ、20 頭飾り、腕輪、飾り帯、香の入れ物、お守り、21 指輪、鼻飾り、22 晴れ着、肩掛け、羽織着、財布、23 薄手の靴下、透けた麻布、帽子、外套などをはぎ取られる。

- 24 そして芳香は代わって悪臭となり、  
帯は代わって縄に、  
整えられた髪型は代わってかぶろに  
晴れ着は代わって粗布の下帯になる。  
美しさは代わって  
屈辱となるからである。<sup>a</sup>
- 25 あなたの男たちは剣で倒され、  
あなたの軍隊は戦争で撃ち破られる。
- 26 シオンの門は悲嘆にくれて荒れ果てる。  
シオンは奪い尽くされて地に座する。

## 第4章

- 1 その日、七人の女が一人の男に  
取りすがって言う。  
「わたしたちは自分の食物を食べ、  
自分の衣服を着ます。  
ただわたしたちをあなたの名によって呼ばれるようにし、  
わたしたちの恥を取り除いてください。」

2 その日、エホバの苗木は麗しく輝き、地の産物はイスラエルの生き残った者たちの誇りと栄光になる。3 そのとき、シオンに残された者、エルサレムにとどまる者、すなわちエルサレムに生きる者として書き記されたすべての者は、聖なる者と呼ばれる。4 これは、わたしの主が正義の靈と、焼き尽くす風によつてシオンの女たちの汚れを洗い流し、エルサレムをその流血から清められ

---

<sup>a</sup>24 「匁」とおり。この言葉は匁にはない。

るときに起こる。5 エホバは、シオンの山の全域に、またその聖会の上に、昼は雲を、夜は火で輝く霧を生じさせられる。栄光あるすべてのもののに天蓋がある。6 それは昼の熱を遮る避け所となり、陰となり、嵐と雨から逃れる隠れ場所となる。

## 第5章

- 1 わたしはわたしの愛する者のために  
 その者のぶどう畑について愛の歌を歌おう。  
 わたしの愛する者は  
 よく肥えた丘の上にぶどう畑を持っていた。  
 2 彼はそこを耕し、石を取り除き、  
 そこに選りすぐりのぶどうの木を植えた。  
 彼はその中に見張り台を建て、  
 ぶどうの搾り場も設けた。  
 そして彼はぶどうの実がなるのを待ち望んだ。  
 ところが、なったのは野ぶどうであった。
- 3 さあ、エルサレムに住む者たちと、ユダの人々よ、  
 わたしとぶどう畑の間を裁きなさい。
- 4 わたしがぶどう畑のためにしたことのほかに、  
 さらに何かできたことがあつただろうか。  
 わたしはぶどうの実がなるのを期待したのに、  
 なぜ野ぶどうがなったのか。
- 5 そこで、わたしがぶどう畑になそうとすることを  
 今あなたがたに告げよう。  
 わたしはその垣を取り去って、  
 焼かれるままに任せよう。  
 わたしはその壙を取り壊して、  
 踏みにじられるに任せよう。
- 6 わたしはそれを荒廃させ、  
 刈り込みもせず耕しもせず、

- いばらとおどろとを生い茂らせる。  
さらに、わたしは雨雲に命じて雨を降らせない。  
7 万軍のエホバのぶどう畠はイスラエルの家であり、  
ユダの民は主の大切な果樹園である。  
主は公正を期待されたのに、  
そこにあるのは不正であった。  
義を期待されたのに、  
そこにあるのは叫びであった。
- 8 災いだ、家に家を建て連ね、  
田畠に田畠を連ねて空き地をなくす者よ。  
あなたがたは地の中心地に  
住むほかなくなる。  
9 万軍のエホバがわたしの耳にこれを語られた。  
「必ずや多くの家が荒れ廃れ、  
大きく麗しい家々に住む者は誰一人いなくなる。  
10 十エーカー<sup>a</sup>のぶどう畠はわずか一バテ<sup>b</sup>の実しか実らせず、  
一ホメル<sup>c</sup>の種もわずか一エバ<sup>d</sup>の実しか結ばない。」
- 11 災いだ、朝起きるとすぐに強い酒を追い求め、  
夜の宴会に長居して、  
酒に身を焼かれる者よ。  
12 彼らの宴会にはハープとたて琴、  
鼓と笛とぶどう酒とがある。  
しかし、彼らはエホバのなさる業に目を留めず、  
その手の業を認めない。
- 13 それゆえ、わたしの民は

---

<sup>a</sup>10 ヘブライ語「十つなぎ」。一日で 10 つなぎの雄牛で耕せる土地。

<sup>b</sup>10 約 22 リットル。

<sup>c</sup>10 約 220 リットル。

<sup>d</sup>10 1 ホメルの 10 分の 1。

- 理由を知らされずに追放される。
- その高貴な者たちは飢えて死に、民衆は渴きにより滅びる。
- 14 隕府は貪欲となり、  
飽くことなくその口を開く。  
名士たちは、民衆と、  
荒々しい者や飲み騒ぐ者とともに、その中に身を落とす。
- 15 人々が自ら堕落するとき、  
人は低くされ、  
高ぶる者の目は曇る。
- 16 しかし、万軍のエホバは  
公正な裁きによって高くされ、  
聖なる神はその義によって  
御自分が聖なる者であることを示される。
- 17 そのとき、主の羊は、自分の牧場で草をはみ、  
改宗者は富豪の廃墟で食する。
- 18 災いだ、むなしい執着によって罪に引き寄せられる者たち、  
引かれ行く車のように背きにつながれる者たちよ。
- 19 彼らは心に思って言う。「主にその業を急がせよ、  
我々がそれを見られるように。  
イスラエルの聖者の計画を、すぐにも行わせよ、  
我々が知ることができるよう。」
- 20 災いだ、悪を善と見なし、  
善を悪と見なす者たちよ。  
彼らは闇を光とし、  
光を闇とする。  
彼らは苦さを甘さとし、甘さを苦さとする。
- 21 災いだ、自分を知患者と見なす者、  
自分を利口者と見なす者よ。
- 22 災いだ、ぶどう酒を豪飲する者、

濃い酒を混ぜ合わせるのに長けた者よ。

23 災いだ、賄賂を受け取って罪人を釈放しながら、

罪なき者への正義を拒む者たちよ。

24 燃え盛る火がわらを焼き尽くすように、

乾いた草が炎の前でしなびるように、

彼らの根は朽ち果て、

その花はちりのように舞い上がる。

それは、彼らが万軍のエホバの律法を軽んじ、

イスラエルの聖者の言葉を罵ったからだ。

25 それゆえ、エホバの怒りは

御自分の民に向かって燃え上がる。

主は御自分の手を後ろに引いて、

彼らを打たれる。

山々は震え、彼らの死体は

通りに散乱する。

それでもなお、主の怒りは鎮められず、

主の手はなおも挙げられている。

26 主は遠く離れた国々に向けて旗を掲げ、

地平線のかなたから彼らを呼び集められる。

すぐに彼らはやって来る、急いで速やかに。

27 彼らの中には疲れる者も、

つまずく者もいない。

まどろみもせず、眠りもしない。

その腰の帯はゆるます、

履物のひもがほどけることもない。

28 彼らの矢は鋭く、

弓はすべて張られている。

その軍馬の足音はまるで火打ち石のようだ。

戦車の車輪の回転する様はまるで旋風のようだ。

29 それらは獅子のようにはえる。まるで若い獅子のように駆り立てられ、  
うなり、獲物を捕らえて逃げ去るので、  
救い出すためにやって来る者は誰一人いない。

30 その日、海が荒立つように、  
アッシリアの王は彼らに向かって煽り立てられる。  
そして人が地に目をやると、  
悲惨な闇もある。  
立ち込める靄により  
昼間の光は暗くなるからである。

## 第6章

1 ウジヤ王が死んだ年に、わたしは主が高く上げられた王座に座しておられるのを見た。その衣の裾は、聖所を満たしていた。2 主の頭上近くにセラフたちが立ち、各々六つの翼を持っていた。二つの翼で自らの面前を覆い、二つの翼でその足元を覆い、二つの翼で飛んでいた。3 彼らは互いに呼び交わして言った。

「いと聖なる御方である、万軍のエホバ。  
全地の完成である、主の栄光。」

4 聖所の入り口は、呼ばわる者たちの声により土台まで揺れ動き、神殿は霧で満たされた。

5 そのときわたしは思った。「わたしは災いだ。わたしは口が利けなくなったが、それはわたししが言葉の清くない者で、言葉の清くない人々の中に住んでいるからだ。わたしは自分の目で王なる万軍のエホバを見たのだから。」

6 すると、セラフの一人が、祭壇の上から取った炭の燃えさしを火箸で携え飛んで来た。7 それをわたしの口に触れて、セラフは言った。「見よ、これがあなたの唇に触れた。あなたの罪は取り除かれ、あなたの背きは贖われた。」

8 それから、わたしはこう語られるわたしの主の声を聞いた。「わたしは誰を遣わそうか。誰が我々のために行くだろうか。」それでわたしは答えて言った。「ここにわたしがおります。わたしをお遣わしください。」

9 すると主は言われた。「行って、これらの民に告げなさい。

『聞き続けなさい。だが理解することはない。

見続けなさい。だが悟ることはない。』

10 これらの民の心を鈍らせ、

耳を聞こえにくくし、目を閉ざしなさい。

それは彼らがその目で見、

その耳で聞き、その心で悟り、

悔い改めて、癒されることの

ないためである。」

11 それでわたしは答えて言った。「わたしの主よ、いつまでですか。」すると  
主は言われた。

「町々が荒れ廃れて、

住む者がいなくなり、

家々には人がいなくなり、

地が廃墟と化すまでである。」

12 それはエホバが人々を遠くへ追いやられ、

大勢の人が地の中心地から

こそって出て行くからである。

13 それでも、民の十分の一は

なおもその地にとどまるか、あるいは戻って来るが、

彼らは焼き尽くされる。

しかし、テレビンの木、または櫻の木が

切り倒されるとき、その切り株が生き残るように、

その地には聖なる子孫が残される。

## 第7章

1 ウジヤの息子ヨタムの息子アハズがユダの王であったときに、アラムの王  
レツインとイスラエルの王であるレマルヤの息子ペカが、エルサレムに上って  
来て攻めたが、勝つことができなかった。

2 アラムがエフライムを扇動しようとしているとの知らせがダビデの家に入ったとき、王の心と民の心は強風に揺らぐ森の木々のように動搖した。

3 そのとき、エホバはイザヤに言われた。「あなたとあなたの息子シェアル・ヤシュブ<sup>a</sup>とは出て行って、洗濯場に向かう道にある上流貯水池の水路の端で、アハズに会い、4 彼にこう言いなさい。『落ち着いて、恐れずにいなさい。レツィンとアラムとレマルヤの息子の激しい怒りによって、燃え立ちくすぶるたきつけの端におびえてはならない。5 アラムとエフライムおよびレマルヤの息子が、あなたに対して共謀し、6 「我々はユダに攻め上って、騒動を起こそう。武力をもってユダを我々のものとし、タビエルの息子をそこの統治者に据えよう」と言ってもおびえてはならない。』」

7 わたしの主なるエホバはこう言われる。

「このことは起こらず、そのようににはならない。

8 ダマスコはアラムの首都であり、

レツィンはダマスコの頭であることが確かであるように、  
エフライムは六十五<sup>b</sup>年のうちに

崩壊して国を成さなくなるからである。

9 しかし、サマリアがエフライムの首都であり、

レマルヤの息子がサマリアの頭であることが確かであるように、  
あなたはこのことを信じない。

それはあなたが忠実ではないからである。」

10 エホバは再びアハズに告げて言われた。11 「あなたの神であるエホバから自分のためにしを求めるなさい。地の下の深い所にも、地の上の高い所にも。」12 しかしアハズは言った。「わたしはいたしません。わたしはエホバを試みることをいたしません。」

13 そこでイザヤは言った。「ダビデの家よ、心に留めよ。あなたは人の忍耐を試すだけでは足りず、わたしの神の忍耐をも試そうとするのか。

14 それゆえ、わたしの主は自らあなたにしを与えられる。身ごもった若

<sup>a</sup>3 「残りの者は戻る」の意。

<sup>b</sup>8 多くの解説者は「六か五」としている。

い女が男の子を産み、その子をインマヌエル<sup>a</sup>と名付ける。15 悪を退け、善を選ぶことを学ぶようになるまで、その子はクリームと蜂蜜を食べる。16 しかし、その子が悪を退け、善を選ぶことを学ぶ前に、あなたが忌み嫌う二人の統治者が治めるその地は捨てられる。17 エホバはエフライムがユダから分かれてこのかた、かつて臨んだことのない日を、あなたとあなたの民と、あなたの父の家にもたらされる。それはアッシリアの王の日である。

18 その日に、エホバは遠くのエジプトの川々からハエを呼び、またアッシリアの地にいる蜂を呼ばれる。19 するとそれらはやって来て、草原を流れる川の川床や岩の多い谷間に、またあらゆる溝や水たまりのそばに一斉に陣取る。20 その日に、わたしの主は、川で雇われたかみそりであるアッシリアの王を使って、あなたの頭と足の毛をそり、ひげさえも切り落とされる。

21 その日に、一人の男が若い牛一頭と羊二頭を生かしておく。22 そして、これらは乳をたくさん出すので、人々はクリームを食べる。その地に残された者は皆、クリームと蜂蜜を食べる。

23 その日に、銀千枚に値する千株のぶどうの木があったすべての土地は、いばらとおどろに覆われる。24 全地が荒れ野に戻るので、人々は弓と矢を持ってそこへ行く。25 そして、いばらとおどろを恐れるあまりに、あなたはもはやくわで耕された丘のどこにも行かなくなるが、そこは牛の放牧地となり、羊が踏む所となる。」

## 第8章

1 エホバはわたしに言われた。「大きな巻物を一巻取って、その上に普通の文字で、『略奪を急がせ、戦利品を速やかに運ばせよ』と書きなさい。」2 そこで、わたしは確かな証人として、祭司ウリヤとエベレキヤの息子ゼカリヤを呼び入れた。

3 わたしが女預言者と一緒にいたときに、彼女は身ごもって男の子を産んだ。すると、エホバはわたしに言われた。「この子をマヘル・シャラル・ハシュ・バズ<sup>a</sup>と名付けなさい。4 それは、この子が『お父さん、お母さん』と言えるようになる

---

<sup>a</sup>14 「神はわたしたちとともにいます」の意。

<sup>a</sup>3 「略奪を急がせ、戦利品を速やかに運ばせよ」の意。

前に、ダマスコの富とサマリアの略奪品は、アッシャリアの王の前に運び去られるからである。」

5 エホバはまた重ねてわたしに言われた。

6 「これらの民は穏やかに流れるシロアの水を拒み、

レツインとレマルヤの息子を喜ぶからである。

7 それゆえ、わたしの主は勢いよくみなぎる川の水を、

彼らの上に来たらされる。

それはアッシャリアの王と、

そのすべての栄光のことである。

彼はすべての水路にあふれ、

すべての土手からあふれ出る。

8 彼は洪水のようにユダヤに押し入り、

通り抜けて、首にまで達する。

インマヌエルよ、

その広げた翼は

あなたの国一帯にあまねく及ぶ。」

9 国々は協定を結ぶが

打ち破られる。

すべての遠くの地よ、心に留めよ。

互いに鼓舞し合うだろうが、

あなたがたは恐れる。

武装するだろうが、

あなたがたは脅える。

10 あなたがたが談合しても、

それらのことは無に帰する。

あなたがたが提案しても、

それらのことは立ち行かない。

神はわたしたちとともにおられるからだ。

11 エホバはわたしの手を握って語り、これらの民の道を歩まないよう、わたしを諭された。主はこう言われたからである。

12 「この民が陰謀と呼ぶものを  
すべて陰謀と呼んではならない。」

彼らが恐れるものを  
恐れおののいてはならない。」<sup>せい</sup>

13 万軍のエホバのみを聖として、

あなたの恐れとし、  
あなたのおののきとせよ。

14 そうすれば、主はあなたにとって聖所となる。

しかしイスラエルの両家にとっては  
つまずきの石となり、妨げの岩となる。  
また、エルサレムに住む者にとっては  
不意に捕らえるわなとなる。

15 多くの者はこれにつまずき、

倒れるときに打ち碎かれる。  
わなにはまるとき  
彼らは捕らえられる。」

16 エホバはこう言われたからである。

「証を束ね、律法をわたしの弟子たちのうちに封じなさい」と。  
17 わたしは、エホバを待ち望む。

ヤコブの家から御顔を隠しておられる主を  
わたしは待ち望む。」

18 わたしと、エホバがわたしに賜った子供たちに関して言うならば、わたしたちはシオンの山に住まわれる万軍のエホバから与えられる、イスラエルにおけるしるしであり、前ぶれである。

19 人々が、「集まってつぶやく靈媒や口寄せに尋ねよ」とあなたに言うときに、彼らに言いなさい。「人は神に尋ねるべきではないか。教義や証について、生きている者の代わりに死んだ者に尋ねるべきであろうか。」  
20 確かに、彼らはそうした光によらない言葉を語る一方で、  
21 飢えに苦しみさまよう。彼らは飢えると、激しく怒り、天を見上げて、自分たちの王と自分たちの神を呪う。  
22 彼らは地に目をやるが、そこには苦惱と闇の陰鬱な光景が広がっている。

このようにして彼らは外の暗闇に追いやられる。

## 第9章

1 しかし、彼女のために苦悩してきた者たちには、闇がなくなる。かつて主はゼブルンの地とナフタリの地を低くされたが、最後に主は国々のガリラヤのヨルダン川に沿った海路を高く上げられる。

2 闇の中を歩む民は、

明るい光を見た。

死の影の地に住む者たちに、

夜明けの光が差した。

3 あなたは国土を大いに広げ、

その喜びを増し加えられた。

人が刈り入れ時に喜ぶように、

また戦利品を分かつときに喜ぶように、

彼らはあなたの前で喜ぶ。

4 それは、ミディアン人が打ち負かされた日のように、

あなたが彼らの重荷となるくびきと、

服従の杖と、

彼らをしいたげる者の鞭とを、

打ち碎かれたからだ。

5 そして、戦いで使われたすべての靴と

血まみれになった外套は

かがり火のたきつけとなった。

6 それは、わたしたちのために一人の子が生まれた、

一人の息子が任じられたからだ。

その子はその肩にまつりごとの荷を負う。

彼は「驚くべき助言者、雄々しく力ある者、

永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

7 それは、主権が広がり、

平和に終わりがなく、  
ダビデの王座とその王国において、  
その統治が公正と義によって、  
これから後とこしえに確立され、支えられるためである。

万軍のエホバの熱意がこれを成し遂げる。

8 この言葉を、わたしの主はヤコブに送られた。

そして、それはイスラエルに下される。

9 そして、すべての民、

すなわち、エフライムと、サマリアに住む者たちは、

それについて知り、

おごり高ぶった心でこのように言う。

10 「れんがは崩れ落ちたが、

我々は切り石をもって再び建てよう。

桑の木は倒されたが、

我々は杉をもってその代わりとしよう。」

11 しかし、エホバは

彼らの敵をあおり立てるときに

レツインの敵対者を彼らに対して強くされる。

12 アラム人は東から、

ペリシテ人は西から、

口を開けてイスラエルを食い尽くす。

それでもなお、主の怒りは鎮められず、

その手は挙げられたままだ。

13 しかし民は、自分たちを打つ方に立ち返らず、

万軍のエホバに尋ねようとしない。

14 それゆえ、エホバは、イスラエルから

頭も尾も、しゅろの枝も葦も、一日のうちに絶たれる。

15 長老や名士がその頭、

偽りを教える預言者がその尾である。

16 これらの民の指導者たちは民衆を誤らせ、

導かれる者たちは混乱する。

- 17 わたしの主は彼らの若者たちを喜ばず、  
 その孤児や寡婦に憐れみをかけられない。  
 それは彼らが皆、神を認めない悪人で、  
 すべての口が冒瀆を語るからである。  
 それでもなお、主の怒りは鎮められず、  
 主の手は挙げられたままだ。

- 18 悪事は火のように燃え上がり、  
 いばらとおどろとを焼き尽くす。  
 それは木の生い茂る森を燃え立たせ、  
 その煙は渦巻きながら立ち昇り、  
 きのこ状の雲となって膨らみあがる。

- 19 万軍のエホバの激しい憤りで  
 地は焼かれ、  
 民は火のたきつけにすぎない。  
 人は誰も互いに憐れみを抱かない。

- 20 彼らは右手で奪い取っても、なお飢え、  
 左手でむさぼり食っても、満たされない。  
 人々は自分の子孫の肉を食らう。

- 21 マナセはエフライムに、  
 エフライムはマナセに敵対し、  
 両者はともにユダに対して連合する。

- それでもなお、主の怒りは鎮められず、  
 その手は挙げられたままだ。

## 第 10 章

- 1 災いだ、不義な法律を定め、  
 圧政的な法案を書く者は。  
 2 彼らは乏しい者に対して正義を拒み、  
 わたしの民の貧しい者から権利を奪い、

寡婦から略奪し、  
孤児から奪い取る。

3 あなたがたは審判の日に、  
遠くから大殺戮が襲いかかるとき、どうするつもりか。

誰のもとに逃れて助けを求めるつもりか。  
自分の富をどこに残すつもりか。

4 捕らわれた者たちの中で膝をつくか、  
殺された者の中に倒れるほかない。

それでもなお、主の怒りは鎮められず、  
主の手は挙げられたままだ。

5 アッシリヤ人よ、わたしの怒りの鞭よ。  
彼は杖、彼らの手<sup>a5</sup>にあるわたしの激しい憤りである。

6 わたしは神を認めない国に対して  
彼に権限を与える、  
わたしの報復を受けるに値する人々の上に彼を立て、  
略奪品を得るために略奪をさせ、戦利品を得るために分捕らせ、  
路上の泥のように踏みにじらせる。

7 それでも、彼はそのように思わず、  
その心もそのようには考えない。  
彼の目的は、滅ぼし尽くし、  
多くの国民を絶滅させることである。

8 彼は言う。「わたしの司令官たちは  
皆、王ではないか。  
9 カルノはカルケミシュのようではないか。  
ハマトはアルパドのようではないか。  
サマリアはダマスコのようではないか。  
10 わたしは異教の国々、すなわちその彫像が

---

<sup>a5</sup> または、「わたしの激しい憤りは彼の手にある杖である。」

エルサレムとサマリアの彫像に勝っている国々になしたように、  
11 またサマリアとその偶像に行ったように、

エルサレムとその像にも行わないだろうか。」<sup>12</sup> しかしあたしの  
主は、シオンの山とエルサレムで御自分の業をすべて成し遂げるとき、  
アッシリアの王をその悪名高い豪語と恥ずべきうぬぼれのために罰せら  
れる。<sup>13</sup> それは、彼がこう言ったからだ。

「わたしは自分の力と手腕でこれを行った。

わたしは賢いからだ。

わたしは国々の境を取り払い、

それらの国民の蓄えを略奪し、

住民の数を大いに減らした。

14 わたしは巣を手に入れるように、諸民族の富を取り上げた。

人が見捨てられた卵をかき集めるように、

わたしは全地を取り集めた。

その翼を羽ばたく者も、

その口を開けてさえずる者も誰一人としていなかった。」

15 おのはそれを使って切る人よりも、

自らを高くすることがあるだろうか。

のこぎりはそれをひく人よりも、

自らを誇ることがあるだろうか。

まるで鞭がそれを振り上げる人を振り回し、

杖が木で作られていない者を持ち上げるかのようではないか。

16 それゆえ、万軍のエホバなる主は、

彼の肥沃な地に消耗を送り、

燃える炉のように火を燃え上がらせて

その栄光を衰退させられる。

17 イスラエルの光は火となり、

その聖者は炎となられる。

それは一日のうちに燃え上がり

そのいばらとおどろとを焼き尽くす。

- 18 それは彼の選りすぐりの森と肥沃な畠を  
命も体もともに滅ぼし尽くし、  
やせ衰えた沼地にする。
- 19 その森に残る木々は、あまりにも数が少ないと  
子供でもそれらを書き留めることができる。
- 20 その日には、イスラエルの生き残った者と  
ヤコブの家の逃れた者は、  
もはや自分を打った者に頼らず、  
エホバなる、イスラエルの聖者に心から頼る。
- 21 ヤコブの残りの者は  
雄々しく力ある者に立ち返る。
- 22 イスラエルよ、あなたの民が  
海の砂のようであっても、  
残りの者だけが戻って来るからだ。  
滅びが定められていても、  
残りの者は義にあふれる。
- 23 主なる万軍のエホバが、  
全地に定められた  
破壊を余すところなく実行されるからだ。
- 24 それゆえ、わたしの主なる  
万軍のエホバはこう言われる。  
「シオンに住むわたしの民よ、  
アッシリア人を恐れるな。  
たとえ、エジプト人がしたように  
アッシリア人が鞭であなたを打ち、  
その杖をあなたに振り上げても。」
- 25 わたしの怒りはもうすぐやみ、  
わたしの激しい憤りは彼らを滅ぼすからだ。」
- 26 オレブの岩でミディアン人を打たれたときのように

万軍のエホバは、彼らに対して鞭を振り上げられる。  
 かつてエジプト人になされたように  
 主の杖は海にかざされ、  
 主はそれを彼らの上に伸ばされる。

27 その日、彼らの重荷はあなたの肩から取り除かれ、  
 彼らのくびきはあなたの首から取り去られる。  
 あなたの豊かさをすり減らしたくびきは  
 豊かさによってすり減る。

28 彼はアヤトに進軍し、ミグロンを過ぎ、  
 ミクマスにその兵器を配備する。

29 彼らは峠を越え、  
 ゲバで野営する。  
 ラマは警戒を解かず、  
 サウルのギブアは逃げている。

30 ガリムの娘よ、声を上げて叫べ。  
 ライシャよ、彼女に耳を傾けよ。  
 アナトよ、彼女に応えよ。

31 マドメナは道から撤退し、  
 ゲビムに住む者は一目散に逃げ出す。

32 この日、彼はノブに立ちとどまると、  
 シオンの娘の山、エルサレムの丘に向って、  
 進軍の合図をする。

33 すると、わたしの主、万軍のエホバは  
 恐るべき力でそびえる木々を切り落とされる。  
 丈の高いものは切り倒され、  
 そびえ立つものは倒される。

34 茂った森は鉄の力で打ち壊されて、  
 レバノンは見事に倒れる。

## 第 11 章

- 1 エッサイの株から一つの芽が出、  
その接ぎ木から伸びる枝が実を結ぶ。
- 2 その上にエホバの靈がとどまる。  
それは知恵と理解の靈、  
深慮と勇壮の靈、  
知識の靈、エホバを畏れる靈である。
- 3 彼の慧眼はエホバへの  
畏れによって導かれる。  
その目で見るところによって裁きを行わず、  
その耳で聞くところによって立証することもない。
- 4 彼は義をもって貧しい者を裁き、  
公正をもってその地の身分の低い者のために仲裁する。  
彼はその口の鞭をもって地を打ち、  
その唇の息をもって悪人を殺す。
- 5 義はその胴の帶となり、  
忠実さはその腰の帶となる。
- 6 そのとき、おおかみは子羊らの間に宿り、  
ひょうは若いやぎとともに横たわる。  
子牛と若い獅子は<sup>a</sup>ともに食べ<sup>a</sup>、  
幼子がそれらを牧場に導く。
- 7 雌牛と熊が草をはむとき、  
その子らはともに休み、  
獅子は雄牛のようにわらをはむ。
- 8 乳飲み子は毒蛇の穴のそばで遊び、  
歩き始めの子はその手を  
まむしの巣の上に伸ばす。
- 9 わたしの聖なる山のどこにおいても、

---

<sup>a</sup>6 囮のとおり。囮「と肥えた家畜」。

害を加えるもの、けがを負わすものは何一つない。  
 海が一面水で覆われているように、  
 地はエホバを知る知識で満たされるからである。

10 その日、エッサイの小枝は  
 もろもろの民への旗として立ち、  
 国々は彼を探し求め、  
 その安息は栄光に満ちる。

11 その日、わたしの主は再び<sup>b</sup>その手を挙げ<sup>b</sup>  
 御自分の民の残りの者を取り戻される。  
 すなわち、アッシリア、エジプト、パテロス、クシュ、  
 エラム、シンアル、ハマテ、海の島々に  
 取り残された者たちを取り戻される。

12 主は国々に向けて旗を掲げ、  
 イスラエルの追放された者を集め、  
 ユダの散らされた者を  
 地の四方から集められる。

13 エフライムのねたみは去り、  
 ユダのうち敵意を抱く者は絶たれる。  
 エフライムはユダをねたまず、  
 ユダもエフライムを恨まない。

14 しかし、彼らは西方のペリシテ人の側面を襲い、  
 ともに東の民から略奪する。  
 彼らはエドムとモアブを手の内に收め、  
 アンモン人は彼らに従う。

15 エホバは、その<sup>c</sup>大いなる風により<sup>c</sup>、  
 エジプトの海の舌を干上がらせ、  
 また、その手を川の上に伸ばし、  
 それを打って七つの流れとし、

<sup>b</sup>11 ヘブライ語 *senit*(二度目には、*se'et* に修正。11-12 節を 49:22 と比較。<sup>c</sup>15 フレーズの入れ替え。本文では「それを打って」に続く。

歩いて渡れる道を備えられる。

16 そして、取り残された主の民の残りの者のために

アッシリアからの通り道がある。

かつてイスラエルがエジプトの地から上って来たときに

彼らのために道があつたように。

## 第12章

1 その日、あなたは言う。

「エホバよ、わたしはあなたをほめたたえます。

あなたはかつて、わたしのことを怒られたのに、

あなたの怒りは解かれ、

わたしを慰めてくださいました。」

2 「わたしは、わたしの救いの神を<sup>a</sup> 信頼して、恐れません。

エホバは、わたしの救いとなられたとき

わたしの力であり、<sup>b</sup>わたしの歌 <sup>b</sup>であられたからです。」

3 そのとき、あなたは喜びをもって

救いの泉から水をくむ。

4 その日、あなたは言う。

「エホバに感謝し、その御名を呼べ。

その業を国々の間で知らせよ。

その気高い御名を語り伝えよ。

5 エホバをほめたたえて歌え。

エホバは驚くべきことを成し遂げられた。

全地にそれを知らせよ。

6 おお、シオンに住む者たちよ、

声を上げて喜び歌え。

あなたがたのただ中にいます名高い方は、

イスラエルの聖者なのだから。」

---

<sup>a</sup>2 ヘブライ語 'el 'el。団のとおり。団では 'el。

<sup>b</sup>2 ヘブライ語 zimrat ya を zimrati に修正。

## 第13章

1 アモツの息子イザヤが示現で見た、バビロンについての託宣。

2 不毛の山の上に旗を掲げ、  
彼らの間で声を上げよ。  
彼らに手を振って、  
名士の領内に入らせよ。

3 わたしは、わたしの聖なる者たちに命じ、  
わたしの勇敢な者たちを呼び集めた。  
わたしを誇りとする者に<sup>a</sup>わたしの怒りが及ぶことはない<sup>a</sup>。

4 聞け。大勢の群衆のどよめきのように  
山々の上に響く騒乱を。  
聞け。もろもろの国々の集まりのように  
王国の間に広がる騒音を。

5 彼らは地平線のかなたの遠い地からやって来る。  
エホバとその激しい憤りの道具が

全地に破壊をもたらすためにやって来る。

6 嘆き悲しめ。エホバの日は近いからだ。  
その日は全能者からのすさまじい襲撃としてやって来る。

7 そのとき、すべての手は弱くなり  
すべての人の心は萎える。

8 彼らは激しい苦痛のただ中で恐れおののき、  
産気づいた女のように震えおののく。  
人々は互いに見合って驚愕し、  
その顔は炎に包まれる。

9 エホバの日が来る。  
突如燃え上がる怒りと激しい憤りの炎のように。

<sup>a</sup>3 ヘブライ語 *le 'appi 'allize* を *lo' 'appi 'al 'allize* に修正。

地を荒廃させ、  
罪人を滅ぼし尽くすために。

10 天の星と星座は  
その輝きを放たない。  
太陽は昇っても闇に覆われ、  
月もその光を放たない。

11 わたしは世に災難を、  
悪人には罰を定めた。  
わたしは尊大な者の傲慢を止め、  
独裁者の高慢をくじく。

12 わたしは人を純金よりも少なくし、  
人々をオフィルの金よりも希少なものにする。  
13 地が激しく揺さぶられてその場所から移されるとき、  
わたしは天を震え動かす。  
主の燃え盛る激しい憤りの日に、  
万軍のエホバの怒りによって。

14 そのとき、追い立てられる鹿のように、  
または呼び集める者のいない羊の群れのように、  
人はおのの自分の民のもとに戻り、  
誰もが自分の国に逃げ帰る。

15 見いだされる者は誰もが刺し貫かれ、  
捕えられる者はすべて剣によって倒れる。

16 彼らの乳児は目の前で粉々に投げ碎かれ、  
その家は略奪され、その妻は辱められる。  
17 見よ、わたしは、彼らに対してメディア人を扇動する。  
彼らは銀に目もくれず、金を貪りもしない。

18 その弓は若者たちを引き裂く。  
彼らは生まれたばかりの乳児さえ憐れまず、  
その目には子供たちへの思いやりもない。

19 もろもろの王国の中で最も誉れ高く、

カルデア人の栄光と誇りであるバビロンは、  
神がソドムとゴモラを滅ぼされたように倒される。

- 20 再びそこに住む者ではなく、  
代々にわたってそこに再び住みつく者もいない。  
放牧者はそこに天幕を張らず、  
羊飼いがそこで群れを休ませることもない。  
21 しかし、そこには野生の獣が群がり、  
その地の建物はイタチであふれる。  
猛禽がそこに住みつき、  
魔物がその中で飛び跳ねる。  
22 ジャッカルがその宮殿から大声でほえ、  
その享楽の館から様々な生き物がほえ立てる。  
彼女の時は近づいている。  
バビロンの<sup>a</sup>時が長くされることはない。

## 第 14 章

- 1 エホバはヤコブを哀れみ、  
再びイスラエルを選び、  
彼らを自分の地に住まわせて、  
改宗者たちが彼らに固くつき、  
ヤコブの家に加わるようにされる。  
2 国々は、彼らを  
彼ら自身の場所に連れて来る。  
そして、イスラエルの家はエホバの地で、  
彼らを僕として、また仕え女として所有する。  
彼らは自分たちを捕らえていた者を捕らえて虜とし、  
自分たちを虐げていた者を治める。  
3 エホバがあなたを深い悲しみと苦悩から、また堪え難いくびきから解き放

---

<sup>a</sup>22 ヘブライ語「彼女」。

ち、安息を与えられる日に、<sup>4</sup> あなたはバビロンの王に向かって嘲り言う。

「独裁者がどうして果てたのか。

圧政<sup>a</sup>がどうして終わったのか。

5 エホバは悪人の杖と、

治める者たちの鞭を折られた。

6 その者は狙いを誤ることのない襲撃で

怒りのうちに国々を打ち倒し、

容赦ない圧政で

激しい憤りのうちに諸民族を虐げていた。

7 今や全地は安息と平和を享受し、

祝いの歓喜に満ちている。

8 松の木もまたあなたのゆえに喜び、

レバノンの杉も喜んで言う。

『あなたが倒れてから、

わたしたちを切りに来る者は一人もいない。』

9 下の陰府<sup>よみ</sup>はあなたのゆえに騒ぎ立ち、

あなたが来るのを待ち受けており、

あなたのゆえに世の指導者たちの靈を

ござって呼び覚まし、

国々を治めてきた者たちを

ござってその王座から立ち上がらせる。

10 彼らは皆、心動かされ、あなたに向かって次のように言う。

『あなたもわたしたちのように無力になった。

あなたはわたしたちのようになった。』

11 あなたの栄光は、あなたの琴の音とともに

陰府へ投げ落とされた。

あなたの下ではうじが寝床となり、

あなたは虫に覆われている。

---

<sup>a</sup>4 または、「激しい怒り」。団のとおり。囮と囮版は不明。

12 どうしてあなたは天から落ちたのか、  
明けの明星、暁の子よ。  
国々を意のままにしたあなたは  
地に切り倒されてしまった。

13 あなたは心の中でこう言った。『わたしは天に上り、  
わたしの王座を神のもろもろの星よりも高くしよう。  
わたしは神々の集会の山に、  
最も高きザフォンの頂きに座そう。

14 わたしは雲の高みよりも高く上り、  
自らをいと高き者のようにしよう。』

15 しかし、あなたは陰府に落とされ、  
穴の奥底に落とされた。

16 あなたを目にする者たちは  
まじまじとあなたを見詰めて不思議に思う。  
『この人が地を震わせ  
もろもろの王国を揺り動かした者か。

17 この世を荒れ野に変え、  
そのもろもろの町を取り崩し、  
おのれの捕虜たちが家に戻るのを許さなかった者か。』

18 国々のすべての統治者は、  
それぞれ自分の親族の間に安置される。

19 しかし、あなたは忌むべき月足らずの子のように  
葬られることなく投げ捨てられる。  
剣で損なわれた死人のように人目にさらされ、  
その無惨な死体は砂利の穴に投げ込まれる。

20 あなたは自分の地を滅ぼし、  
自分の民を殺したために、  
彼らとともに葬られることはない。  
どうか、悪を行う者の子孫については

もう二度と語られることのないように。

21 彼らの子らを殺戮する備えをしなさい。

彼らの先祖の行いのゆえに。

彼らが再び立ち上がって

世界を我がものとし、

地の面を幾つもの町で満たすことのないように。」

22 「わたしは彼らに対して立ち上がる」と、万軍のエホバは言われる。

「わたしはバビロンの名と残りの者、

その子と子孫とを絶つ」と、エホバは言われる。

23 「わたしはそこを沼地に変え、カラスのたまり場とする。

わたしはそこを破壊のほうきで一掃しようと、

万軍のエホバは言われる。

24 万軍のエホバは誓いを立てて言われた。

「わたしが予見したとおりに事は起こり、

わたしのが計画したとおりに事は成る。

25 わたしは、わたしの地でアッシリアを碎き、

わたしの山々の上で彼らを踏みにじる。

アッシリアのくびきは民から取り除かれ、

その重荷は彼らの肩から取り去られる。」

26 これらは全地において定められたことである。

これはすべての国々の上に挙げられた手である。

27 万軍のエホバが定められたことを、誰が取り消せようか。

主の手が挙げられたとき、誰がその手を払えようか。

28 アハズ王が死んだ年に、この託宣が下った。

29 「ペリシテ人よ、今、あなたがたを打った鞭が

折られたからといって喜んではならない。

あの蛇の子孫の中から

まむしが現れ、

その子孫は火の飛ぶ蛇となるからである。

30 選民である貧しい者は牧場を得、  
 貧しい者は安全に横になる。  
 しかしわたしはあなたの子孫を飢饉で殺し、  
 あなたの生き残った者は殺される。

31 門で泣きわめけ。町で泣き叫べ。  
 ペリシテ人よ、ことごとく溶けて消え去れ。  
 北から煙の柱がやって来る。  
 そして、彼が定めた場所で免れる所は一つとしてない。」  
 32 そのとき、その国の使者たちには何が告げられるのか。  
 「エホバはシオンを築かれた。  
 長く堪え忍んでいる主の民に、そこに隠れ場を見いだせよ。」

## 第15章

1 モアブについての託宣。

一夜のうちにアルが壊滅するとき、  
 モアブは沈黙させられる。  
 一夜のうちにキルが倒壊するとき、  
 モアブは滅ぼされる。

2 彼らは聖所に、  
 またディボンでは高台の宮に上って涙を流す。  
 彼らはモアブでネボとメデバについて泣き叫ぶ。  
 頭はすべてそり落とされ、ひげは切り落とされる。

3 彼らは人前で粗布をまとい、  
 屋上や通りで、  
 ともに泣き叫び、涙に暮れる。

4 ヘシュボンはエルアレと同じく助けを求めて叫び、  
 その嘆願は遠くヤハツにまで聞こえる。  
 彼らは警笛を鳴らし、  
 モアブの武装した者たちを呼び集める。

それでも、彼らの魂は碎ける。

5 わたしの心はモアブのために叫ぶ。

その逃れてきた者たちは、ツォアルまで、

また遠くエグラテ・シェリシヤにまで至る。

彼らは涙ながらにヒルトの坂を登る。

ホロナイムへの道で

彼らは破滅を嘆く叫び声を上げる。

6 ニムリムの水は干上がり、

草は枯れ、植物は姿を消し、

緑の葉はどこにも残らないからである。

7 彼らは手に入れた余剰品と

自分の持ち物を、

柳の谷を越えて運び去る。

8 惨禍を嘆く叫びは

モアブの地に広がり、

その声はエグライムに届き、

遠くベエル・エリムにまでこだまする。

9 デイモンの水は血で満ちるが、

わたしはなおディモンにさらなる災いをもたらす。

わたしはモアブの逃れてきた者と、

その地に残った者たちに、獅子を送る。

## 第16章

1 地を治める者たちに特使を送りなさい。

砂漠のセラから

シオンの娘の山に。

2 モアブの女たちは、アルノンの渡し場で、

巣を追い出されて羽をばたつかせる鳥のようになる。

3 彼らは言う。「解決策を教え、わたしたちの訴えを裁いてください。

真昼に、あたかも夜のような闇でわたしたちを覆ってください。

土地を奪われた者たちをかくまい、

逃れてきた者たちを裏切らないでください。

4 モアブの追放された者たちをあなたとともに宿らせ、

侵略者からの避け所となってください。」

虐げる者がもはやいなくなり、

暴虐がやみ、

独裁者が地から滅ぼされるとき、

5 愛にあふれた優しさをもって

ダビデの住まいに一つの王座が築かれる。

公正を保ち、速やかに義を行う者が

忠実さをもってそこに座する。

6 わたしたちはモアブの栄光と、

その甚だしい高慢と豪語と、

一斉に発せられる偽りの誘い声について聞いた。

7 それゆえモアブ人は嘆き悲しむことになる。

すべての者にモアブのために嘆き悲しむ理由がある。

彼らは完全に打ちのめされて、

キル・ハレセトの廃墟でうめく。

8 ヘシュボンのぶどう畠は枯れ、

支配する国々がシブマのぶどうの木を打つからである。

そのつるは砂漠にはびこってヤゼルに達し、

その枝は海を越えて広がった。

9 それゆえ、わたしはヤゼルが嘆くように

シブマのぶどうの木のために嘆く。ヘシュボンとエルアレよ、

わたしは涙であなたをぬらす。

夏の果物と刈り入れを喜ぶ

あなたの叫び声が絶えてしまうときに。

10 喜びに満ちた祝いの宴は果樹園から取り去られる。

歓喜の叫び声はぶどう畠から絶える。

酒ぶねでぶどうを踏む者は消える。

収穫を喜ぶ声をわたしは絶つ。

11 わたしの胸はモアブのために、

わたしの心はキル・ヘレスのために豊饒のように心底わななく。

12 モアブ人が高台の宮で

嘆願するのに疲れ果てても、

聖所に入って祈っても、

それは何の役にも立たないからである。

13 これらは主がこれまでモアブについて語ってこられたことである。14 しかし今、エホバはこのように言われる。「雇い人の年季である三年のうちに、モアブの栄光は屈辱となる。大勢いたモアブの民衆のうち残される者は極めて少なく、取るに足りなくなるからである。」

## 第17章

1 ダマスコについての託宣。

「ダマスコは町ではなくなり、

がれきの山となる。

2 アロエルの町々は見捨てられ、

家畜の群れが伏す所となり、

それを妨げる者はいない。

3 エフライムのとりでが廃れるとき、

ダマスコの主権も廃れる。

アラムの残りの者もまた、

イスラエルの子らの栄光のようになる」

と、万軍のエホバは言われる。

4 「その日、ヤコブの栄光は衰え

その肥えた体はやせ衰える。

5 熟した穀物の収穫のようになり、

その穂が腕いっぱいに刈り取られた後、

彼はレファイムの谷で

摘まれた穂のようになる。

6 落ち穂だけが残るときのように、

またはオリーブの木が打たれ、

一番高い大枝に実が二つか三つ残るとき、

あるいは最も実り豊かな枝にも四つか五つ残るときのようになる」と、

イスラエルの神、エホバは言われる。

7 その日、人々は自分の造り主を仰ぎ、

その目をイスラエルの聖者に向け、

8 自分の手の業である祭壇を仰がず、

自分の指で作った物、繁栄の偶像や輝く像に目を向けない。

9 その日、彼らの大いなる町々は、<sup>a</sup>ヒビ人やアモリ人<sup>a</sup>の荒れ果てた町々のようになる。荒廃のときには、彼らはそれらの町をイスラエルの前に捨てた。

10 それはあなたがあなたの神、あなたの救いを忘れ、

あなたのとりでである岩を思い起こさなかったからだ。

それゆえ、あなたが選りすぐりの作物を植え、

交配種をまいても、

11 そして、あなたがそれらを植えたその日に生長させ、

種をまいたその朝に芽生えさせても、

病と癒されることのない痛みの日に

その収穫は消え失せる。

12 災いだ、大騒ぎする多くの民よ。

彼らは荒れ狂う海のように激しく怒る。

災いだ、動搖し混乱する国々は。

大荒れの大水のように騒ぎ立つ。

13 国々は、大水がどよめくようにわめき立てる。

しかし、主が叱責されるとき、彼らは遠くへ逃げる。

彼らは風の前に追いやられる。

<sup>a</sup>9 國のとおり。図「林とこずえ」

山の上のもみ殻のように、  
嵐の中でうず巻くちりのように。  
14 夕べには、大惨事が襲い、  
夜明け前に、彼らは消え失せる。  
これがわたしたちから略奪する者の受ける分、  
わたしたちから強奪する者の定めである。

## 第18章

- 1 災いだ、クシユの川の向こうにある  
羽音を立てている地よ。
- 2 この国は水の向こうへ渡る速い船で、  
海路を経て使者を遣わす。  
彼らは言う。「素早く行け、使者たちよ。」  
絶え間なく動き回る民のもとへ、  
あまねく恐れられている国へ、  
絶えず侵略し続ける民のもとへ。  
その民の地は幾筋もの川でつながっている。
- 3 世に住むすべての人々よ、  
地に住むすべての者たちよ、  
山々に旗が掲げられるときには、それを見よ。  
ラッパが吹き鳴らされるときには、心に留めよ。
- 4 エホバがわたしにこのように言わされたからである。  
「燃えるような熱が刈り手<sup>a4</sup>に襲いかかるとき、  
また刈り入れの真っ盛りに雨雲が現れるとき、  
わたしは黙してわたしの住む所から目を注ぐ。」
- 5 それは刈り入れの前、すなわち花が咲き終わり、  
花の房が若い実になりつつあるとき、  
彼らは実を結ぶ小枝を鎌で切り落とし、

---

<sup>a4</sup> ヘブライ語 'or(光)を 'oreh に修正。

新しい枝を切って容赦なく取り除くからである。

6 それらはすべて、山の猛禽と

地の獸に与えられる。

猛禽はそれを餌として夏を過ごし、

地の獸はそれを餌として冬を越す。

7 そのとき、万軍のエホバのもとに

ささげ物が運ばれてくる。

絶え間なく動き回る国から、

あまねく恐れられている国から、

絶えず侵略し続ける民から。

その民の地は幾筋もの川でつながっている。

万軍のエホバの御名の場所である

シオンの山に運ばれてくる。

## 第 19 章

1 エジプトについての託宣。

エホバが速い雲に乗ってエジプトに来られるとき、

エジプトの偶像は主の前に揺れ動き、

エジプト人の心は内から溶ける。

2 「わたしはエジプト人をエジプト人に対して駆り立てる。

兄弟はその兄弟に対して、

隣人はその隣人に対して

町は町に対して、州は州に対して相争う。

3 エジプトの精神は内から枯れ果てる。

わたしは彼らの計画をくじく。

すると彼らは偶像と口寄せと、

靈媒と魔術に頼る。

4 「そのとき、わたしはエジプト人を

冷酷な主人の手に渡す。

手荒い統治者が彼らを支配する」と、  
万軍のエホバは言われる。

5 川床が荒れ果ててかれると、  
湖の水もまた干上がる。

6 川は濁って悪臭を放ち、  
エジプトの水路は水が引いて干上がり、  
葦といぐさは枯れる。

7 運河や河口沿いに生えた草木と、  
水路沿いにまかれたものは  
すべて枯れ、吹き飛ばされ、消えうせる。

8 漁師は自らの運命を嘆き  
運河の釣り人は自らを憂え悲しむ。  
水の面に網を投げる者は惨めになる。

9 上質な亜麻布を造る職人と  
良質の布を織る職人はうろたえる。

10 紡ぐ者は絶望を思い知り、  
賃金のために働く者は皆、<sup>a</sup>苦腦を味わう<sup>a</sup>。

11 ツオアンの大臣たちはまったくの愚か者であり、  
パロの最も賢い議官らは愚かな助言を与える。  
あなたがたは、どうしてパロに、  
「わたしたちは最初の統治者たちのように賢い」と言えようか。

12 あなたがたの賢者はいったいどこにいるのか。  
彼らが見分けられるのなら、告げさせてみよ、  
万軍のエホバがエジプトについて思い定められたことを。

13 ツオアンの大臣たちは愚かだった。  
ノフの下士官たちは欺かれてきた。  
國家の長たちがエジプトを惑わしたのだ。

14 エホバは彼らの間に

---

<sup>a</sup>10 ヘブライ語 'agme nepes (命のための池) を 'agme nepes に修正。

混乱の靈を行きわたらせられた。  
 その行いすべてにおいて彼らはエジプトを迷わせ、  
 大酒飲みが吐くときのようによろめかせた。  
 15 エジプト人にできることは、  
 もはや何一つない。  
 頭も尾も、シュロの葉も葦も。

16 その日、エジプト人は女のようになり、自分の上に振りかざされる万軍の主の手に恐れおののく。17 ユダの地はエジプト人にとって恐怖の源となる。ユダの地を思い起こす者は皆、万軍のエホバが彼らに下そうとしておられることをひどく恐れる。

18 その日、エジプトの地にあるヘブル語を話す五つの町は、万軍のエホバに忠誠を誓う。その町の一つは「義の町<sup>b</sup>」として知られる。

19 その日、エジプトの地の真ん中に、エホバのために祭壇が築かれ、その境にはエホバのために記念碑が立てられる。20 それらは、エジプトの地において、万軍のエホバに対するしとなり、証となる。彼らが、虐げる者のゆえにエホバに叫び求めるとき、主は救う者を遣わし、彼らの訴えを採り上げて彼らを救い出される。

21 エホバはエジプト人に御自身のことを知らせ、その日エジプト人はエホバを知る。彼らは犠牲と供え物をもって礼拝し、エホバに誓いを立てそれを果たす。22 エホバはエジプトを打ち、打つことによってそれを癒される。彼らはエホバに立ち返り、主は彼らの嘆願に応えて彼らを癒される。

23 その日、エジプトからアッシリ亞までの大路があって、アッシリ亞人はエジプトに行き、エジプト人はアッシリ亞に行く。そして、エジプト人はアッシリ亞人とともに働く。

24 その日、イスラエルはエジプトとアッシリ亞に次ぐ第三の国となり、全地の真ん中にあって祝福となる。25 万軍のエホバは彼らを祝福して言われる。「幸いである、わたしの民エジプト、わたしの手の業であるアッシリ亞、わたしの受け継ぎとなるイスラエル。」

<sup>b</sup>18 圈のとおり。図「破壊の町」。図「太陽の町」。

## 第 20 章

1 アッシリアの王サルゴンから遣わされた將軍がアシュドドに進軍し、戦いによってこれを占領した年のことである。2 エホバはアモツの息子イザヤを通して語って、言われた。「行って、あなたの腰から粗布を解き、足から履物を脱ぎなさい。」そこでイザヤはそのようにし、裸になり、はだしで歩いた。

3 すると、エホバは言われた。「わたしの僕イザヤが三年間裸になり、はだしで歩いたのは、エジプトとクシュに対するしであり、先触れである。4 そのように、アッシリアの王はエジプトの捕虜とクシュの追放された者たちを連れて行く。若者も老人も、裸となり、はだとなり、また尻を露わにして、エジプトの恥をさらす。5 人々は自分たちの望みであるクシュと、自分たちの誇りであるエジプトの様に愕然とし当惑する。」

6 その日、この島に住む者たちは言う。「見よ、我々が仰ぎ見ていた人たちの様を。アッシリアの王から救い出してくれる助け手として我々が頼りにしていた<sup>a</sup>人たちの様を。我々はどうして逃れたらよいのか」と。

## 第 21 章

1 西の荒れ野についての託宣。

南の地を通り過ぎる竜巻のように、

彼らは大草原、恐怖の地から来る。

2 残酷な示現がわたしに示された。

「裏切り者が裏切り行為を働き、

破壊者が荒廃を引き起こす。

攻撃せよ、エラム人よ。包囲せよ、メディア人よ。

バビロン<sup>a</sup>がもたらしたすべてのため息を

わたしはすべて終わらせる。」

3 それゆえ、わたしの全身はひどい苦しみにうち震え、

子を産む女のように激しい苦痛に捕らえられた。

---

<sup>a</sup>6 団のとおり。団「わたしたちが逃げた人」。

<sup>a</sup>2 ヘブライ語「彼女は」。

わたしは苦痛のあまりに心を向けることができず、  
心乱されて見ることもできない。

4 わたしの心はよろめき、恐れのあまりに身はすぐむ。

わたしが待ちわびていた夕暮れは忌み嫌うものとなった。

5 彼らは幾つもの食卓を整えて  
燭台を飾り、

飲み食いしている。

「結集せよ、司令官たちよ。武具に油を塗れ。」

6 このために、わたしの主はわたしに言われた。

「行って、見るところを報告する  
見張り人を任じなさい。

7 一連の馬をつないだ戦車と、

ろばに乗る者、らくだに乗る者を彼に見張らせなさい。

その者は決して油断せず、厳重に警戒しなければならない。」

8 すると見張り人<sup>b</sup>は叫んだ。

「わが主よ、わたしは来る日も来る日も見張り台に立っていました。  
わたしは夜な夜な見張っていました。

9 今や、彼らはやって来ます。騎兵隊と馬の隊列が。」

すると、その人は答えて言った。

「彼女は倒れた。バビロンは倒れた。

そのすべての偶像の神々は碎かれて地に倒れた。」

10 <sup>c</sup>わたしを知り、わたしの仲間<sup>c</sup>であるあなたがたに、  
わたしは万軍のエホバ、イスラエルの神から

聞いたことを告げた。

11 ドマについての託宣。

セイルからわたしを呼ぶ者たちがいる。

「見張り人よ、今は夜何時か。

<sup>b</sup>8 囮のとおり。囮「(1匹の)獅子」。

<sup>c</sup>10 囮のとおり。囮「わたしの打たれて振り分けられた者」。

見張り人よ、夜は後どれほどか。」

12 見張り人は答える。

「今はまだ夜だが、朝は来る。

もしそれを確かめなければ、

悔い改めて戻って来て確かめよ。」

13 アラビアにいる者たちについての託宣。

あなたがた、さすらうデダン人の隊商よ、

アラビアの森に宿る者たちよ、

14 水を携えて、渴く者を出迎えよ。

食物を携えて、逃れてきた者を出迎えよ、

テマの地に住む者たちよ。

15 彼らは破壊から、

抜かれた剣と、引かれた弓と、

過酷な戦争から逃れて來るので。

16 このために、わたしの主はわたしに言われた。「働く者の年季である一年の内に、ケダルの栄光は完全に失せる。17 そして、ケダルの息子たちの残りで勇敢な射手である者の数は、わずかになる。」イスラエルの神であるエホバがこれを語られた。

## 第 22 章

1 見せ物の舞台についての託宣。

あなたがたがござつて

屋根の上に登っているのは、

一体どうしてか。

2 あなたがた、大きな歓声を鳴り響かせている、

騒々しい町、飲み騒ぐ町よ。

しかし、あなたがたのうちの殺された者は剣で殺されたのではない。

彼らは戦いで死んだのではない。

3 あなたがたのつかさたちは皆逃げていくが、

弓を引くこともなく捕らえられる。  
 あなたがたを取り残された者は皆、  
 逃げ出す前にたやすく捕らえられる。

4 それゆえわたしは言った。  
 「わたしは激しく泣いているが、  
 わたしを気に留めないでくれ。  
 すぐにわたしを慰めようとしてくれるな。  
 わたしの民の娘が滅びたのだ。」

5 わたしの主、万軍のエホバは、  
 見せ物の舞台に  
 混乱と蹂躪<sup>じゅうりん</sup>と暴動の日を用意しておられる。  
 壁が打ち壊され、  
 「山へ逃げよ」という苦しみの叫びの日を。

6 エラムが矢筒を取り、  
 馬がアラム<sup>a</sup>の戦車につながれ、  
 キルが武具の覆いを外すとき、  
 7 あなたがたの選りすぐりの谷は戦車で満ち、  
 あなたがたの城門に騎兵たちが陣取る。  
 8 その日、ユダの防備の仕切りは取り去られ、  
 あなたがたは守りとなる森の家に目を向ける。

9 ダビデの町が徐々に打ち破られるのを見たとき、  
 あなたがたは下の貯水池に水をためた。  
 10 あなたがたはエルサレムにある建物を数え、  
 建物を取り壊して城壁の防備を固めた。  
 11 あなたがたは城壁の間に貯水槽を造り、  
 古い貯水池から水を引いた。  
 しかし、あなたがたはそれを造られた方に目を向けず、  
 それを遠い昔に考案された方に敬意を払わなかつた。

---

<sup>a</sup>6 ヘブライ語 'adam, man/men を 'aram に修正。

12 そのような日に、わたしの主、万軍のエホバは、

泣き悲しむように、

華美を慎み粗布をまとうように命じられる。

13 それなのに、笑いさざめきやお祭り騒ぎがあり、

あなたがたは牛を殺し、羊をほふり、

肉を食べ、酒を飲んで言う。

「食べて飲もう、明日は死ぬのだから。」

14 万軍のエホバは、これをわたしの耳に明らかにされた。「そのような悪事は、あなたがたが死ぬまで赦されることはない」と、わたしの主、万軍のエホバは言われる。

15 このようにわたしの主、万軍のエホバは言われる。

「行って、あの管理人、宮殿の監督である

シェブナに会いなさい。」

16 彼に言いなさい。「あなたは何をしているのか。

あなたは何者のつもりか。

自らの墓を高く築き、

自らのために岩に墓を彫る者たちのように

ここに自ら墓を刻むとは。」

17 競技者が飛び道具を投げるよう、

エホバはあなたを投げ飛ばされる。

主はあなたを投げ矢のように高く飛ばされる。

18 主はあなたを強く縛り、

投げ矢のように回転させながら、

あなたを広い野原に飛ばされる。

そこであなたは死に、

そこであなたの恥ずべき乗り物は

あなたの主人の家の汚名となる。

19 わたしはあなたをその職から追いやる。

あなたはその地位から引き降ろされる。

20 その日、わたしはヒルキヤの息子エリヤキムを任じる。 21 わたしは彼にあなたの衣を着せ、あなたの帯を締めさせる。わたしはあなたの権限を彼に与える。そして、彼はエルサレムに住む者たちとユダの家の父となる。 22 わたしは彼にダビデの家の鍵を授ける。彼が開けば閉じる者はなく、彼が閉じれば開く者はない。 23 わたしは彼を確かな場所にある釘として打ち付け、彼は父の家にとって栄光の座となる。 24 彼の上に父の家のすべての栄光がかかる。平凡な鉢からごくありふれた器まで、すべての小さな器を含め、彼の末裔と子孫の栄光はことごとく彼にかかっている。

25 万軍のエホバは言われる。「その日、確かな場所に打ち付けられた釘は抜かれる。それは取り除かれて落ち、その上にかかっていた重荷は絶たれる。」エホバがこれを語られた。

## 第23章

1 ティルスについての託宣。

あなたがたの警笛を鳴らせ、商船たちよ。

ティルス<sup>a1</sup>は荒廃し、

倉庫も波止場も奪い取られたからである。

キティムの地からの帰りに、

彼らはそのことについて知らされる。

2 唸然とせよ、あなたがた島々に住む者たちよ。

海を渡るシドンの貿易商によって、

十分に満たされてきた者たちよ。

3 ナイルの収穫であるシホルの穀物は、

彼女が国々の商人となったとき、

彼女にとって公海における収益の源であった。

4 うろたえよ、シドンよ。

それは海が、海の巨大な港が、

「もはやわたしは産みの苦しみを味わわず、子供をもうけない。」

<sup>a1</sup> ヘブライ語「彼女は」。

もはや若者を養わず、おとめを育てることはしない」と  
宣言したからだ。

5 テイルスについての知らせがエジプトに達するとき、  
人々はその知らせを聞いて苦悩する。

6 嘆き悲しみながらタルシシュに向かいなさい、  
あなたがた島々に住む者たちよ。

7 これが、その起源の古い、あなたがたの陽気な町、  
その足が彼女をはるか遠くの地に住み着かせた町なのか。

8 帝都チレに対して策を企てたのは誰か。  
そこの貿易商たちは王子で、  
その商人たちは世の名士であった。

9 万軍のエホバがそれを企てられた。  
卓越していることを誇りとするすべての者を不敬な者とし、  
世の名士をことごとく呪われた者とするために。

10 あなたがたの地をナイルのようにあふれさせよ、  
タルシシュの娘よ。もはや港はない。

11 エホバはその手を海の上に伸ばされ、  
もうもろの王国を苦しめられる。  
主はその商業都市について 詔みことのりを下し  
その停泊港を破壊するよう命じられる。

12 主は言われる。「あなたがたはもはや浮かれ騒ぐことはない。  
辱められたおとめ、シドンの娘よ。  
立ち上がってキティムに渡りなさい。  
そこで安息を見いだすことはないにしても。」

13 船積みのためにティルス<sup>b</sup>を築いた人々、  
カルデア人の地もそのようになる。  
見張り台を建て、その城壁をさらけ出し、彼女を崩壊に至らせたのは  
アッシャリア人ではなかったか。

---

<sup>b</sup>13 ヘブライ語「彼女を」。

14 あなたがたの警笛を鳴らせ、商船たちよ。  
あなたがたの港は荒れ廃れている。

15 その日、ティルスは一人の王の生涯に等しい七十年の間忘れ去られる。  
その七十年の終わりに、ティルスはこの歌に歌われる娼婦のようになる。

16 「たて琴を取り、町を巡り行け、  
忘れられた娼婦よ。  
見事に奏でよ。歌を歌い続けよ、  
あなたを思い出してもらえるように。」

17 七十年が終わると、エホバはティルスを再び訪れられるからである。そして、彼女はその商いに戻り、地の面にある、世のすべての王国に雇われる。18 彼女の商品と賃金はエホバにささげられる。ため込まれることも、蓄えられることもない。彼女の商品はエホバの前に住む者に供されるので、彼らは腹いっぱい食べ、華やかに装う。

## 第 24 章

1 見よ、エホバは地を荒廃させ、一掃される。  
主は地の面を損ない、  
そこに住む者たちを散らされる。

2 そのことは、民と同じように祭司にも、  
僕と同じように主人にも、  
仕え女と同じように女主人にも、  
買う者と同じように売る者にも、  
貸す者と同じように借りる者にも、  
債権者と同じように債務者にも臨む。

3 地が略奪されるとき、  
地はことごとく荒らされる。  
エホバがこれについて言葉を発せられた。

4 地はやせ衰え、  
世界は無残に滅びる。

地の名士は貧しく惨めな者となる。

5 地はその住民の下に汚される。

彼らが律法に背き、

儀式を変え、

いにしえの契約を無に帰したからである。

6 のろいが地を食い尽くす。

そこに住む者たちが罪を負ったからである。

そのために地の人口は減少し<sup>a</sup>、

わずかな者しか残らない。

7 新しいぶどう酒はしおれゆくぶどうのつるの上で枯れ、

陽気な者を皆、嘆き悲しませる。

8 太鼓のリズムはやみ、

飲み騒ぐ者たちのどよめきは失せ、

たて琴の音色も絶える。

9 人々はもはや歌声の中でぶどう酒を飲まず、

濃い酒は、飲む者にとって苦くなった。

10 混乱の町々は崩壊し、

すべての家は閉ざされて、そこに入る者は誰一人いない。

11 外ではぶどう酒を求める叫びが聞こえ、

喜びはすべて陰鬱となり、

地の活力は尽きてしまった。

12 都市には大破壊が残り、

その門は打たれて崩壊した。

13 そのとき、地の国々の間では、

オリーブの木がたたかれるときのような、

あるいはぶどうの収穫が終わるときに

実が集められるようなことが起こる。

14 そのとき、これらの者は声を上げて、喜んで叫び、

---

<sup>a</sup>6　▣のとおり。▣「焼かれた」。

海の向こう側の者たちは、エホバの知恵に歓喜する。

15 そのために、彼らは日が昇る地方で

エホバに栄光を帰する。

海の島々において

イスラエルの神、エホバの御名に栄光を帰する。

16 地上のある所から、歌声が聞こえる。

「義人は栄光に輝く」と。

一方でわたしは思った。「わたしは衰えていく、

わたしは弱っていく。

わたしは災いだ。裏切り者は不誠実であり、

欺く者は偽って裏切った。」

17 恐怖と落とし穴とわながあなたがたを待っている、

地に住む者たちよ。

18 恐怖の音で逃げる者は

穴に落ち、

その穴からはい上がる者は

わなにかかる。

高い所の窓が開かれるとき、

地はその基から揺れるからである。

19 地は碎け、裂ける。

地は割れて持ち上がり、崩れ落ちる。

地は激しく揺れ、よろめく。

20 地は酔った者のようにあちらこちらとよろめき、

掘っ立て小屋のように前後に揺れ動く。

それの背きがその重荷となり、

崩れると二度と起き上がることはない。

21 その日、エホバは高い所では

高い所の軍勢を、

また地上では地の支配者たちを罰せられる。

22 彼らは土牢に連れて行かれる囚人のように集められ、  
罰として、長い間、獄屋に閉じ込められる。

23 シオンの山とエルサレムにおいて、  
万軍のエホバが御自分の統治を明らかにし、  
長老たちの前に御自分の栄光を現されるとき、  
月は赤くなり、日は恥じ入る。

## 第25章

1 その日、あなたは言う。

「おお、エホバよ、あなたはわたしの神です。

わたしはあなたの御名をほめたたえて賛美します。

あなたは全き忠実さをもって

驚くべき業、いにしえに計画された事柄を

行われたからです。

2 あなたは都市をがれきの山とし、

防備を固めた町を廃墟とされました。

異教の民の邸宅が町を形づくることはもはやなく、

再び築かれることもありません。

3 このために強力なもろもろの民はあなたをあがめ、

暴君が率いる国々の一群はあなたを恐れます。

4 あなたは貧しい者の避け所、

苦難の中にいる困窮者の避難所、

大雨を避ける隠れ場所、

暑さを避ける陰となられました。

暴君の爆風が激流のように壁に打ちつけるとき、

5 あるいは砂漠の灼熱のように吹きつけるとき、

あなたは異教の民の猛攻を鎮められました。

雲の陰で燃えるような暑さが和らげられるように

あなたは暴君の力を抑えられました。」

6 この山において万軍のエホバは、

もろもろの民のために豪華な祝宴をもうけられる。

種入りのパンと、肉汁の滴るおいしい食事と、

よく精製され熟成したぶどう酒の祝宴を。

7 この山において主は、

すべての民を覆うとばりと、

すべての国々を覆う幕を破られる。

8 永遠に死を廃することで破られる。

わたしの主エホバは、すべての顔から

涙を拭われる。

主は御自分の民の恥を

全地から取り除かれる。

エホバがこれを語られた。

9 その日、あなたがたは<sup>a</sup>言う。「この方こそ、わたしたちの神、

わたしたちを救ってくださる方として待ち望んでいた神。

この方こそ、わたしたちが待っていたエホバ。

主の救いを喜び祝おうではないか。」

10 エホバの手はこの山にとどまり、

その者の下にモアブは踏みにじられるからである。

わらが肥溜めの中で踏みつけられるように。

11 泳ぐ者が泳ごうとして手を広げるよう、

彼がそのただ中に手を伸ばすとき、

主はそうしようとする彼の高慢を引き倒される。

12 高い城壁で守られたあなたがたの砦を、

主は地に打ち倒して低くされ、

ちりと等しくされる。

## 第 26 章

1 その日ユダの地で、この歌が歌われる。

「わたしたちの町は堅固。

主は城壁と堡壘として救いを設けられた。

2 門を開いて、信仰を守る

義にかなう国民を入れよ。

3 思いが確固とした者たちを、エホバよ、

あなたは全き平和のうちに守られる。

彼らはあなたを信頼しているので。

4 とこしえにエホバを信頼せよ。

エホバは主、永遠の岩なのだから。

5 主は高くされた町に住む

支配階級の住民を低くし、

地に打ち倒して、

ちりに等しい者とされる。

6 そのちりは貧しい者の足で踏まれ、

乏しい者の歩む足下に踏みつけられる。」

7 義人の道は真っすぐであり、

あなたは正しい者のために、それることのない道を敷かれます。

8 エホバよ、あなたの儀式の道のただ中にあって、

わたしたちはあなたを待ち望みます。

魂の望みは、あなたの御名をひたすら思うことです。

9 わたしの魂は夜にあなたを慕い、

わたしの内なる靈は夜明けにあなたを探し求めます。

あなたの儀式が地上にあるとき、

世に住む者たちは義を学ぶからです。

10 たとえ慈しみを受けても、

悪人は義を学びません。

正しい地にあっても彼らは相変わらずよこしまであって、

エホバの栄光を仰ぎ見ません。

11 エホバよ、あなたの手は上げられていますが、

彼らはそれを認めません。

御自分の民に注がれるあなたの熱意を  
 彼らが認めてうろたえますように。  
 あなたの敵のために用意された火が、  
 彼らを焼き尽くすとき。

12 エホバよ、あなたはわたしたちの平和をもたらされます。

わたしたちが成し遂げたことすべてできえ、  
 あなたがわたしたちのためにしてくださったことです。

13 わたしたちの神、エホバよ、あなた以外の君主が  
 これまでわたしたちを治めてきました。

しかし、わたしたちが思い起こすのはあなたの名だけです。

14 彼らは死に、もはや生きることはありません。

その靈が立ち上がるかもしれません。

あなたは彼らの破壊を定め、

彼らについての記憶をことごとく消し去られました。

15 エホバよ、あなたは国を広げ、

それを広げることで栄光を得られました。

あなたは地のすべての境をなくされました。

16 エホバよ、彼らは苦しみの中であなたを思い起こしました。

あなたの懲らしめが臨んだとき、  
 彼らは無言の祈りを注ぎ出しました。

17 出産に臨む女が

激しい産みの苦しみに叫ぶように、

エホバよ、わたしたちもあなたの前でそうでした。

18 わたしたちは子を宿し、出産に臨みましたが、

産んだのは風だけでした。

世に住む者たちが倒れる<sup>a</sup>ことのないように、

わたしたちが救いを地にもたらすことはできませんでした。

---

<sup>a</sup>18 または「頓挫せぬよう」。

19 それでもなお、あなたの死者たちは、その体<sup>a</sup>が起き上がるときに生きます。

あなたは彼らに言われます。

『目覚めよ、喜び歌え、

ちりの中にとどまる者よ。

あなたの露は、日の出の露である。

地はその死者を投げ出すからである。

20 来なさい、わたしの民よ。あなたの部屋に入り、

後ろの戸を閉めよ。

激しい憤りが過ぎ去るまで、

しばしの間隠れていよ。』

21 今、エホバは御自分の住まいから出て来て、

地に住む者たちを彼らの罪惡のために罰せられるからです。

地はその上に流された血をあらわにし、

その殺された者たちをもはや隠しません。』

## 第27章

1 その日、エホバは

御自分の大いなる力ある剣で

逃れようとする海の蛇、

レビヤタンを激しく<sup>b</sup>罰せられる。

主が海の龍どもを殺されるときに、

あのずる賢い海の怪物レビヤタンは罰せられる。

2 その日、地<sup>c</sup>について歌いなさい。

喜ばしいぶどう畑について歌うように。

3 わたし、エホバは、そのぶどう畑の番人である。

わたしはいつもこれに水を与え、夜も昼もこれを見守り、

---

<sup>a</sup>19 ヘブライ語「わたしの体」。団では不完全三人称接続辞になっている。団と比較。

<sup>a</sup>1 この訳は不一致な原訳「剣」を修正したもの。

<sup>b</sup>2 ヘブライ語「彼女」の意。26:21;27:6 と比較。

何一つ不足のないようとする。

4 わたしはもう彼女に対して怒りを抱かない。

いばらとおどろが生えてくるならば、

わたしはそれらを容赦なく払いのけ、

ことごとく焼え上がるさせる。

5 しかし、彼らがわたしを避け所とし、

わたしと和平を結ぶならば、

彼らはわたしと和解する。

6 時が来れば、すなわちヤコブが根を張り、

イスラエルが一斉に花を咲かせるとき、

地の面は実で満たされるからである。

7 彼は自らを打つ者のように打たれたか。

それとも、自らを殺した者のように殺されたか。

8 エホバよ、あなたは彼らをことごとく追いやることで、

彼らを罰せられました。

燃える東風の日に、

主の激しい突風によって彼らは投げ飛ばされました。

9 しかし、これによりヤコブの罪悪は償われ、

その結果、その罪は取り除かれる。

彼がすべての祭壇の石を

碎かれた石灰岩のようになると、

繁栄の偶像と輝く像が立つ場所は

どこにもない。

10 それらのために、防備を固めた町はわびしく放置され、

見放された住民は、荒れ野のように見捨てられる。

そこで雄牛はかいばをあさって伏し、

木々の若枝を剥ぎ取る。

11 収穫された小枝は乾き、女たちに折り取られる。

女たちはやって来て、これで火を起こす。

彼らは分別のない民である。

それゆえ、造り主は彼らに憐れみをかけられない。

彼らを形づくられた方は、彼らを慈しまれない。

12 その日、エホバは川の激流からエジプトの小川に至るまで、御自分の収穫の穂を、徹底的に打ち落とされる。しかし、イスラエルの子らよ、あなたがたは一人ずつ集められる。

13 その日、ラッパの音が大きく鳴り響き、アッシリアの地で失われた者たちと、エジプトの地で追放された者たちはやって来て、エルサレムの聖なる山でエホバにひれ伏す。

## 第28章

1 災いだ、エフライムの酔いどれのかぶる栄冠は。

その無上の輝きは、ぶどう酒に酔いつぶれた

<sup>a</sup>裕福な者<sup>a</sup>の頭上にある、しほみゆく花冠のようになった。

2 わたしの主は一人の力ある強い者を用意しておられる。

荒廃をもたらす雹を伴う嵐が吹き下ろすように、

または大水が大洪水となって押し寄せるように、

主はその手によって、彼らを地に投げ倒される。

3 エフライムの酔いどれの誇りの冠は、

足の下に踏みつけられる。

4 しほみゆく花冠、<sup>a</sup>裕福な者<sup>a</sup>の頭上にある栄冠は、

夏の収穫前に熟した、初なりの実のようになる。

それを見る者は、手に取るやいなやむさぼり食う。

5 その日、万軍のエホバは、

御自分の民の残りの者にとって

美しい冠、栄光の花冠のようになられる。

6 裁きの座に着く者にとって公正の靈となり、

城門で攻撃を退ける者たちにとって力の源となられる。

---

<sup>a1</sup> <sup>a4</sup> ヘブライ語 *ge'e semanim*。図の通り。図 *ge' semanim*(肥えた渓谷)。

- 7 これらの者もまたぶどう酒におぼれ、  
    強い酒でよろける。  
    祭司たちと預言者たちは濃い酒により道を誤ってしまった。  
    彼らはぶどう酒に酔い、  
    濃い酒のためによろめく。  
    彼らは聖見者として誤り、その判断においてつまずく。
- 8 食卓はどれも吐いたものであふれ、  
    どこもかしこも汚物にまみれているからである。
- 9 主は誰に指示をお与えになるのか。  
    啓示をもって誰を教え導かれるのか。  
    乳離れしたばかりの乳飲み子だろうか。
- 10 それはただ、教えに教え、教えに教え、  
    訓戒に訓戒、訓戒に訓戒、  
    ここに少し、そこにも少しと教えられるからである。
- 11 それゆえ、理解できない言葉で、  
    また聞き慣れない舌で、  
    主はこれらの民に語られなければならない。
- 12 主は彼らに言われる。「これが安息である。疲れた者を休ませよ。  
    これが休息である。」しかし、彼らは耳を傾けようとしない。
- 13 それゆえ、彼らに向けて語られるエホバの言葉は、  
    教えに教え、教えに教え、  
    訓戒に訓戒、訓戒に訓戒、  
    ここに少し、そこにも少しと告げられるにとどまる。  
    こうして固執し続けることで、彼らはつまずきに陥り、  
    自らを打ち碎き、  
    わなにかかって捕らえられてしまう。
- 14 それゆえ、エホバの言葉を聞け、  
    エルサレムでこれらの民を治める、あなたがた嘲る者たちよ。
- 15 あなたがたは考えた。欺きに逃げ込み、  
    偽りの陰に隠れることによって、

死と契約を交わした、  
陰府と合意に達したので、  
懲らしめが洪水のように地の面に押し寄せてても、  
自分の身には及ばないだろう、と。

16 それゆえ、わたしの主エホバはこのように告げられる。

「わたしはシオンに一つの石、要石、  
貴い隅石、堅固な土台を据える。  
それを信じる者は慌てることはない。」

17 わたしは公正を尺度とし、

義を重りとする。  
雹があなたがたの偽りの避け所を押し流し  
水が隠れ場所にあふれる。

18 あなたがたが死と交わした契約は無<sup>a</sup>に帰し、

陰府との合意は役に立たない。  
懲らしめが洪水のように押し寄せるとき、  
あなたがたはそれによって押し流される。

19 それが押し寄せる度に、

あなたがたは捕らわれる。  
それは朝ごとに押し寄せ、  
昼も夜もあなたがたを捕らえる。  
それについて聞くだけで、恐怖に襲われる。

20 そのとき、次のことわざのとおりになる。

長椅子はその上に横たわるには短すぎる。  
覆いは身をくるむには狭すぎる。

21 エホバはペラツィム山のときのように立ち上がり、  
ギブオンの谷のときのように憤られるからである。  
御自分の行い、その比類ない行いを遂行されるため、  
また御自分の業、その特異な業をなさるために。

---

<sup>a</sup>18 ヘブライ語 *kuppar*(罪を償う)を *hupar* に修正。

- 22 それゆえ、嘲ってはならない、  
 あなたがたの縄目が厳しくならないように。  
 わたしはわたしの主、万軍のエホバから  
 全地に臨む完全な破壊の宣告が発せられるのを聞いたからである。
- 23 心を向け、わたしの声を聞け。  
 注意深くあって、わたしが語ることに耳を傾けよ。
- 24 耕す者は種をまくためにいつまでも耕し続けるだろうか。  
 同じ土地ですきを引き、まぐわで土をならし続けるだろうか。
- 25 土の表面をならし終えたら、  
 ウイキョウやクミンをまかないだろうか。  
 大麦から小麦を分け、  
 そば麦を定まった場所に植えないだろうか。
- 26 その人の神が彼に指示を与える、  
 正しい手順で教えられる。
- 27 ウイキョウを歯のとがったつちで脱穀することはなく、  
 クミンの上で車輪を転がすこともない。  
 ウイキョウは棒でたたき、  
 クミンはさおでたたくものである。
- 28 家庭で使う穀物はひいて粉にする。  
 人はいつまでも脱穀し続けることはしない。  
 穀物は馬を使って車輪で脱穀しても、  
 粉にすることはできない。
- 29 これらのことは万軍のエホバからのものである。  
 主の助言は驚くべきもので、  
 その靈感は並外れている。

## 第 29 章

- 1 災いだ、アリエルよ。  
 ダビデが宿営した町、アリエルよ。  
 あなたは年に年を加え、

祭りの日は引き続き巡りくる。

2 それでもわたしはアリエルを苦しめる。

彼女がわたしの<sup>a</sup>祭壇の炉<sup>a</sup>のようになるとき、

そこには嘆きと悲しみがある。

3 わたしはあなたの周りに陣を張り、

突撃部隊をもってあなたを取り囲み、

あなたを囮むとりでを築く。

4 あなたは低い所に置かれると、地から語りかけ、

あなたの言葉はちりの中から発せられる。

地から語るあなたの声は靈媒の声のようであり、

あなたが話す言葉はちりの中からささやきかける。

5 突然、瞬く間に、

あなたの悪人たち<sup>b</sup>の群れは細かいちりのようになり、

乱暴な暴徒たちは飛び散るもみ殻のようになる。

6 彼女は万軍のエホバによって懲らしめられる。

雷のような地震、

鳴り響くとどろき、荒れ狂う暴風、

焼き尽くす炎の大火灾によって。

7 群がってアリエルに敵対する国々、

彼女を苦しめようとその要塞に集結する者は皆、

夜に見る夢のようになる。

8 飢えた者が夢の中で食べても

目覚めると空腹のままで、

渴いた者が夢の中で飲んでも

目覚めると弱って渴き飢えたままであるように、

シオンの山に群がって敵対する国々は皆、

同じようになる。

---

<sup>a</sup>2 または「アリエル」。かけ言葉。

<sup>b</sup>5 囮の通り。囮および囮「見知らぬ者たちの」。

9 先延ばしにせよ、そして、うろたえよ。

心奪われていよ、助けを叫び求めるまで。

酔っていよ、しかしうどう酒のゆえではない。

よろめけ、しかし濃い酒のゆえではない。

10 エホバはあなたがたの上に

深い眠りの霊を注がれた。

主はあなたがたの目である預言者を閉ざし、

あなたがたの頭である先見者を覆わされた。

11 示現の全容は、あなたがたにとって封じられた書物の言葉のようになった。人が学識のある者に、「これを読んでください」と言えば、その人は、「わたしには読めません。封じられているからです」と言う。12 あるいは学識がない者にその書物を渡して「これを読んでください」と言えば、その人は、「わたしは学識のない者です」と言う。

13 しかし、わたしの主は言われる。「これらの民は

口をもってわたしに近づき

その唇をもってわたしを敬うが、

彼らの心はわたしから遠く離れたままである。

わたしに対する彼らの敬虔さは、

そらで習い覚えた人の戒めから成っている。

14 それゆえ、わたしは不思議に次ぐ不思議をもって

再びこれらの民を驚かせる。

彼らの賢者の知識を空しいものとし、

その知力を取るに足らないものとする。

15 炎いだ、自分のはかりごとを

エホバから隠そうと企てる者たちは。

彼らは闇の中で業を行い、

「誰が我々を見るのか。誰に知られようか」と思う。

16 あなたがたは何と思い違いをしていることか。

陶器師は粘土と同じに見なされるべきか。

造られた物がそれを造った者について

「彼はわたしを造らなかった」と、  
あるいはその形を考案した者について

「彼は理解していない」と言えるだろうか。

17 遠からずして、レバノンは再び実り豊かな地になり、

今実り豊かな地は辺境の森林地と見なされるようにならない  
だろうか。

18 その日、耳の聞こえない者は

書物の言葉を聞き、

目の見えない者の目は

深い闇から見る。

19 へりくだつた者は、エホバにあってさらなる喜びを得、

最も貧しい者たちは、イスラエルの聖者を喜ぶ。

20 暴君は失脚し、嘲る者は失せる。

罪悪の機を伺う者は皆、絶たれるからである。

21 彼らは一言のもとに人を罪に定め、

法廷で擁護する者をわなにかけ、

正しい者をいわれなく退ける。

22 それゆえ、アブラハムを<sup>a</sup>贖われたエホバは、

ヤコブの家に言われる。

「ヤコブはもはやうろたえることはない。

その顔が青ざめることはもはやない。

23 彼がその中にわたしの手の業である自身の子らを見るととき、

彼らがわたしの名を崇め、

ヤコブの聖者にひたすら仕え、

イスラエルの神を畏れるのを見るとき、

24 心の誤った者たちは理解を得、

つぶやいた者たちは教えを受け入れる。」

---

<sup>a</sup>22 訳注)ヘブライ語で「代価を支払って解放し、救出する」の意。イザヤ 1:27;35:10;  
51:11 も同じ。

## 第30章

1 エホバは言われる。「災いだ、あなたがた、反逆的な息子たちよ。

あなたがたは計略をめぐらすが、わたしによらず、

同盟を結ぶが、わたしの承認によらず、

罪に罪を重ねてばかりいるためである。

2 彼らはしきりにエジプトに下って行こうとしているが、

わたしの口に尋ね求めなかった。

彼らはファラオの軍勢に保護を求め、

エジプトの陰に避け所を得ようとしている。

3 しかし、ファラオの保護はあなたがたの恥となり、

エジプトの陰における避け所は辱めとなる。」

4 ツォアンにいる彼らのすべての高官と、

ハネスに遣わされた彼らの使者たちのゆえに、

5 彼らは自分たちにとって何の役にも立たない民に

心底うんざりするからである。

彼らは何の助けにも益にもならず、

ただ屈辱と汚名となるだけである。

6 ネゲブの獣についての託宣。

困難と栄枯盛衰の地、

獅子と<sup>a</sup>ほえる<sup>a</sup>百獸の王の地、

まむしと火の飛ぶ蛇の地を通り、

彼らは自分の富を若いろばの背に載せ、

その金銀をらくだのこぶに載せて、

彼らを益することのない民に運ぶ。

7 エジプトの助けは無益で空しい。

それゆえ、わたしは彼女を「口先だけの自慢」と呼ぶ。

8 さあ行って、彼らについて版に書き記しなさい。

<sup>a</sup>6 ヘブライ語 *mehem*(彼らのうちで)を *nohem*に修正。

それを終わりの時のために書物に記し、  
永遠の証としなさい。

9 彼らは反逆の民、誓いを破る息子らであり、  
エホバの律法に従おうとしない子らである。

10 彼らは先見者に「見るな」と言い、  
示現を見る者に次のように言う。  
「我々にとって正しいことを予言するな。

我々にへつらい、たわごとを予見せよ。  
11 道から出よ。脇へ寄って、道を外れよ。  
イスラエルの聖者をもって我々に立ち向かうのをやめよ。」

12 それゆえ、イスラエルの聖者はこう言われる。  
「あなたがたがこの言葉を拒み、  
ごまかしと二枚舌を当てにし、  
これらのものを頼みとするがゆえに、

13 この罪悪は、あなたがたにとって高い城壁に  
むき出しになった危険な割れ目のようになる。  
その割れ目は突然、瞬く間に崩れ落ちる。

14 それは土器が容赦なく打ち壊されるように  
粉々に碎け散る。  
それらの破片の中には、暖炉から燃えさしをすくい取るほどの、  
あるいは水槽から水をすくい上げるほどのかけらも  
見当たらない。」

15 わたしの主エホバ、  
イスラエルの聖者は、このように言われるからである。  
「冷静な対応によって勝利する。

内なる自信をもって勝利を得る。  
しかし、あなたがたはそのどちらも得ない。  
16 あなたがたは、『いや、そうはしない。我々は馬で逃げよう』と  
考えたからである。  
それゆえ、あなたがたはまさに逃げるであろう。

- あなたがたは、『我々は速い馬に乗ろう』と言う。  
 それゆえ、あなたがたを追う者はさらに速い。  
 17 あなたがたは一人の脅しによって千人で逃げ、  
 五人の脅しによって数千人で逃げ、  
 ついには山の頂きに旗棒として、  
 丘の上の旗として残される。
- 18 そのとき、エホバはあなたがたを慈しむために  
 御自分の来臨を遅くされる。  
 あなたがたへの憐れみにより、主は遠ざかっておられる。  
 エホバは公正の神なのだから。  
 主を待ち望む者は皆、幸いである。
- 19 シオンの民よ、エルサレムに住む者たちよ、  
 あなたがたに涙を流させるものはもはやなくなる。  
 主は慈悲をもってあなたがたの叫び声に応じ、  
 それを聞くと、すぐに答えてくださる。
- 20 わたしの主はあなたがたに逆境のパンと、  
 苦難の水をお与えになるが、  
 あなたがたを教える方は、もはや隠れてはおられず、  
 あなたがたの目は主君を見る。
- 21 あなたがたの耳は、  
 「これが道である。これに歩め。  
 左にも右にも曲がってはならない」と背後から聞こえる言葉を聞く。
- 22 あなたがたは、銀で覆った刻んだ像と、  
 金で覆った鋳像を、  
 汚れたものとして捨て去り、  
 女が月のものを捨てるようにそれらを外に捨て、  
 「立ち去れ」と言う。
- 23 その後、主は雨を降らせて、  
 あなたがたが地にまく種に水を与えられる。  
 そうして地が産する食物を

- 豊かに実らせ、あり余るほどに増やされる。  
その日、あなたがたの牛は  
広大な牧草地で草をはみ、  
24 農地を耕す雄牛とろばは、  
シャベルと熊手で選り分け、蓄えた牧草を食べる。
- 25 すべての山の高みと抜きん出た丘の上に  
水の流れる川が現れる。  
大いなる殺戮の日、  
塔が倒れるときに。
- 26 月の光は  
日の光のようになり、  
日の光はその輝きが七倍に増す。  
エホバが骨の碎けた御自分の民の傷を包み、  
彼らの開いた傷を癒される日に、  
その光が七日分の光であるように。
- 27 見よ、全能の<sup>b</sup>エホバが遠くから来られる。  
主の激しい怒りは燃え、その苦言は重い。  
主の唇には憤慨があふれ、  
その舌は焼き尽くす火のようである。
- 28 主の息は首まで達する  
荒れ狂う激流のようだ。  
主は偽り者のふるいの中で、  
国々をふるいにかけるために来られる。  
過ちを誘う手綱を彼らのあごに付け、  
主はもうもろの民を試される。
- 29 しかし、あなたがたのためには

---

<sup>b</sup>27 直訳「エホバの名前」。

<sup>c</sup>29 おそらく原文に挿入場所の置き間違いがあったと思われる 32 節の、「死闘に見舞われる」に続く言葉をここへ移動。

祭りが始まる夜のように歌声がある。  
 人々がエホバの山、イスラエルの岩へ向かう道中で  
 笛〔と太鼓とて琴〕<sup>c</sup>を鳴らして行進するときのように  
 心に喜びがある。

30 エホバは御自分の声を響きわたらせ、  
 すさまじく激しい怒りのうちにその腕を現し、振り下ろされる。  
 焼き尽くす火の閃光<sup>せんこう</sup>と  
 すさまじい音を放ちつつ激しく打ちつける雹をもって。

31 エホバの声を聞くと、  
 かつて鞭で打ちたたいていた  
 アッシリ亞人は恐怖に打たれる。  
 32 エホバがその権威の杖を  
 彼らの上に振り下ろされる度に、  
 彼らは死にもの狂いで戦うことになる。

33 いにしえからすでにトフェトが備えられているからである。  
 それはまさに統治者たちのために備えられた炉。  
 その炉は幅が広く、また深く、そのまきはあり余っている。  
 その中では、エホバの息が  
 溶岩の川のように燃えている。

## 第 31 章

1 災いだ、助けを求めてエジプトに下って行く者は。  
 彼らは馬を頼りにし、  
 おびただしい数の戦車と  
 強大な勢力の騎兵を頼みとするが、  
 イスラエルの聖者に目を向けず、  
 エホバに尋ね求めようともしない。

2 けれども、主もまた明敏な方であって、  
 彼らに災難をもたらし、

御自分の言葉を取り消されることはない。

主は悪党のやからと、悪人に味方する者どもに対して  
立ち上がられる。

3 エジプト人は人であって、神ではない。

彼らの馬は肉なるものであって、靈ではない。  
エホバがその手を伸ばされるとき、  
彼らを助ける者たちはつまずき、  
また助けられる者たちは倒れ、  
両者ともに滅びに至る。

4 エホバはわたしにこのように言われた。

「獅子や若い獅子が獲物を捕らえて、うなり声を上げるとき、  
たとえ羊飼いたちが全力を奮い起こしてそれに立ち向かっても、  
獅子は彼らの声にうろたえず、  
その数にひるむこともない。

そのように、万軍のエホバは降って来て、  
シオンの山とその峰々で戦われる。

5 鳥が〔巣の〕<sup>a</sup>上に覆いかぶさるように  
万軍のエホバはエルサレムを守られる。  
それを守って、それを救い出し、  
それを過ぎ越すことによって、それを守られる。」

6 イスラエルの子らよ、あなたがたが遠く離れ去ろうとした方のもとに戻れ。

7 その日、あなたがたは皆、自らの手で造って罪を犯した銀と金の偶像を嫌  
惡するので。

8 「アッシリアは剣によって倒れるが、それは人のものではない。  
死すべき者のものではない剣が彼らを滅ぼし尽くす。  
その剣の前に、彼らは朽ち果て、  
彼らの若い男たちはやがて消える。」

---

<sup>a</sup>5 ヘブライ語の直接目的語 *qen* を、似た発音の副詞 *ken, so* の前に入れて修正。

9 彼らの指揮官たち<sup>b9</sup>は恐怖のうちに死に絶え、  
 将校たちは旗から尻込みする」と、  
 エホバは言われる。主の火はシオンにあり、  
 その炉はエルサレムにある。

## 第32章

- 1 一人の王が義のうちに治め、  
 統治者たちは公正をもって統治する。
- 2 また一人の男が風からの避け所、  
 風からの隠れ場所となる。  
 砂漠に流れる小川、  
 不毛の地にある大きな岩の陰のようになる。
- 3 見る者はその目を閉ざさず、  
 聞く者はその耳を傾けるようになる。
- 4 軽率な者はその心で悟るようになり、  
 どもる者はその舌で雄弁に語るようになる。
- 5 神を認めない者はもはや高潔な人とは見なされず、  
 ならず者が立派な人と見なされることもない。
- 6 神を認めない者は冒瀆の言葉を吐き、  
 その心は不敬なことを思い巡らすからである。  
 偽善を行い、エホバについて  
 よこしまな教えを説くことを思い巡らし、  
 飢えた者を空腹のまま去らせ、  
 渴いた者から飲み物を奪う。
- 7 ならず者たちは悪意のある手段と  
 狡猾な策略をもって貧しい者を破滅させ、  
 偽りの標語と告発をもって

---

<sup>b9</sup> 直訳「岩」。おそらく軍事用語と思われる。

乏しい者を非難する。

8 しかし、高貴な者は高貴な志を持ち、  
徳高いことを擁護する。

9 起きて、わたしの声に耳を傾けよ、安心しきった女たちよ。  
あなたがた無頓着な娘たちよ、わたしの言葉を聞け。  
10 のん気な者どもよ。一年あまりのうちに、  
あなたがたは苦悩に陥る。  
収穫が終わっても、  
作物が届かないからである。

11 おののけ、あなたがた安心しきった女たちよ。  
ろうばいせよ、無頓着な娘たちよ。  
衣を脱いで裸になり、  
腰に粗布をまとえ。  
12 選りすぐりの畠とよく茂ったぶどうの木のために  
あなたがたの胸を打て。  
13 わたしの民の土地には、  
いばらとおどろが生い茂るからである。  
娯楽の町にあるすべての快楽の館のために嘆け。  
14 宮殿は見捨てられ、  
にぎわっていた町は荒れ果てるからである。  
高い建物と広大な眺めの行楽地は、  
この後永遠に動物がたむろする所、  
野生動物の遊び場、  
動物の群れが草をはむ所となる。

19<sup>a</sup> 雷によって森は倒され、  
街はことごとく平地となるからである。  
15 そのとき<sup>b</sup>、高い所から

---

<sup>a</sup>19 この節は本文での順番が間違っていると思われる。

<sup>b</sup>15 ヘブライ語 ‘ad「～まで」は ’az に修正。

わたしたちに御靈が注がれる。  
 砂漠は肥沃な地となり  
 今肥沃な地は  
 低木の茂みと見なされる。

- 16 そのように公正は砂漠に宿り、  
 義は農地にとどまる。  
 17 そして、公正のゆえに平和がもたらされ、  
 義のゆえにとこしえの平穏が保証される。  
 18 わたしの民は、平和に満ちた地、  
 安全な地域、心地よい住居に住む。  
 20 幸いだ、そのときすべての水際で種をまき、  
 雄牛とろばを放し飼いにするあなたがたは。

### 第33章

- 1 災いだ、自らは略奪されていないのに略奪する者よ。  
 誰からも裏切られていないのに裏切る者よ。  
 あなたが破壊の業を終えると、  
 あなたは徹底的に破壊される。  
 あなたが裏切りの業を終えると、  
 彼らがあなたを裏切る。
- 2 エホバよ、わたしたちを憐れんでください。  
 わたしたちはあなたを待ち望んできました。  
 朝から朝までわたしたちの<sup>a</sup>腕の力となり、  
 困難のときにわたしたちの救いとなってください。
- 3 民はあなたの雷のような声から逃げ、  
 あなたが立ち上がられると、国々は散らされました。
- 4 彼らの戦利品は

---

<sup>a</sup>2 ヘブライ語「彼らの」。

芋虫が集めるように集められ、  
強欲なこおろぎのよう人々が押し寄せる。

5 しかし、高い所に住まわれるので、エホバは至高の方であられ、  
公正と義でシオンを満たされる。

6 試練の時におけるあなたの忠実さは強さであり、  
あなたの知恵と知識はあなたの救いであることが立証される。  
エホバに対するあなたの畏れはあなたの富となる。

7 見よ、彼らの屈強な者は人前でむせび泣き、  
平和を推進する者は激しく泣く。

8 大路は荒れ廃れ、旅する者はいなくなる。  
条約は破られ、

<sup>b</sup>調印した者たちは見くびられ、  
人は軽んじられる。

9 地は衰え、荒れ果てるにまかされ、  
レバノンは恥じてしおれる。

シャロンは乾いた荒地となり、  
バシヤンとカルメルは荒廃する。

10 「今こそわたしは立ち上がる」と、エホバは言われる。  
「今こそわたしは傑出した者となり、  
今こそ自らを高くしよう。」

11 あなたがたもみ穀を宿し、わらを生じさせた者よ、  
あなたがた自身の息の火があなたがたを焼き尽くす。

12 もろもろの国は全土が焼かれて石灰のようになり、  
いばらのように刈り取られて燃え上がる。

13 遠くの者たちよ、わたしが行ったことを心に留めよ。  
近くの者たちよ、わたしの勢力を思い知れ。

14 シオンの罪人たちは恐れに打たれ、  
神を認めない者たちは震えに捕らえられた。

---

<sup>b</sup>8 団のとおり。団「町々」。

我々のうち、誰が焼き尽くす火を切り抜けられようか。

我々のうち、誰が永遠の炎に耐えられようか。

15 それは義にかなって事を行う者、

言葉において正直な者、

ゆすりをものともせず、

賄賂を受け取ることを拒む者、

殺人の話に耳を塞ぎ、

悪事の様に目を閉じる者たちである。

16 彼らは高い所に住み、

堅固な崖が彼らのとりでとなる。

彼らにはパンが与えられ、水は絶えることがない。

17 あなたがたの目は栄光のうちに王を見、

地の広がりを見る。

18 あなたがたは恐怖の時を思い起こすであろう。

人口調査を行った者たちはどこにいるのか。

税を取り立てた者たちはどこにいるのか。

もろもろの塔を評価した者たちはどこにいるのか。

19 尊大な民はもはやどこにも見られない。

彼らは理解し難い言葉を話す民、

分かりにくい言語でしゃべる舌を持つ民だ。

20 シオンを見よ、わたしたちの聖会の都を。

あなたがたの目をエルサレムに留めよ、

平和な住まい、移されることのない天幕に。

その杭は決して引き抜かれることがなく、

その綱はどれも断たれることはない。

24<sup>a</sup> そこに住む者で、

「わたしは病気だ」と言う者は誰一人なく、

そこに住む民はその罪惡を赦される。

<sup>a</sup>24 この節は本文での順番が間違っていると思われる。

21 エホバがわたしたちをそこに<sup>d</sup>住まわせてくださるように<sup>b</sup>。

川と広い流れのある国に。

そこを航行する軍艦は一隻も、

そこを通り過ぎる雄大な艦隊もない。

23<sup>c</sup> 彼らの船の綱はゆるんでおり、

彼らは帆柱を決まった場所に立てることも、

帆を張ることもしない。

今や大量の戦利品が分けられ、

足の不自由な者さえもが略奪品の分け前にあずかる。

22 エホバはわたしたちの裁き主、

エホバはわたしたちの立法者であられるので。

エホバはわたしたちの王であり、

エホバ御自身がわたしたちを救ってくださる。

## 第34章

1 もろもろの国よ、近づいて聞け。

もろもろの民よ、注意を払え。

地とその面にいるすべての者、

世界とそれから出るすべての者よ、心に留めよ。

2 エホバの激しい憤りはすべての国に及び、

主の激しい怒りはそのすべての軍勢に及ぶ。

主は彼らに判決を下し、

彼らを虐殺する者に引き渡された。

3 殺された者たちは投げ捨てられ、

そのしかばねは悪臭を放つ。

<sup>a</sup>その血は山々の上で溶けてなくなる。

<sup>b</sup>21 ヘブライ語の 'addir (偉大な者) を yadir に修正。

<sup>c</sup>23 この節は本文での順番が間違っていると思われる。

<sup>a3, a4</sup> 問題のある対句。団の直訳は「山々は彼らの血で溶け、天の全軍は腐乱する」となる。ヘブライ語 kol seba hassamayim を gib ot mehelbam に修正すること

4 彼らの脂肪は〔丘の上で〕腐敗する<sup>a</sup>。

そのときに天は巻物のように巻かれ、

その星の軍勢は、枯葉がぶどうの木から落ち、

しなびた実がいちじくの木から落ちるように、

一斉に落ちる。

5 わたしの剣が天において十分に浸されると、

それはエドムを裁くために下される。

わたしが罰に定めた民を裁くために。

6 エホバがお持ちの剣は滴るほどの血と、

飽くほどの脂肪にまみれる。

それは子羊と雄やぎの血と、

雄羊の肝臓の脂肪である。

エホバはボズラでいけにえをほふり、

エドムの地で大殺戮を行われるからである。

7 野牛や雄牛、若い雄牛も、その中に倒れる。

その地には血が染み込み、

その土は脂肪で肥える。

8 それはエホバの報復の日、

シオンのために天罰が下される年だからである。

9 エドムの<sup>b</sup>流れは溶岩となり

その大地は硫黄に変わる。

その地は燃える樹脂のようになる。

10 夜も昼もその火は消えず、

その煙はとこしえに立ち上る。

そこは代々荒れ地のままとなり、

そこを通る者は永久にいない。

で、この節の意味は文脈と調和する。6-7 節の「血／脂肪」の対句と比較。図のとおり「天の全軍」を「もうもうの丘」に読み替え。

<sup>a</sup>9 ヘブライ語「彼女の」。

11 しかし、たかとはやぶさがそこを占領し、  
ふくろうとからすがそこに住みつく。  
そこは混乱した測り縄と秩序のない重りで  
計られる。

12 そこに王国はなく、その君主たちももはやいないのに、  
彼らは高貴な者たちを招集するだろうか。

13 いばらがその宮殿にはびこり、  
あざみとおどろがそのとりでにはびこるからである。  
そこはほえる野獣のたまり場となり、  
猛禽の住みか<sup>a</sup>となる。

14 コヨーテはジャッカルを出迎え、  
野やぎは互いに呼び合う。  
そこではふくろうも安らぎを見いだし、  
休み場を見つける。

15 そこでは尾長ふくろうが巣を作って卵を産み、  
その卵をかえしてひなを抱く。  
そこにはたかも集まるが、  
それぞれが連れ合いを伴う。

16 エホバの書を調べ、読んでみよ。

「行方の知れない者はおらず、連れ合いのいない者もいない。」  
主は御自分の口によってそのことを定め、  
御自分の御靈によって彼らを集められる。  
17 彼らに受け継ぎを分け与えるのは主であり、  
主はその手で測ってそれを分けられる。  
彼らはそれをとこしえに所有し、  
代々そこに住む。

---

<sup>a</sup>13 ヘブライ語 *hasir*(草)を *haser* に修正。

## 第35章

- 1 荒れ野と乾燥した地は歓喜に満ちる。  
 砂漠はクロッカスのように花咲くときに喜ぶ。
- 2 荒れ野は喜びのうちに、一斉に花開き、  
 楽しげに歌う。  
 そこはレバノンの栄光と、  
 カルメルヒシャロンの輝きを受ける。  
 彼らはそこに、  
 エホバの栄光とわたしたちの神の輝きを見る。
- 3 弱くなった手を強め、  
 よろめく膝を支えよ。
- 4 心を恐れで満たす者たちに言いなさい。  
 「勇気を出せ、恐れるな。  
 見よ、あなたがたの神は報復し、報いを与るために来られる。  
 神御自身が来てあなたを救い出される。」
- 5 そのとき、目の見えない者の目は開かれ、  
 耳の聞こえない者の耳は開かれる。
- 6 そのとき、足の不自由な者は鹿のように跳び跳ね、  
 口が利けない者の舌は喜び叫ぶ。  
 荒れ野に水が湧き出で、  
 砂漠に川が流れる。
- 7 蟻氣樓の地は湖となり、  
 乾いた所は水の湧き出る泉となる。  
 ほえる野獸のたまり場には  
 [湿地帯が生じ]<sup>a</sup>、  
 その住みか<sup>b</sup>には、いぐさと葦が生える。
- 8 そこに大路や道があり、

<sup>a</sup>7 ヘブライ語 *ribsah*(彼女の休む場所)を *tipros bissa* に修正。

<sup>b</sup>7 ヘブライ語 *hasir*(草)を *haser* に修正。34:13 と比較。

「聖なる道」と呼ばれる。  
それらは聖なる<sup>c</sup>者のものだからである<sup>c</sup>。  
汚れた者がそこを通ることはなく、  
堕落した者がそこをさまようこともない。  
9 そこでは獅子<sup>d</sup>に出くわすこともなければ<sup>d</sup>、  
野獸が侵入することもない。  
しかし、贖われた者がそこを歩く。  
10 エホバに<sup>e</sup>贖われた者たちは戻って来る。  
彼らは歌いながらシオンにやって来るが、  
その頭にはとこしえの喜びの冠を頂いている。  
彼らは喜びと楽しみを勝ち得ており、  
そのとき悲しみとため息は消え失せる。

## 第36章

1 ヒゼキヤ王の治世第十四年に、アッシャリアの王センナケリブは、防備を固めたユダのもろもろの都市に進軍し、これらを攻め取った。2 アッシャリアの王は、ラキシュからラブ・シャケを遣わし、大軍とともにエルサレムにいるヒゼキヤ王のもとに向かわせた。ラブ・シャケは洗濯場に向かう道にある上の池の水路の傍らに陣取った。3 すると、ヒルキヤの息子である宮廷長エルヤキムと、書記官シェブナ、アサフの息子である史官ヨアが、彼のもとに出て行った。

4 ラブ・シャケは彼らに言った。「ヒゼキヤに伝えよ。偉大なる王、アッシャリアの王は、このように仰せになる。『おまえはどういうわけでそのように自信をもって振る舞うのか。5 戦いの時に、口先だけの言葉が十分な戦術、あるいは戦力の誇示になると思うのか。いったい誰を信頼して、わたしに逆らうのか。6 おまえが裂けた葦であるエジプトの支えに頼つ

<sup>c</sup>8 フレーズの入れ替え。本文では「そこを通る」に続いている。

<sup>d</sup>9 本文はヘブライ語 *lo' yihyeh sam*（そこにはいない）を「侵入する」の後に重複されている *lo' yimmase sam* と入れ替えるために修正。

<sup>e</sup>27 訳注)ヘブライ語で「代価を支払って解放し、救出する」の意。イザヤ 1:27; 29:22; 51:11 も同じ。

ているのは明らかだ。それに寄りかかる者の手は、刺し貫かれるだけだ。エジプトの王ファラオは、おのれに寄り頼む者すべてにそのようにするだ。7おまえは、「我々はわが神エホバに頼る」とわたしに言っているが、ヒゼキヤはその神の宮と祭壇を取り壊して、ユダとエルサレムに「この祭壇でのみ礼拝せよ」と命じたのではなかったか。8さあ、今わたしの主アッシリアの王と賭けをせよ。おまえが乗り手を用意できるのなら、わたしは二千頭の馬を与えよう。9おまえがエジプトの戦車と騎士に頼ったところで、わたしの主君の家来のうちで最も小さな者でさえどうやって撃退できようか。10さらに、エホバによらずしてこの地に進軍して滅ぼすことがわたしにできたであろうか。エホバがわたしに、この地に攻め上って滅ぼせと言われたのだ。』】

11すると、エルヤキムとシェブナとヨアはラブ・シャケに言った。「どうぞ、アラム語であなたの僕たちにお話しください。わたしどもはアラム語が分かりますので。城壁の上にいる民が聞いている所で、わたしたちにユダの言葉で話さないでください。」

12しかし、ラブ・シャケは答えて言った。「わたしの主君はこれらのことをおまえたちとおまえたちの主君だけでなく、城壁の上に座っている者たちにも伝えようとわたしを遣わしたのではないか。彼らもおまえたちとともに自らの糞尿を飲み食いすることになるのだぞ。」

13そして、ラブ・シャケは立って、ユダの言葉で、大声で呼ばわった。「偉大な王、アッシリアの王の言葉を聞け。14王はこのように仰せられる。『ヒゼキヤに惑わされてはならない。彼はおまえたちを救い出すことはできない。15ヒゼキヤが、「エホバは必ず我々を救ってくださる。この町がアッシリアの王の手に渡されることはない」と言っても、エホバを頼みとしてはならない。』

16ヒゼキヤの言葉に耳を傾けてはならない。アッシリアの王はこのように仰せになる。『わたしのもとに来て、わたしと和解せよ。そうすれば、あなたがたは皆自分のぶどうの木と自分のいちじくの木から食べ、自分の水がめから飲むであろう。17やがてわたしは戻って来て、あなたがたを一つの国に連れて行くが、そこはあなたがた自身の地と同じような地、すなわち穀物とぶどう酒の取れる地、穀物畠とぶどう畠のある地である。』

18気をつけよ。ヒゼキヤが、「エホバは我々を救ってくださる」と言っても欺

かれてはならない。国々の神々は、それぞれの地をアッシャリアの王の手から救うことができたか。19 ハマテとアルパドの神々はどこにいるのか。セファルワムの神々はどこか。それらはわたしの手からサマリヤを救い出したか。20 それらの国々のすべての神々のうち、どの神がわたしの手からその地を救ったか。それではどうしてエホバがエルサレムをわたしの手から救えようか。』』  
21 しかし、彼らは黙したまま、何も答えなかつた。王が彼に答えてはならないと命じていたからである。

22 そこで、ヒルキヤの息子である宮廷長エルヤキムと、書記官シェブナと、アサフの息子である史官ヨアは、自らの衣を裂いてヒゼキヤのもとへ行き、ラブ・シャケが語ったことを報告した。

## 第37章

1 ヒゼキヤ王はそれを聞くと、自らの衣を裂き、粗布を身にまとてエホバの宮に入った。2 そして王は宮廷長エルヤキム、書記官シェブナ、史官ヨア、および祭司の長老たちに粗布をまとわせ、アモツの息子である預言者イザヤのもとに遣わした。

5<sup>a</sup> ヒゼキヤ王の僕たちがイザヤのもとに来たとき、3 彼らはイザヤに言った。「ヒゼキヤはこのように言われます。『今日は苦境の日、とがめと侮辱の日です。子らがまさに生まれようとしているのに、その子らを産み出す力がないのです。4 あなたの神、エホバは、ラブ・シャケの言葉をお聞きになったことでしょう。彼は、生ける神を嘲るためにその主君であるアッシャリアの王から遣わされた者です。もしあなたが残りの者たちのために祈りをささげてくださいれば、あなたの神、エホバは彼が語ったことを聞いて、彼を叱責なさるでしょう。』』

6 するとイザヤは彼らに言った。「あなたがたの主君に伝えなさい。『エホバはこのように言われる。アッシャリアの王の従者たちがわたしをあざ笑うのを聞いて、恐れてはならない。7 見よ、わたしはアッシャリアの王に、一つのうわさを聞かせて、彼を自国に戻るように仕向けよう。そして、彼を自らの地で剣に倒れさせよう。』』

8 そして、アッシャリアの王がラキシユを去ったと聞くと、ラブ・シャケは引き返

---

<sup>a</sup>5 本文では順番が間違っていると思われる。

し、アッシャリアの王がリブナを攻撃していることを知った。

9さて、センナケリブは<sup>b</sup>、クシュの王ティルハカが自分と戦いを交えようと進軍しているとの知らせを受けた。それを聞いて、彼はヒゼキヤに使者を送り、10ユダの王ヒゼキヤにこのように言うように命じた。「おまえがより頼む神に欺かれて、エルサレムはアッシャリアの王の手に渡ることなどないと考えてはならない。11おまえ自身、アッシャリアの王が行ってきたこと、すなわちすべての地を併合していることを聞いているではないか。それでも自分は逃れられる」とでもいうのか。12わたしの先祖たちが滅ぼした国々の神々は、その国民を救い出したか。それらの神々はゴザンやハラン、レツエフとテラサルにいたエデンの人々を救い出したか。13ハマトとアルパドの王たちと、セファルワイム、ヘナやアワの王たちはどこにいるのか。」

14ヒゼキヤは使者たちから手紙を受け取り、それを読んだ。それから、ヒゼキヤはエホバの宮へ上って行き、エホバの前で手紙を広げた。15そして、ヒゼキヤはエホバに祈って言った。

16「ケルビムの間に座しておられる万軍のエホバ、イスラエルの神よ、あなたのみが地のすべての王国を治める神であられます。あなたこそ、もろもろの天と地をお造りになった方です。

17エホバよ、どうか耳を傾けてお聞きください。エホバよ、あなたの目を開いて御覧ください。センナケリブが生ける神を嘲るために書き送ったすべての言葉にお聞きください。

18エホバよ、アッシャリアの王は実にすべての民<sup>c</sup>と彼らの地を滅ぼし、19その神々を火に投げ入れました。それらは神ではなく、木や石で作られた、人の手の業に過ぎなかったからです。それで、彼らはそれらの神々を破壊できたのです。20しかし、わたしたちの神、エホバよ、今わたしたちを彼の手から救い出してください。それによって地のすべての王国が、あなただけがエホバであられることを知ることができますように。」

21すると、アモツの息子イザヤはヒゼキヤに人を遣わして言った。「イスラエルの神、エホバは、このように言われます。あなたがアッシャリアの王センナケリブについてわたしに祈ったので、22これが彼に対してエホバが語る言葉です。

<sup>b</sup>9 ヘブライ語「彼は」。

<sup>c</sup>18 ヘブライ語 *ha'arasot* (土地) を *haggoym* に修正。列王記下 19:17 と比較。

『シオンのおとめはあなたを軽視し、  
あなたを嘲り笑う。  
エルサレムの娘は、あなたに向かって頭を振る。

- 23 あなたは誰を嘲り、あざ笑ったのか。  
あなたは誰に向かって声を上げ、  
その目を高く天に向けて上げたのか。  
イスラエルの聖者に向かってである。
- 24 あなたは僕たちによって、わたしの主を冒瀆した。  
あなたは思った。「わたしはおびただしい戦車で  
最も高い山々を征服し、  
レバノンの最果てまでも征服した。  
その最も高い杉と選りすぐりの糸杉を倒した。  
その最も高い頂、最も美しい森にまで手を伸ばした。
- 25 わたしは井戸を掘り、外国の<sup>a</sup>水を飲んだ。  
自らの足の裏で、エジプトのすべての川を干上がらせた。」

- 26 あなたは聞いたことがないのか、  
わたしがはるか前に、いかにこのことを定め、  
わたしが昔に、いかにそれを計画したかを。  
わたしは今それを成し遂げた。  
あなたは防備を固めた都市を取り崩し、  
それらをがれきの山にするように定められていたのである。

- 27 一方、そこに住む臆病な住民たちは、  
混乱のうちに後ずさりし、  
ひと時の間緑色をした野の草のように、  
あるいは生長する前に<sup>c</sup>干からびる<sup>b</sup>屋根の上の草のようになった。

---

<sup>a</sup>25 囮のとおり。列王記下 19:24。囮にはない。

<sup>b</sup>27 囮のとおり。囮は意味不明。

- 28 しかし、わたしはあなたが住む場所と、  
 あなたが出入りする場所を知つており、  
 あなたがわたしに対してどれほど氣を荒ら立てているかも知つておる。
- 29 わたしに対するあなたの荒い鼻息と、怒鳴り声が  
 わたしの耳にまで達したので、  
 わたしはあなたの鼻にわたしの鼻輪をつけ、  
 あなたの口にわたしのくつわをはめ、  
 あなたをもと来た道へ引き戻す。』
- 30 しかし、あなたにとってこれはしるしとなる。  
 今年は野で育つものを食べ、  
 次の年は自生したものを食べるが、  
 三年目には種をまいて刈り入れ、  
 ぶどう畠を作り、その実を食べる。
- 31 ユダの家の生き残った者は、  
 再び下に根を張り、上に実を結ぶ。
- 32 エルサレムから残りの者が出て来て、  
 シオンの山から生き残った者の一団が出て来るからである。  
 万軍のエホバの熱意がこれを成し遂げるのである。
- 33 それゆえ、エホバはアッシリ亞の王について  
 このように言われる。  
 『彼はこの都に入ることも、ここに矢を射ることもない。  
 彼は武具を携えて進軍して来ることも、  
 この都に対して土壘を築くこともない。』
- 34 彼は来た道を戻って行き、  
 この都に入ることないと、エホバは言う。
- 35 わたしは自分のゆえ、またわたしの僕ダビデのゆえに  
 この都を守り、これを救おう。』
- 36 それからエホバの天使が出て行き、アッシリ亞軍の陣営にいた十八万五千人を殺した。人々が朝起きると、彼らは皆死体となって横たわっていた。
- 37 そこで、アッシリ亞の王センナケリブは陣を引き払って退却し、自分が住

むニネベに戻って行った。

38 そして、彼がその神ニスロクの神殿で礼拝しているとき、彼の息子たちアデラメレクとサルエツエルが彼を剣にかけて殺し、アララトの地へ逃げた。そして、彼の息子エサルハドンが後を継いで王となった。

## 第38章

1 そのころ、ヒゼキヤは重病を患っていた。アモツの息子である預言者イザヤが、彼のところに来て言った。「エホバはこのように言われる。『あなたの家を整えなさい。あなたは死ぬであろう。回復することはない。』」

2 このとき、ヒゼキヤは顔を壁に向けて、エホバに祈った。3 「おお、エホバよ、願わくは、わたしがあなたの前を忠実に、真心をもって歩み、あなたの目にかなうことを行ってきたことを思い出してください。」そして、ヒゼキヤは悲嘆に暮れて泣いた。

4 すると、イザヤにエホバの言葉が下った。5 「行って、ヒゼキヤに告げなさい。『あなたの父ダビデの神、エホバはこのように言う。「わたしはあなたの祈りを聞き、あなたの涙を見た。わたしはあなたの寿命を15年延ばす。6 また、わたしはあなたとこの都をアッシリアの王の手から救い出し、この都を守る。』」

21<sup>a</sup> そして、イザヤは、彼が回復するように、腫れた患部にいちじくを当てて湿布するように指示した。22<sup>a</sup> しかし、ヒゼキヤは言った。「わたしが再びエホバの家に上ることを示すしは何でしょうか。」

7 すると、イザヤは答えて言った。「これがエホバからあなたへのしるし、すなわちエホバが約束を果たされることを示すものである。8 『見よ、わたしはアハズの日時計の上に落ちて進んだ午後の太陽の影を十度後戻りさせる。』」すると太陽の影は日時計の上を逆に進んで十度戻った。

9 ユダの王ヒゼキヤが回復してから、自分の病気について書き記した言葉。

10 「わたしは言った。人生の盛りにあって、  
わたしはわが生涯の残りを失い、

---

<sup>a</sup>21, <sup>a</sup>22 本文での順番が間違っていると思われる。

陰府の門をくぐって、去らなければならないのか。

11 わたしは思った。わたしは生ける者の地で、

<sup>b</sup>エホバにまみえることはない。

死すべき世に住む者たちの間で、

今や人を見ることはないだろう。

12 わたしの幕屋は引き抜かれて、

羊飼いの天幕のようにわたしから運び去られる。

わたしの命は織り布のように断ち切られる。

主はわたしを織機から切り離される。<sup>c</sup>

13 わたしは朝まで自らを抑えることができようか、

獅子のように、主がわたしの全身を苦しめられるというのに。

確かに、夜が昼の後に続くように、

あなたはわたしに終わりを来たらそうとしておられる。

14 舞い上がるひばりのようにわたしはさえずり、

鳩のようにわたしはつぶやく。

わたしの目は天へと引き寄せられている。

〔わたしは魂の苦痛で<sup>d</sup>

一睡もできないでいる<sup>e</sup>…〕

エホバよ、わたしは窮地に立っています。

どうか、わたしの保証人となってださい。

15 しかし、わたしは何を言うべきでしょうか。

主がすでにわたしのために語られたというのに、

主御自身がそうされたというのに。

16 わたしの主よ、このような試練によって

<sup>b</sup>11 ヘブライ語 *yah* *yah* を *yhwh* に修正。

<sup>c</sup>12 囮には「夜が昼の後に続くように、あなたはわたしの終わりをもたらしておられる」が追加されている(13 節と同じ)。恐らく重複による。囮と比較。

<sup>d</sup>14 ヘブライ語 '*eddaddeh kol senotay*(わたしは生涯にわたってさまよう)を *noddeda kol senati* に修正。

<sup>e</sup>14 15 節の「そうされた」の後に続いている行をここへ移動。

新たな命がもたらされます。

これらすべてを通して、わたしの靈が更新されます。

17 わたしがこのようにひどい苦しみの中にいるのは、

まぎれもなく、わたし自身の幸いのためです。

これによってあなたはわたしの魂を

破滅の穴から引き出してくださいます。

あなたはわたしのすべての罪を背に負って

〔わたしを回復させ、生き返らせて〕くださるからです。<sup>f</sup>

18 陰府はあなたを褒めたたえることができず、

死があなたを賛美することもできないからです。

穴に降って行く者には、

あなたの忠実さに対するさらなる望みがないからです。

19 しかし、生ける者だけが、

わたしが今日するように、あなたに称賛をもたらします。

父から息子へと、彼らはあなたの忠実さについての知識を

伝えるのです。

20 エホバよ。御心でしたらわたしをお救いください。

そうすれば、わたしたちは命のあるかぎり

エホバの宮で終日音楽を奏でるでしょう。」

## 第39章

1 そのころ、バルアダンの息子であるバビロンの王、メロダク・バルアダンがヒゼキヤに手紙と贈り物を送ってきた。ヒゼキヤの病気と回復について聞いたからである。2 ヒゼキヤはそれを喜び、使節団<sup>a</sup>に自分の宝物、すなわち銀、金、香料、香油、および武器庫とその宝物庫にあるすべての物を見せた。ヒゼキヤがその宮殿の中やその国中で、彼らに見せなかつた物は何一つなかつた。

3 その後、預言者イザヤはヒゼキヤ王のもとに来て言った。「あの人々はあなたに何を言いましたか。また、彼らはどこからやって来たのですか。」すると、ヒ

<sup>f</sup>17 16 節の「わたしの靈」の後に続いていたフレーズをここへ移動。

<sup>a</sup>2 ヘブライ語「彼らに」。

ゼキヤは答えて言った。「彼らは遠くの地から来ました。バビロンからやってきました。」<sup>4</sup> そこでイザヤは、「彼らはあなたの宮殿で何を見ましたか」と尋ねた。ヒゼキヤは、「彼らはわたしの宮殿にあるすべての物を見ました。わたしの宝物庫で、彼らに見せなかった物は何一つありません」と答えた。

5 すると、イザヤはヒゼキヤに言った。「万軍のエホバの言葉を聞きなさい。<sup>6</sup> 『あなたの宮殿にある物とあなたの先祖が今まで蓄えてきた物がすべてバビロンへ運び去られる時が来る。何一つ残らない』と、エホバは言われる。<sup>7</sup> 『また、あなた自身の息子たち、あなたの将来の子孫と末裔の中には、連れ去られてバビロンの王の宮殿で宦官として仕える者たちがいるであろう。』」

8 しかし、ヒゼキヤはイザヤに、「あなたが語ったエホバの言葉はありがたいものです」と答えた。そのとき彼は、「自分の統治の間は平和と忠誠がある」と思ったからである。

## 第 40 章

1 「わたしの民を慰めよ、慰めを与えよ」と、あなたの神は言われる。

2 「エルサレムに向けて優しく語りなさい。

彼女の服役の期間は満ち、

その罪はすでに消えたと、告げ知らせなさい。

彼女はエホバの手から

そのすべての罪に対して倍のものを受けた。」

3 大声で呼びかける声がある。

「砂漠にエホバのために道を備えよ。

荒れ野にわたしたちの神のためにまっすぐな大路を敷け。

4 すべての谷は高くされ、

すべての山と丘は低くされなければならない。

起伏のある地は平らになり、

険しい地は平地となる。

---

<sup>b4</sup> ヘブライ語「彼は」。

5 エホバの栄光<sup>a</sup>が現され

すべての肉なる者は直ちにそれを見るからである。

エホバはその口によってこれを語られた。」

6 「告げ知らせなさい」と言う声がした。

わたしは尋ねた。「どのように告げましょうか。」

「すべての肉なる者は草であり、

その盛りのときは野の花のようだ。

7 <sup>b</sup>エホバの御靈がその内に息づいているが、

人そのものは牧草にすぎない。

8 草は枯れ、花はしぶむ。

わたしたちの神の言葉だけが永遠に続く。」

9 山々の高みに登りなさい、

シオンよ、よきおとずれを告げ知らせる者よ。

あなたの力強い声を上げなさい。

エルサレムよ、良い知らせを告げる使者よ。

あなたの声を上げよ、恐れてはならない。

ユダの町々に向けて高らかに言いなさい。「見よ、あなたの神を」と。

10 見よ、わたしの主、エホバは力を帶びて来られ、

主の腕は主のために統治する。

主の報いは主とともにあり、主の業は主に先立つ。

11 主は羊飼いのようにその群れを草地に放ち、

その腕で子羊を集め、その懷に抱いて運ばれる。

主は乳を出す雌羊を優しく導かれる。

12 誰が手のひらで水を量り、

指の幅で天を測ったのか。

誰が升をもって地のちりを集め、

---

<sup>a</sup>5 または、「臨在」。

<sup>b</sup>7 囮には「草は枯れ、花はしぶむ」(8 節と同じ)と加えられているが、恐らく重複と思われる。囮と囮と比較。

計りで山々の重さを量り、  
天秤で丘の重さを量ったのか。

13 誰がエホバの御靈を理解し、  
主に御自身の計画を知らせたというのか。

14 主は誰から助言を受け、  
悟りを得られたのか。  
主は誰から分別の道について教えを受け、  
知識を授けられ、  
理解の道に精通されたのか。

15 国々は手おけから落ちるしづくにすぎず、  
天秤の上のほこりに勝るものとは見なされない。

主は島々をただのちりのように移される。

16 レバノンは、火を燃やすのに十分ではなく、  
そのすべての獸もいにえには十分ではない。

17 主の前では、すべての国々は無に等しく、  
主によって空しく形もないものにも劣ると見なされる。

18 それでは、あなたがたは神を誰に例えるのか。  
神は何に似ていると考えるのか。

19 鑄物師が鑄て造り、  
金細工人が金で覆い、  
職工が銀の鎖を付けた像か。

41:7<sup>c</sup> 鑄物師は金細工人を鼓舞し、  
金づちで打つ者は、  
金床を打ちたたく者を激励する。

彼らは溶接する者について「それでよい」と言いながらも、  
それをびようでしっかり留める。

20 貧しくてこのようなささげ物のできない者は  
朽ちない木を選ぶ。

<sup>c</sup>41:7 本文での順番が間違っていると思われる。

彼らは巧みな職人を探し求めて、  
壊れない像を彫らせる。

- 21 あなたがたはそれほど無知なのか。  
これまで聞いたことがないのか。  
あなたがたは前に告げられたのではなかつたか。  
誰によって地の基が据えられたのかを理解しないとは。
- 22 地の領域よりさらに高く、王位に座しておられる主にとって、  
地に住む者はいなごのようなものだ。  
天蓋のように天をつるし支えておられる主は、  
天幕のように天を引き広げて、その中に住まわれる。
- 23 主によって君主らは無に帰され、  
この世の権力者らは無力な者とされる。
- 24 彼らが植えられるやいなや、  
またはまかれるやいなや、  
彼らの株が地に根を下ろすやいなや、  
主は彼らに息を吹きかけられるので、彼らはしおれる。  
そして、嵐が彼らをもみ殻のように一掃する。
- 25 「それなら、あなたがたはわたしを誰に例えるのか。  
誰がわたしと比べられようか」と、聖者は言われる。
- 26 あなたがたの目を天に向けて見なさい。  
誰がこれらを形造ったのか。  
その万象を数えて生じさせ、  
それぞれを名前で呼ばれる方である。  
この方は全能であり、全権をお持ちであって、  
不可解なものは一つとしてない。
- 27 ヤコブよ、それならなぜ言うのか。  
イスラエルよ、なぜ語るのか。  
「わたしたちの道はエホバから隠されており、  
わたしたちの訴えはわたしたちの神に見過ごしにされている」と。

28 あなたがたは知らないのか。聞いたことがないのか。

エホバは永遠の神であり、

地の果てまで創造された方であることを。

主は弱くなることも、疲れることもなく、

その英知は計り知れない。

29 主は疲れた者に精力を与え、

強さのない者には活力を増し加えられる。

30 若者は弱って疲れ果て、

若い男も疲労のあまり倒れ込む。

31 しかし、エホバを待ち望む者は、

新たな力を得、

鷲の翼によるかのように舞い上がる。

彼らは走っても疲れることがなく、

歩いても弱ることはない。

## 第41章

1 おお、島々よ、わたしの前で静かにしていなさい。

あなたがた、もろもろの民よ、静まりなさい。

彼らに、進み出て、おのおのの言い分を述べさせなさい。

我々はともに裁きの場に臨もうではないか。

2 誰が東から義を起こし、

その者を主の足元に呼び寄せたのか。

誰が彼に国々を引き渡し、

各国の統治者たちを倒したのか。

また、その剣で彼らをちりのようにし、

その弓で吹き払われるわらのようにしたのか。

3 彼はこれらの者を追い散らし、

その足がかつて踏んだことのない道を通って、

妨げられることなく進み行く。

4 誰がこのことを成し遂げたのか。

もろもろの王朝を前もって定めたのは誰か。

わたしエホバ、すなわち初めであり終わりである者が、その者である。

5 島々は見て恐れ、

地の果てはおののいている。

彼らは群れを成してやって来る。<sup>a</sup>

6 やって来て互いに助け合い、

めいめいが同胞に向かって「勇気を出せ」と言う。

8 しかし、おお、わたしの僕であるイスラエルよ、

わたしが選んだヤコブよ、

わたしの愛する友であるアブラハムの子孫よ。

9 わたしが地の果てから連れ出し、

地の最果てから呼び寄せた者よ。

わたしはあなたに言う。「あなたはわたしの僕である。

わたしはあなたを受け入れ、拒まなかった」と。

10 恐れてはならない、わたしはあなたとともにいる。

うろたえてはならない、わたしはあなたの神である。

わたしはあなたを強くする。またあなたを助け、

わたしの義の右の手であなたを支える。

11 見よ、あなたに対して激しく怒る者は皆

恥と侮辱を受け、

あなたの敵は無に帰し、滅びる。

12 あなたと言い争う者を探しても見つからず、

あなたと戦う者は誰もいなくなる。

13 あなたの神であるわたしエホバは、

あなたの右の手を取って、

「恐れるな。わたしがあなたを助ける」と言うからである。

14 「恐れるな、虫けらに等しいあなたがたヤコブよ。

---

<sup>a</sup>5 囮のとおり。囮にはない。

- [うろたえるな、]<sup>b</sup>イスラエルの人々よ。  
 わたしはあなたの助け手である」と、エホバは言われる。  
 「あなたの贖い主は、イスラエルの聖者である。  
 15 わたしはあなたを鋭い歯のある脱穀板とする。  
 それは新しい造りで一面に釘が並んでいる。  
 あなたは山々を打ってちりとし、丘をもみ殻とする。  
 16 あなたがそれらを吹き分けると、風がそれらを運び去り、  
 風がそれらを吹き散らす。  
 そのとき、あなたはエホバを喜び、  
 イスラエルの聖者を賛美する。  
 17 貧しい者と乏しい者が水を求めても、  
 そこには水がない。  
 彼らの舌が渴きで干上がるとき、  
 わたしエホバは彼らの必要を満たす。  
 イスラエルの神であるわたしは、彼らを見捨てない。  
 18 わたしは不毛の山地に川を開き、  
 平原の中に泉を開く。  
 わたしは砂漠を湖とし、  
 乾いた地を水の源とする。  
 19 わたしは荒れ野に杉、アカシア、  
 ミルトス、グミの木を生えさせる。  
 わたしは大草原に糸杉、  
 にれ、つけの木を植える。  
 20 それは、エホバの手がこれをなし、  
 イスラエルの聖者がこれを創造されたことを、  
 すべての者が見て、知り、深く考え、そして悟るためである。」  
 21 「あなたがたの訴えを出しなさい」と、エホバは言われる。  
 「あなたがたの証拠を示しなさい」と、ヤコブの王は言われる。

---

<sup>b</sup>14 韻律と並列性に基づいて復元。10 節と比較。

22 「彼らに、進み出て、これまでの出来事についての  
彼らの預言を述べさせなさい。  
それらは何であるか、わたしたちに告げなさい。  
わたしたちがそれらを調べて、  
それらが成就したかどうか知ることができるよう。」  
あるいは、わたしたちのために将来を予測できるよう。」

23 これから後起こる出来事をわたしたちに告げなさい。  
それによって、あなたがたが神々であることをわたしたちが知るよう。  
善いことであれ悪いことであれやってみるがよい。  
わたしたちが驚嘆し、こぞって畏れ敬うようなことを。」

24 あなたがたが取るに足りない者であることは明らかである。  
あなたがたの行いはことごとく無に等しい。<sup>c</sup>  
あなたがたを受け入れる者は誰でも、その者自身が忌むべき者である。」

25 わたしは北から、わたしの名を呼ぶ者を起こした。  
その者は日の昇る方角からやって来る。  
彼は高官たちを見ると、泥のように踏みつける。  
まるで陶工が粘土を踏むように。」

26 わたしたちが知ることができるように、  
このことを前もって告げ知らせたのは誰か。  
わたしたちが<sup>d</sup>「彼は正しい」<sup>d</sup>と言えるように、  
このことを前もって告げたのは誰か。  
実に、前もって告げることのできた者は一人もいなかった。  
誰一人としてそれを知らせる者はいなかった。  
あなたがたから〔預言の〕<sup>e</sup>言葉を聞いた者は一人としていない。」

---

<sup>c</sup>24 ヘブライ語 'apa(不明)を 'ape に修正。

<sup>d</sup>26 直訳「義にかなった者」。2 節と 25 節の対象となっている人物をもじっている。

<sup>e</sup>26 ヘブライ語 ri'son。恐らくこの節に含まれているのは、なまって変化した(22 節の複数形 ri'sonot と 26 節の mer'os と比較)ものと思われる。この言葉は□では 27 節の最初の言葉になっている。

<sup>f</sup>27 ヘブライ語 hannomeh(アラビア語と比較)。□のとおり。□では hinnam(彼らを

27 しかし、シオンにとって、彼は前触れとなる。<sup>f</sup>

わたしは彼をエルサレムによきおとずれを  
告げ広める者として任じる。

28 わたしが見ると、そこには誰もいなかったからだ。

助言することのできる者はいなかった。

わたしが尋ねても、

一言でも答えられる者はいなかった。

29 確かに、彼らは皆不正を行う者であり、

彼らの業は価値のないものである。

彼らから出るものは、風にすぎず、空しい。

## 第42章

1 わたしが支えるわたしの僕、

わたしが喜ぶわたしの選んだ者、

わたしは彼にわたしの靈を授けた。

彼は国々<sup>a</sup>を裁く。

2 彼は叫ばず、声を上げず、

ちまたでその声を聞かせようとしない。

3 傷ついた葦さえも折らず、

ほの暗い灯心の火を消すこともない。

彼は真理の大義において

公正の業を行う。

4 彼自身衰えたり、傷ついたりすることなく、

ついには地に公正をもたらす。

島々は彼の律法を待ち望む。

5 神なるエホバ、

すなわち天を形造って支え、

見よ／彼らは来た)。

<sup>a</sup>1 ヘブライ語 *goyim*。「異邦人」の意でもある。

地とそこに住む生き物に姿形を与える、  
その面に住む人々に命の息を与える、  
その面を歩く者たちに靈を授けられる方は、このように言われる。

6 「わたしエホバは正当にあなたを召した。

そして、あなたの手を握る。

わたしはあなたを創造し、

民のための契約、

国々<sup>b</sup>への光となるように、

7 目の見えない者の目を開くように、

また囚われ人を獄屋から、

闇のうちに座す者たちを獄から解放するように、あなたを任せた。

8 わたしはエホバである。これはわたしの名である。

わたしは、わたしの栄光を他の者に譲らない。

わたしの誉れを偶像に与えない。

9 先にあった出来事についての預言は

確かに成就した。

けれども、わたしは今なお新しいことを前もって告げよう。

それらが起こる前に、あなたがたに告げておく。」

10 エホバに向かって新しい歌を歌え。

地の果てから主を褒め歌え。

<sup>c</sup>海とよその中に住むすべてのものと、

島々とそこに住む者たちよ、鳴りどよめ<sup>c</sup>。

11 砂漠とその中の町々と、

ケダル人が住む村々よ、声を上げよ。

セラに住む人々よ、喜び歌え。

山々の頂から大声で叫べ。

12 おお、エホバに栄光を帰せよ。

島々で主を褒めたたえて声を上げよ。

---

<sup>b</sup>6 ヘブライ語 *goyim*。「異邦人」の意もある。

<sup>c</sup>10 ヘブライ語 *yorde hayyam*(彼ら海へ行く者は)を *yir 'am hayyam*に修正。

13 エホバは勇士のようになって行き、

戦士のようにその熱情を奮い立たせられる。

主はときの声を発し、

その敵に向かって勝利の叫びを上げられる。

14 わたしは久しく沈黙し、

静かに自らを制していた。

しかし、今わたしは子を産む女のように叫び、

たちまち激しく息を速める。

15 わたしはもろもろの山と丘を荒廃させ、

そのすべての草木を枯らす。

わたしは川を乾いた地とし、湖を干上がらせる。

16 その後、わたしは目の見えない者たちを彼らの知らない道へと連れゆき、

見知らぬ道にあって彼らを導く。

わたしは彼らの前に立ちふさがる闇を光に変え、

起伏のある地を平らにする。

これらのことを行なわしは必ず行う。

17 しかし、偶像に頼り、

それらの像を神であると見なす者は、

混乱の極みのうちに退く。

18 あなたがた耳の聞こえない者よ、耳を傾けよ。

あなたがた目の見えない者よ、目を向けて見よ。

19 わたしの僕のほかに目の見えない者は誰か。

わたししが遣わした使者ほどに耳の聞こえない者は誰か。

わたししが権限を与えた者のように目が見えない者は誰か。

エホバの僕ほどに物分かりが悪い者は誰か。

20 彼らは多くを見ながら心に留めず、

耳を開きながらも何一つ聞かない。

21 主の義のために

彼らが律法を大いなるものとし、輝かすことは、

エホバの御心にかなうことである。

22 ところが、彼らは略奪され、かすめられた民であり、

すべての者が穴の中に捕らわれ、

土牢に閉じ込められている。

彼らが餌食となつても、助け出す者はなく、

強奪されても、返還を求める者はいない。

23 あなたがたのうち、これを聞き、

この後これを心に留め、

常に胸に置いて、従うのは誰であろうか。

24 ヤコブを略奪者の手に渡し、

イスラエルを強奪者の手に渡すのは、

エホバではないとしたら誰であろうか。

この御方に対してわたしたちは罪を犯した。

彼らは主の道に歩むことを少しも望まず、

主の律法に従うことをも望まないからである。

25 そこで、主は怒りの熱により

彼らの上に戦争による暴力を注がれる。

炎に包まれても、彼らはそれに気づかず、

自分に火がついても、彼らは意に介さない。

## 第43章

1 しかし今、ヤコブよ、あなたを形造られた方、

イスラエルよ、あなたを創造された方、

エホバはこのように言われる。

「恐れてはならない。わたしはあなたを贖つたからである。

わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのものである。

2 あなたが水のある所を渡るとき、わたしはあなたとともにいる。

川を横切るときにも、あなたは水に沈むことがない。

あなたは火の中を歩いて行くが、焼かれることがない。

その炎があなたを焼き尽くすことはない。

3 わたしエホバは、あなたの神だからである。

イスラエルの聖者であるわたしは、あなたの救い主である。

わたしはエジプトをあなたの身代金とし、

クシュとセバをあなたの代わりに与える。

4 あなたはわたしの目に尊く、重んじられているので、

また、わたしはあなたを愛しているので、

わたしはあなたへの代償として人々を与え、

あなたの命と引き換えに民を与える。

5 恐れではならない。わたしはあなたとともにいるからである。

わたしは東からあなたの子孫を連れて来させ、

西からあなたを集める。

6 わたしは北に向かって、『引き渡せ』と言い、

南に向かって、『引き留めるな』と言う。

わたしの息子たちを遠くから連れて来させ、

わたしの娘たちを地の果てから連れて来させなさい。

7 わたしの名によって呼ばれるすべての者、

わたしがわたし自身の栄光のために形造り、かたどり、造り上げた者を連れて来させなさい。

8 目がありながら見えない民、

耳がありながら聞こえない民を行かせなさい。

9 もろもろの国がこそって和合し、集まるとき、

もろもろの民がともに集められたときに、

彼らのうち誰がこれらのことと前もって告げたか。

誰がこれまでに起こった出来事を予測したか。

彼らの証人たちを連れて来させ、

自ら申し開きをさせよ。

それを聞いた者たちが『それは真実だ』と言えるようにせよ。」

10 しかし、エホバは言われる。「あなたがたはわたしの証人、

わたしが選んだ僕である。

それは、あなたがこのことを認めてわたしを信じるため、

またわたしがこれらのことと前もって告げた者であることを  
あなたが悟るためである。

わたしの前に形造られた神はなく、  
わたしの後にも一切ないことをあなたが悟るためである。

11 わたし自身がエホバである。

わたしのほかに救う者はいない。

12 前もって救いを知らせ、それをもたらしたのはわたしである。

あなたがたの間に見知らぬ神が一つとしてないときに、  
救いを知らせたのはわたしである。」

エホバはこう言われる。

「あなたがたは、わたしが神であることの証人である。

13 また初めからわたしが常にいたことの証人である。

わたしの手から救い出すことのできる者は誰一人いない。  
わたしが業を行うとき、誰がそれを妨げられようか。」

14 イスラエルの聖者であり、あなたがたの贖い主である

エホバはこのように言われる。

「あなたがたのために、わたしはバビロンに攻撃を仕掛け、  
海運の業たたえて歌う者である  
すべてのカルデア人を打ち倒して逃げ去らせる。

15 わたしエホバ、あなたがたの聖者、

イスラエルの創造主は、あなたがたの王である。」

16 エホバはこのように言われる。

すなわち海の中に道を、  
大いなる水を通り抜ける道を備えられる方、

17 戦車や馬、兵士の軍勢を全員そろって連れ出し、  
彼らが一斉に倒れて二度と起き上がらず、  
灯心の火が消え失せるようにちらつき消滅するようにされる方が  
このように言われる。

18 「過ぎ去った出来事の預言を心にかけてはならない。

過去のことをあれこれ思い悩んではならない。

- 19 見よ、わたしは新しいことを行う。それは今まさに起ころうとしている。  
あなたがたは確かにそれに気づいている。  
わたしは砂漠を通る道を作つており、  
荒れ果てた地に川を作つてゐる。
- 20 野獸もジャッカルも猛禽もわたしをあがめる。  
わたしが荒れ野に水を、  
乾いた地に川をもたらし、  
わたしの選民に飲ませるからである。
- 21 わたしを褒めたたえて声を上げるように、  
彼らはわたしが自らのために築いた民である。
- 22 しかし、ヤコブよ、あなたはわたしを呼び求めない。  
イスラエルよ、あなたはますますわたしを疎んじるようになった。
- 23 それでも、わたしはあなたにその家畜の群れから  
ささげ物を持って来るよう求めず、  
犠牲の動物を殺すことによってわたしを崇めるようにも求めなかつた。  
わたしはあなたに供え物の重荷を負わすことも  
香をたくよう煩いをかけることもなかつた。
- 24 またあなたに、かぐわしい菖蒲を買う負担をかけることも、  
犠牲の脂肪をもつて自らを満足させることもなかつた。  
それでも、あなたは自身の罪をもつてわたしに重荷を負わせ、  
自身の罪悪をもつてわたしを倦み疲れさせた。
- 25 しかし、わたしは自身のために  
あなたのとがを消し去り、  
もはやあなたの罪を思い起こすことはない。
- 26 過去について、わたしに詳しく述べなさい。  
互いに自らの言い分を述べよう。  
声を上げて、自ら弁明するがよい。
- 27 あなたの最初の父祖は背き、  
あなたの代弁者たちはわたしに対して罪を犯した。

28 それゆえ、わたしは<sup>a</sup>聖なる町々<sup>a</sup>を汚されるに任せ、  
ヤコブを追放させ、イスラエルを呪われるに任せた。

## 第44章

- 1 今こそ聞け、わたしの僕ヤコブよ、  
わたしが選んだイスラエルよ。
- 2 あなたが母の胎にいるときからあなたを形造り、  
あなたを助けたあなたの造り主であるエホバはこう言う。  
『恐れてはならない、わたしの僕ヤコブよ、  
わたしが選んだエシュルンよ。
- 3 わたしは乾いた土壤に水を注ぎ、  
干上がった地ににわか雨を降らせる。  
わたしはあなたの子間にわたしの御靈を注ぎ、  
あなたの子孫にわたしの祝福を注ぐ。
- 4 彼らは水の流れの中の草のように、  
また流れゆく小川のほとり<sup>a</sup>の柳のように勢いよく育つ。
- 5 ある者は「わたしはエホバのものである」と言い、  
また別の者はヤコブの名を名乗る。  
しかし、その他の者はその腕に「エホバに」と刻み、  
イスラエルをその名とする。』
- 6 イスラエルの王なるエホバ、  
イスラエルの贍い主なる万軍のエホバはこう言われる。  
「わたしは初めであった。そして、終わりである。  
わたしのほかに神はない。
- 7 わたしがするように<sup>b</sup>起こることを<sup>c</sup>あらかじめ告げる者は誰か。

---

<sup>a</sup>28 ヘブライ語 *sare qodes*(聖所の王子たち)を ‘are qodes’ に修正。47:6 および  
64:10 と比較。

<sup>a</sup>4 圈のとおり。□にはない。

<sup>b</sup>7 ヘブライ語 *yiqra* ‘(呼ぶであろう)を *yiqra* に修正。

昔から一つの民を<sup>c</sup>予型として定めること、  
また来るべきことを前もって告げることにおいて、  
わたしに等しい者は誰か。

8 ろうばいするな、動搖するな。

わたしは昔から知らせてこなかったか。

わたしは前もって告げなかつたか。あなたはわたしの証人ではないか。

では、わたしのほかに神はいるか。

わたしに知られていない岩はない。

9 偶像を作る者は皆、混乱している。

彼らが大切にするものは、何の役にも立たない。

それらを勧める者たちは、彼ら自身

目が見えず、思慮がなく、おのれを見失っている。

10 誰が神を造り、

自らを益することのない偶像を鋳たのか。

11 その者たちの仲間はことごとく混乱している。

その細工人たちは死すべき者にすぎない。

彼らが皆集まり、わたしの前に立ちはだかるとしても、

彼らは恐れのあまりたちまち縮み上がる。

12 金属細工大鍛冶屋職人はその道具を取り、炭火の上で鉄を細工し、

それを鎚で打ちたたいて形を与える。

彼はその腕の力によってその神を鍛える。

彼は空腹になると、もはやその力がなくなり、

水を飲まなければ、弱ってしまう。

13 木工細工人は図面を描き、

その偶像を鉛筆で描く。

彼はコンパスで描いた線に沿って刻んで像を造る。

彼はそれに人の形を与え、人の美しさに似せて作り、

家の中に安置する。

<sup>c7</sup> ヘブライ語 *we'otiyot* (来る物事) を *ke'otot* に修正。8:18 および団、45:11 と比較。

14 彼は杉を切り倒す必要がある。

かしわ 檜の木や柏の木を選んで、

それらを森の木々の間で育てなければならぬ。

彼がもみの木を植えると、雨がそれを成長させる。

15 それらの木は人の燃料として使われる。

人々はそれを使って暖を取り、

火をつけてパンを焼く。

またそれで神を造って拝み、

偶像を作つて、それに向かつて身をかがめる。

16 彼らはその半分を火の中で燃やし、

<sup>d</sup>その上で肉をあぶり<sup>d</sup>、

その肉を食べて満たされる。

彼らはまたおのれの体を暖めて言う、

「ああ、<sup>e</sup>火の前は<sup>e</sup>暖かい。」

17 そして、余った木で神を作つて偶像とし、

それに向かつてひれ伏して拝み、祈る。

「わたしたちを救つてください。あなたはわたしたちの神です」と。

18 彼らは無知で心の鈍い者となつた。

彼らの目はかすんでいるため、見ることができない。

その心には識別する力がない。

19 彼らは省みることがなく、

次のように言う分別も理解もない。

『わたしはこの一部を火の中で燃やした。

またその炭火でパンを焼き、

肉をあぶつて食べた。

わたしはその残りで忌むべきものを作つていないだろうか。

また木の塊にすぎないものに身をかがめていないだろうか。』

---

<sup>d</sup>16 フレーズの入れ替え(19 節と比較)。本文では「肉を食べて」に続く。

<sup>e</sup>16 団のとおり。団「～が分かる」の意。

20 彼らは灰を追い求める者たちである。

その惑わされた心は、彼らを道からそらせてしまった。

彼らはそれから自らを解き放つことができず、

『確かにわたしの手の内にあることは偽りである』と

言うこともできない。

21 ヤコブよ、あなたがたイスラエルよ、これらについてしかと考えなさい。

あなたはわたしの僕なのだから。

イスラエルよ、わたしはあなたをわたしの僕となるように造った。

わたしを無下にしてはならない。

22 わたしは濃い霧のようなあなたのとがを消し去り、

霧の雲のようなあなたの罪を除き去った。

わたしに立ち返りなさい。わたしはあなたを贖った。」

23 天よ、歌え。エホバがなさったことのために。

地の底よ、歌声を鳴り響かせよ。

山よ、森よ、そこにあるすべての木々よ、

声を放って歌え。

エホバはヤコブを贖われた。

エホバはイスラエルによって栄光を得られる。

24 あなたの贖い主であり、

あなたを母の胎内で形造られたエホバはこのように言われる。

「わたしは万物の造り主、エホバである。

もろもろの天を吊るす唯一の者、

自ら地に形を与える者である。

25 詐欺師の予言を無に帰させ、

占い師を笑いものとなし、

賢者を退け、

その知識を愚かなものとする者である。

26 自分の僕の言葉を成就させ、

自分の使者の目的を成し遂げ、

エルサレムについて『再び人が住む所となる』と言い、

ユダの町々について『再び建てられる。

わたしはその廃墟を回復する』と言う者である。

27 深みに向かって『乾いた所となれ、

わたしはおまえの流れを干上がらせる』と言う者である。

28 クロスについて、『彼はわたしの羊飼いである。

彼はわたしがしようと思うことを何でも行う』と言う者である。

彼はエルサレムについて、『それは再び建てられなければならない。

その神殿の土台を再び据えなければならない』と言う。」

## 第45章

1 わたしはクロスの右の手を取り、

彼の前に国々を従わせ、

統治者たちの腰帶を解き、

彼の前にある扉を開き、

閉じたままの扉を一つとして残さない、と言われるエホバは、

その油注がれた者クロスにこのように言われる。

2 「わたしはあなたの前を行き、あらゆる障壁を平らにし、

青銅の扉を粉々に砕き、

鉄のかんぬきを切り裂く。

3 わたしはあなたに隠された財宝と、

ひそかに蓄えられた富を与える。

それは、わたしがエホバであり、

あなたの名を呼ぶイスラエルの神であることを、

あなたが知るためである。

4 わたしの僕ヤコブのために、

わたしが選んだイスラエルのために、わたしはあなたの名を呼ぶ。

あなたがまだわたしを知らないときに、わたしはあなたに名を与えた。

5 わたしはエホバである。ほかには誰もいない。

わたしのほかに神はない。

あなたがまだわたしを知らないときに、

わたしはあなたを戦いに備えさせた。

6 それは、日の昇る所から日の沈む所に至るまでの人々が、

わたしのがいなければすべては無であること、

またわたしはエホバであり、ほかには誰もいないことを知るためである。

7 わたしは光を生じさせ、闇を形作る。

わたしは平和をもたらし、災難を引き起こす。

わたしエホバが、これらすべてのことを行う。

8 天よ、上から雨を降らせよ。

空は義をあふれさせよ。

地はそれを受け、救いを<sup>a</sup>花開かせよ<sup>a</sup>。

義が直ちに芽生えるようにせよ。

わたしエホバがこれを創造する。

9 自らの造り主と争う者は災いである。

彼らは陶器のかけらにすぎない。

それは、まるで粘土が自分を形作る者に向かって、

『あなたは何をしているのか。

あなたの手には作り出す技がない』と言うようなものである。

10 自分の父に向かって、

『あなたは、何をもうけたのか』と言い、

また女に向かって『あなたは何を産んだのか』と言う者は災いである。」

11 彼らの造り主であるイスラエルの聖者、

エホバはこのように言われる。

「あなたはわたしの子供たちについて<sup>b</sup>しるしを<sup>c</sup>求めるのか。

あるいは、わたしの手の業についてわたしに命じるのか。

12 地を造り、その上に人を創造したのはわたしである。

わたしは自分の手<sup>d</sup>でもろもろの天を吊るし、

<sup>a</sup>8 団のとおり。団「彼らは実を結ぶ」。

<sup>b</sup>11 ヘブライ語 *se'aluni*(わたしに尋ねよ)を *tis'aluni* に修正。

<sup>c</sup>11 団のとおり。7:11 と比較。団 'otiyot(来る物事)。

<sup>d</sup>12 团のとおり。団では複数形。48:13 と比較。

その万軍をすべて任せた。

13 彼を正当に起こすのはわたしである。

わたしが彼のすべての歩みを手助けする。

彼はわたしの町を再建し、代価も賄賂も取らずに

追放されていたわたしの民を解き放つ」と万軍のエホバは言われる。

14 エホバはこのように言われる。

「エジプトの富とクシュの商品は、

<sup>e</sup>あなたに渡され、あなたのものとなる<sup>e</sup>。

背の高い民であるセバ人もまた渡されるが、

彼らは鎖につながれてあなたの後ろを歩き、

あなたにひれ伏して懇願する。

『確かに神はあなたがたのうちにおられる。ほかに神はいません』と。」

15 イスラエルの神、救い主よ、

まことにあなたは御自分を隠される神であられる。

16 偶像を造る者たちは皆、すっかりうろたえて恥じ入り、

面目を失って退いた。

17 しかし、イスラエルはエホバによって救われる、

永遠の救いを得る。

あなたはうろたえることも恥を受けることもない、

世々とこしえに。

18 天を創造されたエホバ、地を形造られた神、

地を固く据えて組織された神、

地を混沌とした荒廃のままにとどめず、

人が住む所とされた方は、このように言われる。

「わたしはエホバである。ほかには誰もいない。」

19 わたしは闇の地のどこかから

ひそかに語ることはない。

---

<sup>e</sup>14 フレーズの入れ替え。本文では「背が高い」に続く。

わたしはヤコブの子らに  
 わたしを混沌の中で探すように求めない。  
 わたしエホバは義について語り、率直な言葉で告げる。

20 集まって来て、ともに近づきなさい、  
 あなたがた、国々から逃れてきた者たちよ。  
 木の偶像を持ち運び、  
 自分たちを救うことができない神に祈る者たちは  
 不意に捕らえられた。

21 声を上げ、あなたがたの訴えを述べ、  
 進み出て、ともに協議しなさい。  
 これら昔のことを前もって告げ、  
 それらが起こるはるか前に告げたのは誰か。  
 それはわたし、エホバではなかったか。  
 わたしのほかに神はいないではないか。  
 それは義の神であるわたしではなかったか。  
 わたしのほかに救い主はいないではないか。

22 地の果てのあなたがたすべての者よ、  
 わたしに立ち返り、自らを救いなさい。  
 わたしは神である。わたしのほかに神はいない。

23 わたしは自らに誓う。  
 取り消されることのない定めにより、  
 わたしの口から義が出た。  
 『すべての膝がわたしの前にかがみ、  
 すべての舌が忠誠を誓う。』

24 わたしについては、  
 『弁護<sup>a</sup>と力はエホバによってのみ来る』と語られる。」  
 主に向かって怒る者は皆、  
 主の前に恥じ入るようになる。

<sup>a</sup>24 または「義」。23 節と比較。

25 イスラエルの子孫は皆、エホバによって  
自らを義とし、誇る理由がある。」

## 第46章

1 ベルは崩れるように倒れ、ネボは身をかがめる。

彼らの偶像是獸や牛の上に乗せられる。

あなたがたが高く掲げたその像は、

疲れた動物の背に重荷として積み上げられる。

2 そのような神々<sup>a2</sup>はこぞってずり落ち、頭を下げ、

彼らをその重荷から救うことができない。

彼ら自身が囚われの身となる。

3 わたしに聞け、ヤコブの家よ、

イスラエルの家の残りの者であるあなたがたすべての者よ。

生まれたときからわたしの重荷となってきた者たちよ。

母の胎にいるときからわたしに担われてきた者たちよ。

4 あなたがたが年老いてさえもなお、わたしはいる。

あなたが白髪になるまで、あなたがたを支えるのはわたしである。

あなたがたを造り、あなたがたを担うのはわたしである。

あなたがたを運び行き、救い出すのはわたしである。

5 あなたがたはわたしを誰と比べようとするのか。

また誰に等しい者と見なすのか。

わたしを誰に例えて、我々を似た者と見なすのか。

6 財布から金を浪費し、

銀を量りで量りり分ける者は、

金属細工人を雇つて神を作らせ、

それにひれ伏して挾む。

7 彼らはそれを高く掲げ、自分の肩に乗せて運ぶ。

彼らがそれを据え置くと、それはそこに立つか、

---

<sup>a2</sup> ヘブライ語「彼らは」。

その場所から動くことができない。

彼らはそれに助けを呼び求めるが、それは答えない。

それは彼らを苦難から救うことはできない。

8 このことを念頭に置き、

本心に立ち返りなさい。

あなたがた背く者たちよ、これを心に留めおきなさい。

9 昔の出来事についての預言を思い起こしなさい。

わたしは神である。ほかには誰もいない。

わたしは神であり、わたしに似た者は誰もいない。

10 わたしは終わりのことを、初めから告げてきた。

まだなされていないことを、いにしえから告げてきた。

わたしが語ると、わたしの目的は功を奏し、

わたしは自分の望むことをすべて成し遂げる。

11 わたしは東から猛禽を呼び寄せる。

遠くの地から<sup>b</sup>わたしの忠告を履行する者<sup>b</sup>を呼び寄せる。

わたしが語ったことを、わたしは成し遂げる。

わたしが計ったことを、わたしは行う。

12 わたしに聞け、心のかたくなな者たちよ。

義から遠ざかっている者たちよ。

13 わたしはわが義を近くに引き寄せた。

それは今や遠くにあるのではない。

わたしの救いはもはや遅れることはない。

わたしはシオンにおいて解放をもたらし、

イスラエルにわたしの栄光をもたらす。

## 第47章

1 おとめであるバビロンの娘よ、

身をかがめて、ちりの中に座りなさい。

---

<sup>b</sup>11 または「わたしは前もって定めた」。

カルデア人の娘よ、

王座から降りて地にかがみなさい。

あなたはもはや優美で洗練された娘と言われることはない。

2 二つのひき臼を取って、粉をひきなさい。

ベールを取り去り、服を脱ぎ、脚をあらわにして、

川を渡りなさい。

3 あなたの裸はあらわにされ、

あなたの恥は暴かれる。

わたしは報復し、

人々の懇願に応じない、

4 イスラエルの聖者であるわたしたちの贖い主はそう言われる。

その方の名は万軍のエホバである。

5 カルデア人の娘よ、黙して座し、闇の中に退け。

あなたはもはや、もろもろの王国の女王と呼ばれることはない。

6 わたしはわたしの民によって怒りをかき立てられたので、

わたしの受け継ぎが汚されることを許した。

わたしは彼らをあなたの手に渡し、

あなたは彼らに憐れみを示さなかった。

年老いた者にさえも、あなたはその重いくびきを負わせた。

7 あなたは思った。「永遠の女王であるわたしは、いつまでも生きる」と。

そして、これらのこと<sup>a</sup>を深く考えず、

その<sup>a</sup>最終的な行く末を思い起こしもしなかった。

8 それゆえ、今聞け、甘やかされた女よ。

安穩として王座に就き、

「わたしはある。わたしのほかには誰もいない。

わたしはやもめになることも、子を失うこともない」と

心の内に思っている者よ。

9 子を失うことと、やもめになることは、

二つとも一日のうちに、瞬く間にあなたの身に降りかかる。

---

<sup>a</sup>7, <sup>a</sup>7 これらのことの対象は 6 節を参照。

あなたの多くの魔術やきわめて強力な結社にもかかわらず、  
それらはことごとくあなたに臨む。

10 自分の悪事に寄り頼み、あなたは思った。

「わたしのことを見分ける者は誰もいない」と。

あなたの技術と科学によって、あなたは道を誤った。

そして、思った。「わたしはいる。わたしのほかには誰もいない」と。

11 大惨事があなたを襲う。

賄賂<sup>b</sup>によってそれを免れる術をあなたは知らない。

災難があなたに降りかかる。

その災いから、あなたは自らを解放することができない。

かつて想像もしなかった滅亡が突然あなたに臨む。

12 それであるから、あなたの結社と、

あなたが若いときから大いに励んできた

多くの魔術にしがみついているがよい。

それはまだあなたに役立つかかもしれない。

恐らく、あなたはそれを阻むことができる<sup>c</sup>。

13 しかし、あなたのすべての戦術にもかかわらず、あなたは無力だ。

もろもろの天を解明する者、

もろもろの星々を観察し、月ごとに予測を立てる者を

今あなたの傍らに立たせ、

あなたを救わせるがよい。

14 見よ、彼らは刈り株のように火の中で燃え上がり、

炎の手から逃れることができない。

これらは人を暖める炭火ではない。

傍らに座るための火などではない。

<sup>b</sup>11 ヘブライ語 *sahrah* (意味不明) を *sahdah* に修正。イスラエルをこの節と対比。  
43:3;45:13。

<sup>c</sup>12 ヘブライ語 *ta 'arosi* (恐怖を引き起こす) を *ta 'asori* に修正。66:9 と比較。

15 これが、あなたと取引してきた者たち<sup>a</sup>があなたにもたらす益である。  
あなたは若いときから彼らのために勵んできた。  
彼らはおののが自身の道を外れており、  
あなたを救う者はそこに誰もいない。

## 第48章

1 ヤコブの家よ、これを聞け、  
あなたがた、イスラエルの名で呼ばれる者たちよ。  
あなたがた、<sup>a</sup>ユダの家系から出ている<sup>b</sup>にもかかわらず、  
エホバの名によって誓いを立て  
イスラエルの神を呼び求めるが、  
真実をもってするのでも、義をもってするのでもない者よ。  
2 自らを聖なる都の者と称し、  
その名を万軍のエホバと唱えられる  
イスラエルの神に支えられている者たちよ。  
3 「わたしは過去の出来事についての預言を  
はるか昔から知らせてきた。  
わたしの口から発せられるやいなや、  
わたしはそれらを告げ知らせさせた。  
そして、わたしは突如行動し、それらは起こった。  
4 わたしはあなたがいかにかたくなであるかを、  
すなわち、あなたの首は鉄の筋であり、  
あなたの額は真鍮であることを知っていたからである。  
5 それゆえ、わたしは前もってあなたに告げ知らせたのである。  
それらが起こる前に、わたしはあなたに告げ知らせた。  
それは、あなたが『わたしの偶像がそれを行った。  
わたしの彫像と鎔像がそれを起こした』と

<sup>a</sup>15 または「商人」。名詞の入れ替え。本文では「尽力してきた」に続く。12節と比較。

<sup>a</sup>1 ヘブライ語「彼らは」。

<sup>b</sup>1 直訳「腰」。ヘブライ語 *mime*(水から)を *mimme* 'e に修正。19節の言葉と比較。

言わないようにするためである。

6 しかし、あなたは<sup>c</sup>すべてについての示現<sup>c</sup>を聞いた。

それを告げ知らせないのはどうしたことか。

それでも、今ここでわたしは新しいことをあなたに告げ知らせる。

あなたにとては隠され、知られていなかつたこと、

7 これまでのことではなく、今までに起ころうとしていること、

あなたが以前に聞いたことのないことを告げる。

それはあなたが『わたしはそれを知っていた』と

言わないようするためである。

8 あなたはそれらについて聞いたことがなく、知ってもいなかつた。

これまであなたの耳は、これらに対して開かれていなかつた。

わたしはあなたが裏切りに転じることを知っていたからである。

あなたは母の胎にいるときから背く者と呼ばれていた。

9 わたし自身の名のために、わたしは自らの激しい憤りを抑えた。

わが名声のためにあなたを完全に滅ぼさないことで、

わたしはあなたに対する抑制を示してきた。

10 見よ、わたしはあなたを精錬しているが、銀のようにではない。

わたしはあなたを苦難の炉の中で試している<sup>d</sup>。

11 わたし自身のために、わたし自身の益のために、わたしはこれを行う。

わたしの名<sup>e</sup>が辱めされることのないように、

またわたしがほかの誰にも与えることのないわたしの栄光が

汚されることのないように、これを行う。

12 聞け、ヤコブよ、わたしが召したイスラエルよ。

わたしは初めにいた者であり、

また、終わりにもいる者である。

<sup>c</sup>6 ヘブライ語 *hazeh kullah*(そのすべてを見よ)を *hazut kullah*に修正。29:11  
と比較。

<sup>d</sup>10 囮のとおり。囮「選んでいる」。

<sup>e</sup>11 囮のとおり。囮にはない。

- 13 地の基を据えたのはわたしの手であり、  
    もうもろの天を広げたのはわたしの右の手である。  
    わたしが彼らを呼ぶと、彼らはすぐに立ち上がる。
- 14 あなたがたすべての者よ、集まって聞け。  
    あなたがたの中で<sup>f</sup>これらのことと前もって告げたのは誰か。  
    それはエホバが愛される者であり、  
        バビロンにおいて主の御心を行う者である。  
        主の腕はカルデア人に立ち向かう。
- 15 わたし自身がこれを語り、またその人を召した。  
    わたしは彼を来させ、その道を栄えさせる<sup>g</sup>。
- 16 わたしに近寄って、これを聞け。  
    わたしはこれまでひそかに預言をしたことではない。  
    それらが起こるとき、わたしは常にいた。」  
        今わたしの主エホバがわたしを遣わされた。  
        主の御靈はわたしの内におられる。
- 17 イスラエルの聖者、あなたがたの贖い主  
    エホバはこのように言われる。  
「あなたの神であるわたしエホバは、あなたの益となるように教え、  
    あなたの行くべき道にあなたを導く。
- 18 あなたがわたしの戒めに従っていたなら、  
    あなたの平安は川のようであり、  
    あなたの義は海の波のようであったであろう。
- 19 あなたの子孫は砂の数のようであり、  
    あなたの末裔は彼らの穀物の粒のように多かったであろう。  
    彼らの名がわたしの前から絶たれ、  
        消し去られることはなかったであろう。」
- 20 バビロンから出でよ。カルデアから逃れよ。

---

<sup>f</sup>14 ヘブライ語 *bahem*(彼らの中で)を *bakem*に修正。

<sup>g</sup>15 囮のとおり。囮「そして彼は栄える」。

この知らせを告げる声を響きわたらせよ。  
 地の果てまで広めよ。  
 「エホバはその僕ヤコブを贖われた」と言え。  
 21 不毛の地を通って主が彼らを導き出されるとき、  
     彼らは渴くことがなかった。  
     主は彼らのために、岩から水が流れ出るようにされた。  
     主が岩を裂かれると、水があふれ出た。  
 22 しかし、エホバは、  
     「悪人には平安がない」と言われる。

## 第 49 章

1 聞け、島々よ。耳を傾けよ、遠くのもろもろの民よ。  
     エホバはわたしが母の腹の中にいる前からわたしを呼ばれた。  
     わたしが母の胎内にいる前からわたしの名を語り告げられた。  
 2 主はわたしの口を鋭い剣のようにし、  
     その手の影<sup>a</sup>にわたしを隠された。  
     主はわたしを研ぎ澄まされた矢とし、  
     その矢筒の中にわたしをひそかに隠された。  
 3 主はわたしに言われた。「あなたはわたしの僕、イスラエルである。  
     わたしはあなたによって栄光を得よう。」  
 4 わたしは思った。「わたしはむなしく働いてきた。  
     わたしは目的もなく、いたずらに自分の力を費やしてきた。  
     それでも、わたしの大義はエホバとともにあり、  
     わたしの報いはわが神とともにある。  
 5 今エホバは言われた。  
     この方は、わたしをその僕とし、ヤコブを御自分のもとに連れ戻させるため、  
     イスラエルを御自分のもとに集めるために、  
     わたしが母の胎にいるときからわたしを形造られた。

---

<sup>a</sup>2 「見せかけ」の意でもある。

それは、わたしの神がわたしの力となられたときに、  
わたしがエホバの目にあって栄誉を勝ち得たからである。

6 エホバは言われた。「わたしの僕となってヤコブの部族を起こし、  
イスラエルの残された者たちを連れ戻すことは、  
あなたにとって小さなことである。

わたしはまたあなたを任じて国々<sup>b</sup>の光とし、  
わたしの救いが地の果てまで及ぶようにしよう。」

7 読い主であるイスラエルの聖者、エホバは、  
人として侮られ、  
自分の国民から忌み嫌われ、  
権力を持つ者たちの僕として仕える者に、  
このように言われる。

「王たちはあなたを見るときに立ち上がり、  
王子たちはひれ伏す。  
それは、エホバがあなたとの約束を守られるからである。  
イスラエルの聖者があなたを選ばれたからである。」

8 このようにエホバは言われる。  
「わたしは好ましいときにあなたに答え、  
救いの日にあなたを助けに来た。  
わたしはあなたを創造し、民の契約となるために、  
また地を取り戻して荒れ廃れた土地を再び分け与えるために、  
あなたを任じた。

9 また、囚われている者たちに、「出て来なさい」と言い、  
闇の中にいる者たちに、「姿を現しなさい」と言う。  
彼らは道すがら食物を食べ、  
すべての不毛の高台に牧草地を見いだす。

10 彼らは飢えることも渴くこともなく、  
酷暑や太陽によって打たれることもない。  
彼らに憐れみをかけられる方が彼らを導かれる。

---

<sup>b</sup>6 「異邦人」の意でもある。22 節および 42:1, 6 と比較。

その方は彼らを泉のほとりに導かれる。

11 わたしのすべての山地を、わたしは道とする。

わたしの大路は高い所にある。

12 遠くから来るこれらの者たち、

北西から来るこれらの者たち、

シニムの地から来るこれらの者たちを見よ。

13 天よ、歓声を上げよ。地よ、褒めたたえよ。

山々よ、一斉に歌声を上げよ。

エホバは御自分の民を慰め、

苦しむ御自分の民に哀れみを示される。

14 しかし、シオンは言った。「エホバはわたしを見捨てられた。

わたしの主はわたしを忘れてしまわれた」と。

15 「女がその乳飲み子を忘れることがあろうか。

あるいは、自分の胎の子を哀れまないことがあろうか。

たとえ女たちが忘れても、わたしはあなたを忘れない。

16 見よ、わたしはあなたをわたしの手のひらに彫り刻んだ。

いつもわたしの前にあるように、<sup>c</sup>わたしはあなたを結び固めた。<sup>c</sup>

17 あなたの息子たちは、あなたを荒廃させる者を急いで追い払う。

あなたを破壊した者たちは、あなたから離れ去る。

18 目を上げて、周りを見わたしなさい。

彼らは皆、心を一つにして集まり、あなたのものに来る。」

エホバは言われる。「わたしが生きているように確かに、

あなたは彼らを皆、宝石のように身に飾り、

花嫁がするように彼らを身に巻き付ける。

19 あなたの廃墟と破壊された所と、

荒らされた地は、

あなたを食い尽くした者たちが立ち去っても、

今や住む者には狭すぎるからである。

<sup>c</sup>16 ヘブライ語 *homotayik*(あなたがたの壁)を *hatamtik*に修正。

20 あなたが死別の深い悲しみにあるときに生まれた子らは、  
あなたの耳もとでなおも言う。

『この場所はわたしたちには狭すぎます。

わたしたちに住む場所を与えてください。』

21 するとあなたは心のうちに言う。

『わたしが子らを失い、子を授からずにいたときに、

誰がこれらの者を産んだのか。

わたしは追放され、追いやられたのに、

誰がこれらの者を育てたのか。

わたしが打ち捨てられていたときに、これらの者はどこにいたのか。』】

22 わたしの主エホバは、このように言われる。

「わたしはもろもろの国民に向かってわたしの手を上げ、

もろもろの民に向かってわたしの旗を掲げる。

すると、彼らはあなたの息子たちをその胸に抱いて連れて来、

あなたの娘たちをその肩に乗せて運んで来る。

23 王たちはあなたの養父となり、

王妃たちはあなたの養母となる。

彼らはあなたの前にひれ伏し、

その顔を地に付け、

あなたの足のちりをなめる。

こうして、あなたはわたしがエホバであることを知る。

そして、わたしを待ち望む者は失望する事がないのを知る。

24 戦士に奪われた物を取り返せるだろうか。

暴君<sup>d</sup>に捕らわれた者は逃がれることができるだろうか。

25 しかし、エホバはこのように言われる。

「戦士に奪われた物<sup>e</sup>は確かに取り返され、

暴君に捕らわれた者<sup>f</sup>は逃れる。

<sup>d</sup>24 団と団のとおり。団 *saddiq*(義なる者の)。

<sup>e</sup>25 团と団のとおり。団「捕らわれた者」。

<sup>f</sup>25 团のとおり。団「奪われた物」または「戦利品」。

わたし自身があなたと争う者と争い、  
あなたの子らを救い出そう。

26 わたしはあなたを虐げる者に彼ら自身の肉を食わせ、  
彼らはぶどう酒に酔うように自らの血を飲んで酔う。  
こうして、すべての肉なる者は、わたしエホバがあなたの救い主であり、  
あなたの贖い主がヤコブの勇者であることを知るようになる。」

## 第 50 章

1 エホバはこのように言われる。

「わたしが追い出したという、  
あなたの母の離縁状はどこにあるのか。  
あるいは、わたしはどの債主にあなたを売り渡したのか。  
確かに、あなたがたは罪を犯すことによって自らを売り渡した。  
あなたがたの背きのために、あなたがたの母は追い出された。

2 わたしが来たとき、誰もいなかつたはなぜか。

わたしが呼んだとき、答える者がいなかつたのはなぜか。  
わたしの手はあなたを贖うのには短すぎるのか。  
わたしにはあなたを救い出す力がないのか。  
わたしが叱責するだけで海は干上がり、  
川は砂漠と化す。  
水がないので、そこにいる魚は干上がり、<sup>a</sup>  
乾きのために死に絶える。

3 わたしは天に喪の暗黒をまとわせ、  
粗布をその覆いとする。」

4 わたしの主エホバは、わたしに博学な者の舌を授けてくださった。  
疲れ果てた人々を目覚めさせるために、  
どのような言葉をもって諭せばよいのか分かるように。  
主は朝ごとにわたしの耳を呼び覚まし、  
学問をするときのように聞かせられる。

<sup>a</sup>2 囮と圉のとおり。囮「臭くなる」。

5 わたしの主エホバはわたしの耳を開かれた。

わたしは逆らうことも、しりごみすることもなかった。

6 わたしは打つ者にわたしの背を差し出し、

ひげを抜く者にわたしの頬を差し出した。

わたしは侮辱されてもつばきをかけられても、顔を隠さなかった。

7 わたしの主エホバがわたしを助けられるので、

わたしは辱めを受けることがない。

わたしは顔を火打石のようにした。

自分が恥を受けることはないと知っている。

8 わたしを弁護してくださる方は、わたしの近くにいてくださる。

わたしと争う者は誰か。互いに向き合おうではないか。

わたしを告発する者は誰か。

その訴えをもって、その者にわたしと対峙させよ。

9 見よ、わたしの主エホバはわたしを支えてくださる。

誰がわたしを罪に定め得ようか。

そのような者たちは皆、確かに衣のように朽ち果てる。

蛾が彼らを食い尽くす。

10 あなたがたの中で、エホバを畏れ

その僕の声を心に留めるのは誰か。

暗闇の中を歩み、光がなくても、

エホバの御名を信頼し、その神に頼る者は誰か。

11 しかし、あなたがたは火をともす者である。

あなたがたは皆、わずかな火花で明かりを輝かす。<sup>a</sup>

あなたがたのともした火の光によって、

あなたがたが燃え立たせた火花の輝きによって歩め。

これはあなたがたがわたしの手から受けるものであって、

あなたがたは苦悩の中で横たわる。

---

<sup>a</sup>11 ヘブライ語 *me'azre* (帯を締める) を *me'ire* に修正。

## 第 51 章

- 1 「聞け、あなたがた義を追い求める者たちよ、  
     エホバを尋ね求める者たちよ。  
     あなたがたが切り出された岩に、  
     またあなたがたが掘り出された石切り場に目を留めよ。」
- 2 あなたがたの父アブラハムと、  
     あなたがたを産んだサラに目を留めよ。  
     わたしが彼を召したとき、彼はただ一人であったが、  
     わたしはその数を多くすることによって彼を祝福した。」
- 3 エホバはシオンを慰め、  
     彼女のすべての廃墟に慰めをもたらされるからだ。  
     主は彼女の荒れ野をエデンのようにし、  
     彼女の砂漠をエホバの園としようとしておられるからだ。  
     そこには喜びの歓声が起り、  
     感謝の歌声がある。
- 4 わたしの民よ、わたしに耳を傾けよ。  
     わたしの国民よ、わたしに心を向けよ。  
     律法はわたしから出、  
     わたしの訓戒はもろもろの民の光となる。  
     そして、突如、わたしは行動する。
- 5 わたしの義は近くにあり、  
     わたしの救いは進み行く。  
     わたしの腕はもろもろの民を裁く。  
     島々はわたしを待ち望み、わたしの腕を待ち受けている。
- 6 目を上げて天を見よ。  
     下の地を見よ。  
     天は煙によるように消え去り、  
     地は衣のように古びる。  
     そこに住む者たちは害虫のように死ぬ。  
     しかし、わたしの救いは永遠であり、

わたしの義は決してくじかれることがない。

7 聞け、あなたがた義を知る者よ。

心の中にわたしの律法が刻まれた民よ。

人のそしりを恐れるな。

人の嘲りにひるむな。

8 蛾は彼らを衣のように食い尽くし、

羊毛のように彼らを食い荒らすからである。

しかし、わたしの義は永遠に続き、

わたしの救いは限りなく代々に及ぶ。」

9 目覚めよ、起きよ、力を身にまとえ、

エホバの腕よ。

昔のように、いにしえの代々のように

自らを奮い立たせよ。

ラハブを切り裂いたのはあなたではなかったか。

龍を討ち取ったのはあなたではなかったか。

10 大いなる深みの水である海を干上がりせ、

海の深い所を道とし、

贖われた者たちが通れるようにしたのは、

あなたではなかったか。

11 エホバの贖われた者たちを戻らせなさい。

彼らを歌いながらシオンに来させなさい。

彼らの頭には永遠の喜びの冠が授けられる。

彼らに喜びと楽しみを得させ、

悲しみとため息は過ぎ去らせなさい。

12 「わたし自身があなたを慰める者である。

あなたは何者なので、死すべき人、

草と化す人の子らを恐れるのか。

---

<sup>a27</sup> 訳注)ヘブライ語で「代価を支払って解放し、救出する」の意。イザヤ 1:27;29:2  
2;35:10 も同じ。

13 あなたは、自分の造り主——

天を吊るす者、

地を定まったく場所に据える者——であるエホバを忘れたのか。

虐げる者が破壊をもたらそと備えるとき、

あなたは虐げる者の激しい怒りを

一日中絶え間なく恐れている。

虐げる者の激しい憤りに何があるのか。

14 ひれ伏している者は速やかに解き放たれる。

その人は、穴に下ることになっている者のように死ぬことはなく、

食物に事欠くこともない。

15 海を荒立たせ、その波をとどろかせるのは、

わたし、あなたがたの神エホバであり、

その名は万軍のエホバである。

16 わたしは、わたしの言葉をあなたの口に置き、

あなたをわたしの手の陰にかくまう。

一方、わたしは天を据え替え、地を定まったく場所に据え置く。

それはわたしがシオンに向かって、

『あなたがたはわたしの民である』と告げるためである。」

17 奮い立て。目を覚まして立ち上がり、エルサレムよ。

あなたがた、エホバの手からその激しい憤りの杯を飲んだ者、

混迷の大杯をその搾りかすまで飲み干した者よ。

18 彼女が産んだすべての子らの中に、

彼女を尊く者は誰もいなかつた。

彼女が育てたすべての息子らのうちに、

彼女の手を取る者は誰もいなかつた。

19 二重の災いがあなたに降りかかつた。

荒廃と破滅。誰があなたのために嘆くか。

飢饉と剣。誰があなたを慰める<sup>a19</sup>か。

- 20 あなたの子らは、水牛のように網に捕らわれ、  
すべての街角で気を失って横たわっている。  
彼らにはエホバの激しい怒りが満ちており、  
あなたの神の怒りに満ちた叱責を受けている。

- 21 それゆえ、哀れな者よ、今これを聞きなさい。

ぶどう酒によらず、酔っている者よ。

- 22 あなたの主、また神であられるエホバ、  
御自分の民の訴えを弁護される方はこのように言われる。

「わたしはあなたの手から混迷の杯を取り除こうとしている。

あなたは、もはやわたしの激しい怒りの大杯から飲むことはない。

- 23 わたしはそれを、あなたを苦しめる者たちの手に渡す。

彼らはあなたの命について、このように言った。

『ひれ伏して、我らがおまえを踏み越えて行けるようにせよ。

そうして背中を地面のようにし、

通りすがりの人にとって通り道にすぎないものにせよ。』】

## 第52章

- 1 目覚めよ、立ち上がり。シオンよ、力をまとえ。

聖なる都エルサレムよ、栄光の衣を身に着けよ。

割礼のない者と汚れた者があなたの中に入ることはもはやない。

- 2 ちりを振り落とし、ちりの中から立ち上がり。

エルサレムよ、座して王位に就け。

捕られたシオンの娘よ、あなたの首に巻かれた縄から自身を解き放て。

- 3 エホバはこのように言われる。「あなたは代価なく売られた。

そして、金を払わずに贖われる。」

- 4 わたしの主なるエホバはこのように言われるからである。

「最初にわたしの民はエジプトへ下って行き、そこに寄留した。

---

<sup>a19</sup> 囮と罔のとおり。罔「どのようにしてわたしは慰めたらよいのか」。

その後、アッシャリア人がいわれなく彼らを支配した。」

5 そして今、エホバは言われる。

「これは何事だ。わたしの民は代価なく連れて行かれた。

彼らを治める者たちは、<sup>a</sup>横柄に振る舞い<sup>a</sup>、

わたしの名は終日絶えず侮られている。」

6 それゆえ、わたしの民はわたしの名を知るようになる。

その日、語っているわたしがすぐそばにいることを

彼らは知るようになる。

7 そのとき彼らは言う。

『平和を告げ知らせる使者、

よきおとずれをもたらし、

救いの到来を告げて、

シオンに向かって「あなたの神が統治される」と言う者の足は、

山々の上において何と麗しいことか。』』

8 聞け。あなたがたの見張り人たちは声を上げる。

彼らは喜びのあまり、一つとなって大声で叫ぶ。

エホバがシオンに戻られるとき、

彼らはそれを目の当たりにするからである。

10<sup>b</sup> エホバはその聖なる腕を

すべての国民の目にあらわにされた。

地の果てに至るすべての人が、

わたしたちの神の救いを目にするように。

9 皆こぞって声を上げ、歌い出しがよい、

あなたがたエルサレムの荒れ廃れた所よ。

エホバは御自分の民を慰められた。

主はエルサレムを贖われた。

11 背を向け、立ち去るがよい。

<sup>a</sup>5 「侮る」の意もある。団のとおり。団「嘆き悲しむ」。

<sup>b</sup>10 節の入れ替え。本文では順番が間違っていると思われる。

バビロン<sup>a</sup>を去るときに、汚れたものに触れてはならない。  
そこから出て行き、清くあれよ、  
あなたがた、エホバの器を担う者たちよ。

12 しかし、あなたがたは急いで出て行くには及ばず、  
また逃げて行くにも及ばない。  
エホバがあなたがたの前を行き、  
イスラエルの神があなたがたのしんがりとなられるからである。

13 「わたしの僕は機敏な者であって、大いに高く上げられる。  
彼はきわめて名高い者となる。

14 彼<sup>b</sup>が多くの人を驚愕させたように、  
彼の外見は人の様を超えるほどに損なわれ、  
彼の姿形は人のようではなかった。

15 そうして彼は多くの国々をひどく驚かせる<sup>c</sup>。  
王たちは彼を前にして口をつぐむ。  
それまで告げられていなかったことを、彼らは見、  
聞いたことのないことを、彼らは考えるようになるからである。」

## 第53章

1 誰がわたしたちの啓示を信じたか。  
エホバの腕は誰のために現されたのか。

2 彼は主の前に、苗木のように、  
また乾いた土から出る茎のように育った。  
彼にはわたしたちの目を引くほどの  
際立った容姿がなかった。  
また、彼にはわたしたちの心を引き付けるほどの  
好ましい外見がなかった。

---

<sup>a</sup>11 ヘブライ語「そこ」。

<sup>b</sup>14 ヘブライ語「あなた」。

<sup>c</sup>15 または「驚かせる」。「清める」、「まき散らす」の意もある。

3 彼は人から侮られ、見下され、  
 悲しみの人で、苦しみを知っていた。  
 人々はこぞってその顔を彼から隠した。  
 彼は疎んじられ、わたしたちは彼を価値のない者と見なした。

4 それでも、彼はわたしたちの苦しみを担い、  
 わたしたちの悲しみに耐えてくださった。  
 ところが、わたしたちは彼のことを、打たれ、  
 神にたたかれ、低くされたと思った。

5 しかし、彼はわたしたちの背きのために刺し貫かれ、  
 わたしたちの罪惡のために打ち碎かれたのだ。  
 彼はわたしたちの平安の代価を負われ、  
 彼の傷によってわたしたちは癒されている。

6 わたしたちは皆、羊のように道から迷い出て、  
 おのの自分の道へ向かって行った。  
 エホバはわたしたちすべての罪惡を彼に負わせられた。

7 彼は苦しめられてもなお従順であり、  
 その口を開かなかった。  
 ほふり場に引かれていく子羊のように、  
 また毛を刈る者の前に物言わぬ羊のように、  
 彼はその口を開かなかった。

8 彼は捕らえられて裁判にかけられ、連れて行かれた。  
 誰が彼の時代の者たちに知らせることができるだろうか。  
 彼が生ける者の地から絶たれたのは、  
 打たれて当然であったわが民の罪惡のためであったということを。

9 彼は決して暴力を振るったことがなく、  
 その口には少しも欺きがなかつたにもかかわらず、  
 惡人の間で死ぬように定められ、<sup>a</sup>

<sup>a</sup>9 本文では言葉が入れ替わっている。僕と暴君についての並列文にある対句になった節、14:20 と、邪悪で暴力的な暴君は埋葬を受けないことを比較。

裕福な者の間に葬られた<sup>a</sup>。

10 それでも、エホバは彼を打ち碎くことをその御心として、

彼に苦しみを負わせられた。

彼<sup>b</sup>がその命を罪のためのささげ物とするならば、

その子孫を見て自身の命を延ばせるように、

またエホバの目的が

その手にあって栄えるようにするためであった。

11 彼は自らの魂の労苦を見て満足する。

義にかなった者であるわたしの僕は、その知識のゆえに、

また彼らの罪悪を負うことによって、

多くの者のために弁護する。

12 わたしは大いなる者たちの中にあって彼に受け継ぎを得させる。

彼は力ある者とともに獲物を分け合う。

彼が死に至るまでその魂を注ぎ出し、

罪人とともに数えられたからである。

彼は多くの者の罪を背負い、

背く者たちのために執り成しをした。

## 第 54 章

1 歌え、子を産まなかつた不妊の女よ。

歓喜をもって歌い出せ、産みの苦しみを味わうことのなかつた女よ。

「夫に捨てられた妻の子らは

夫のある妻の子らよりも多い」と、エホバは言われる。

2 あなたの天幕の用地を広くし、

あなたの住まいの幕を広げなさい。

ためらってはならない。

あなたの綱を長くし、あなたの杭を強固にしなさい。

3 あなたは右にも左にも

---

<sup>b</sup>10 ヘブライ語「あなた」。

増え広がるからである。

あなたの子孫は国々の民を追い払い、

荒れ廃れた町々に再び住み着く。

4 恐れるな。あなたは恥じを受けることがないからである。

恥じ入るな。あなたは辱められることがないからである。

あなたは若き日の恥を忘れ、

寡婦であったときの恥辱を

思い出すことは二度とない。

5 あなたをめとる方は、あなたの造り主だからである。

その方の名は万軍のエホバである。

あなたを贖う方は、イスラエルの聖者であって、

全地の神と呼ばれる。

6 「エホバはあなたを、

見捨てられた寄る辺のない伴侶であるかのように、

また若くして結婚したものの拒まれた妻のように、

呼び戻される」と、あなたの神は言われる。

7 「わたしはほんのわずかの間、確かにあなたを見捨てたが、

愛にあふれた慈悲をもってあなたを集める。

8 つかの間の憤りにより、わたしはあなたから顔を隠したが、

永遠の慈愛をもって

あなたを哀れむ」と、

あなたを贖うエホバは言われる。

9 「これはわたしにとってノア<sup>a</sup>の時代のようである。

ノアの洪水が地を覆うことは二度とないと

わたしが誓ったときのように、

わたしはもはやあなたに対して怒りを抱かず、

あなたを叱責することは二度とないとわたしは誓う。

10 山々は取り去られ、

<sup>a</sup>9 団のとおり。図「水」。

もろもろの丘は揺り動かされて崩れる。

しかし、あなたに対するわたしの慈愛は決して取り去られず、

わたしの平和の契約もまた決して揺らぐことはない」と、

あなたを哀れむエホバは言われる。

11 「哀れな者、嵐に翻弄され、悲嘆に暮れる者よ。

わたしはアンチモンをあなたの建物の礎として据え、

サファイアをあなたの土台として据える。

12 わたしはあなたの天窓をジルコンで造り、

あなたの門をガーネットで造り、

あなたの境全体を宝石で造る。

13 あなたの子らは皆、エホバに教えを受け、

あなたの子孫の平和は大いなるものとなる。

14 あなたは義によって固く築かれる。

あなたは圧政から遠く離れ、

決して恐れることはない。

あなたは荒廃から遠く離れる。

それがあなたに及ぶことはないからである。

15 集まり暴徒と化す者たちは、わたしから出るのではない。

あなたに敵対して集まる者たちは皆、あなたのゆえに倒れる。

16 石炭をあおって燃え立たせ、

その目的にかなう武器を作る鍛冶屋を造るのは、わたしである。

滅ぼすために破壊者を造るのは、わたしである。

17 あなたを攻めるために考え出される武器は、

何一つ功を奏さない。

あなたを訴えるために声を上げるすべての舌を、

あなたは論破する。

これがエホバの僕らの受け継ぎであり、

それがわたしによる彼らの弁護<sup>a</sup>である」と、エホバは言われる。

---

<sup>a</sup>17 または「義」。14 節と比較。

## 第 55 章

1 さあ、渴いている者は皆、水を求めて来るがよい。

金のない者も来て、食べ物を買って食べるがよい。

来て、金を払わずに

ただでぶどう酒と乳を買い求めなさい。

2 あなたがたはなぜ糧にならないものに金を払うのか。

なぜ腹を満たさないものに労力を費やすのか。

よく聞きなさい。良い物を食べるがよい。

そうすれば、あなたがたの魂は豊かさを享受するであろう。

3 耳を傾け、わたしのもとに来なさい。

注意を払いなさい。そうすればあなたがたの魂は生きるであろう。

そして、わたしはあなたがたと永遠の契約を結ぶ。

それはダビデに対するわたしの愛に満ちた忠誠である。

4 見よ、わたしは彼を任じて、国々の民に対する証人とし、

またもろもろの民の君とし、立法者とした。

5 あなたは、あなたの知らなかつた国民を呼び集める。

あなたを知らなかつた国民があなたのもとに急いで来る。

それはあなたの神エホバのゆえ、

あなたに栄光を賜るイスラエルの聖者のゆえである。

6 エホバがおられるうちに、エホバに尋ねよ。

主が近くにおられるうちに、主を呼び求めよ。

7 悪人はおののの道を捨て、

罪深い者たちは、おののの思いを捨てよ。

エホバに立ち返れ。

そうすれば、主は憐れみをかけてくださる。

寛大に赦してくださいわたしたちの神に立ち返れ。

8 「わたしの思いはあなたがたの思いとは異なり、

わたしの道はあなたがたの道とは異なる」と、

エホバは言われるからである。

9 しかし、もろもろの天が地よりも高いように、

わたしの道はあなたがたの道よりも高く、

わたしの思いはあなたがたの思いよりも高い。

10 雨と雪が空から降り、

再び空に戻ることなく地を潤し、肥沃で実り豊かな所にし、

種をまく者に種を与える、食する者に食べ物を与えるように、

11 わたしの口から出る言葉も、

わたしのもとに空しく戻ることはない。

わたしの言葉はわたしの望むことを成し遂げ、

わたしがそれを送った目的を遂げる。

12 あなたがたは喜びのうちに出て行き、平和のうちに連れ戻される。

山々ともろもろの丘はあなたの前で歌い、

草地の木々はこぞってその手を打ち鳴らす。

13 いばらの代わりに糸杉が生え、

いら草の代わりにミルトスが生える。

このことはエホバについての証となり、

取り消されることのない永遠のしるしとなる。

## 第 56 章

1 エホバはこのように言われる。

「公正を守り、義を行いなさい。

わたしの義が現されるとき

わたしの救いがすぐに来るからである。

2 そのように行う人は幸いである。

それらを固く保つ人、

すなわち安息日を守って、これを汚すことのない人、

その手がいかなる悪も行わない人は幸いである。」

3 エホバに固く付き従う異国人に、

「エホバはわたしを御自分の民から締め出されるに違いない」と

言わせてはならない。

また、宦官に、「わたしは実を結ぶことのない一本の木にすぎない」と  
言わせてはならない。

4 エホバはこのように言われるからである。

「わたしの安息日を守り、  
わたしの思うところを行うことを選び、  
わたしの契約を固く守る宦官には、

5 わたしの家の壁の内で、

息子や娘にも勝る握手と名前を与える。  
わたしは彼らに、  
この後絶たれることのない永遠の名前を授ける。

6 また、エホバに固く付き従い、主に仕え、  
エホバの名を愛して主の僕となる異国人、  
すなわち安息日を守って、これを汚すことなく、  
わたしの契約を固く守るすべての者、

7 これらの者をわたしは聖なる山に連れ来て、  
わたしの祈りの家で喜ばせよう。

彼らの燔祭のささげ物と犠牲は  
わたしの聖壇の上で受け入れられるであろう。

わたしの家はすべての国民のための祈りの家として知られるからである。」

8 イスラエルの追いやられた者たちを集められる  
わたしの主、エホバはこのように言われる。

「わたしはすでに集められた者たちに加え、他の者たちも集めよう。」

9 野のすべての獣よ、森の動物よ、  
来て食べるがよい。

10 彼らの見張り人は皆、目が見えず、気づきもない。  
彼らは皆、ほえることができず口も利けない犬にすぎない。

まどろみを好む、のんびりした先見者だ。

11 貪欲な犬どもで、飽くことを知らない。

そのような者は実のところ、無頓着な羊飼いだ。  
彼らは皆、おのれの道へそれで行き、

おののが自分の利を追い求める。  
12 彼らは言う。「さあ、ぶどう酒を手に入れて、  
濃い酒をたらふく飲もう。  
明日も今日のようだろし、はるかによくなるに違いない。」

## 第57章

1 義人<sup>a</sup>が姿を消しても、  
それを心に留める者は誰もいない。  
信心深い者は他の場所に集められるが、  
差し迫る災難から  
義人が引き離されたことに気づく者は誰もいない。  
2 まっすぐに歩む者は平和を得て、  
それぞれの床に休む。  
  
3 女魔法使いの子らよ、姦夫と娼婦の子孫よ、  
あなたがたはここに来なさい。  
4 誰の支払いによって、あなたがたは自らを楽しませるのか。  
誰に向けて、あなたがたは口を大きく開け、舌を突き出すのか。  
確かにあなたがたは罪から生まれた、偽りの子孫だ。  
5 あなたがたは桺の木の間で、  
また芽吹きつつある、あらゆる木の下で情欲を燃やし、  
渓谷で、険しい岩山の下で  
子供たちをほふる者である。  
6 谷間の滑りやすい石の狭間があなたの運命である。  
まさにそれがあなたの取り分である。  
それらにあなたは酒を注ぎかけ、ささげ物をする。  
そのような物で、どうしてわたしはなだめられようか。  
  
7 高い山の上に  
あなたは人目に付く自らの床を設け、

---

<sup>a</sup>1 または「義にかなつた者」。

そこに上って犠牲をささげる。

8 扉と門柱の後ろに

あなたは自らのしるしを掲げ、

わたしにではなくほかの者に自分の身をさらした。

自分の床に上り、その床を広くさらけ出した。

そして、あなたは自らがともに寝るのを好む者と取引し、

その手を彼らの裸<sup>b</sup>の身に置いた。

9 あなたは王のための油に身を浸し<sup>c</sup>、

自分の香料を増し加える。

あなたは代弁者を遠く海外にまで遣わし、

その身を深い所<sup>d</sup>にまで落とす。

10 あなたは自らの行き過ぎた道によって疲れ果ててもなお、

絶望していることを認めなかつた。

あなたは暮らしの糧を見いだしたがために、

その勢いを弱めることはなかつた。

11 それなのに、あなたは誰をおもんばかりて不安に苛まれるのか。

誰をおもんばかりて取り繕い、

わたしについて口にすることも、考えることさえもしないのか。

それは、わたしが長らく沈黙してきたので

あなたはもはやわたしを恐れないからか。

12 しかし、わたしはあなたの不貞と、

あなたの事績の放縱さを暴く。

13 あなたがたが苦しみの叫びを上げるとき、

あなたがたに群がる者に助けてもらうがよい。

風が彼らを皆、運び去り、

煙が彼らを取り去る。

<sup>b</sup>8 直訳「前の部分」。

<sup>c</sup>9 ヘブライ語の語源 *sara* から来ている。

<sup>d</sup>9 ヘブライ語 *Sheol* または「地獄」。

しかし、わたしに避け所を求める者は地を所有し、  
わたしの聖なる山々において受け継ぎを得る。

14 次のように言われる。「土を盛りなさい。道を敷きなさい。  
道を備えなさい。  
わたしの民の道から妨げを取り除きなさい。」

15 高く上げられた方、  
永遠にとどまる方、その名が聖なる方は、  
このように言われる。  
「わたしは高く、聖なる所に住み、  
謙遜で靈のへりくだった者とともに住む。  
わたしはへりくだった者の精神を活気づけ、  
謙遜な者の心を回復させる。

16 わたしは限りなく争うこと、絶え間なく怒ることもしない。  
わたしが作った靈と魂はわたしの前に弱ってしまうから。

17 彼の貪りの罪を、わたしは怒った。  
彼が心のままに道からそれたとき、  
わたしは彼を打ち、怒ってわたしの顔を隠した。  
18 それでも、わたしは彼の行いを見たので、彼を癒そう。  
わたしは彼を導き、彼を十分に慰めよう。  
彼のために嘆く人々、

19 その唇の実を食べる<sup>e</sup>人々をも導き、慰めよう。  
遠くにいる人にも  
近くにいる人にも、平和と幸いがあるように」と、  
彼を癒されるエホバは言われる。

20 しかし、悪人は荒れ狂う海のようであり、  
休むことができず、  
その水はぬかるみと泥を吐き出す。

21 「悪人には平安がない」と、わたしの神は言われる。

---

<sup>e</sup>19 ヘブライ語 bore'（創造する）を bore に修正。

## 第 58 章

1 思う存分、大声で布告せよ。

ラッパのようにあなたの声を上げよ。

わたしの民に彼らの背きを、

ヤコブの家にその罪を告げ知らせよ。

2 それでも、彼らは毎日わたしを煩わせ、

わたしの道を学ぶことを切に願い求める。

あたかも義を行う国のように、

またその神の訓戒を捨てことなどないかのように。

彼らは正しい儀式について、わたしに尋ね求め、

さらに神に近づくことを望んでいる。

3 「わたしたちが断食するとき、

どうしてあなたは気づいてくださらないのか。

わたしたちは自分の体を苦しめているのに、

あなたは無関心のままでおられる。」

それはあなたがたがその断食の日に、自らの目的を追い求め、

自らのために労するすべての者をしいたげているからだ。

4 あなたがたは、荒々しく拳を振りかざし、

争いといさかいのただ中で断食する。

あなたがたの現在の断食は、

その声が高い所で聞かれるようなものではない。

5 これがわたしの求める断食であろうか。

人が自らを苦しめる時であろうか。

それは、人が頭を葦のように垂れ、

灰と粗布で寝床を整えるためにすぎないのか。

あなたがたはそれを断食と呼び、

エホバの喜ばしい恵みの日と呼ぶのか。

6 これがわたしの求める断食ではないか。

すなわち、不法な束縛から解放し、

くびきを掛けられた者の装具を解き、

- 虐げられた者を自由にし、  
あらゆる形の従属を廃すことではないか。
- 7 それは、飢えた者にあなたの食物を分け与え、  
惨めなほどに貧しい人を家に迎え入れ、  
着る物に乏しい人を見れば服を着せ、  
自分の肉親をおおざりにしないことではないか。
- 8 そうするとき、あなたの光は夜明けのように現れ、  
あなたの癒しは速やかに現れる。  
あなたの義はあなたの前を進み行き、  
エホバの栄光があなたのしんがりとなる。
- 9 そのとき、あなたが呼べば、エホバは応えてくださる。  
あなたが叫ぶと、エホバは、「わたしはここにいる」と言われる。  
まことに、あなたの中からくびきを取り去り、  
指差すことや侮辱の言葉をなくすならば、
- 10 また飢えた者に自分の分を与え、  
虐げられた者の必要を満たすならば、  
そのとき、あなたの光が闇の中に差し込み、  
あなたの薄明かりは真昼のようになる。
- 11 エホバは絶えずあなたを導き、  
欠乏のときにあなたの必要を満たし、  
あなたの手足に活力をもたらされる。  
そして、あなたは十分に潤った園のように、  
水の尽きることのない泉のようになる。
- 12 あなたから出る者たちは、いにしえの廃墟を再建し、  
あなたは何世代も前の基を回復する。  
あなたは倒れた城壁を再建する者、  
街路を修復して再び人の住む所とする者と呼ばれる。
- 13 あなたが安息日を足で踏みつけることなく、  
わたしの聖日に自分の目的を成し遂げることなく、  
安息日を喜びと見なし、

エホバの聖日を尊い日と見なすならば、  
 また日々の営みを控えることによって、  
 その日を尊ぶならば、  
 すなわち自分自身のことに追われることなく、  
 仕事のことを口にすることがなければ、  
 14 そのとき、あなたはエホバにあって喜びを得る。  
 わたしはあなたに地の高い所を通らせ、  
 あなたの父ヤコブの受け継ぎをもってあなたを養う。  
 エホバはその口によってこれを語られた。

## 第 59 章

- 1 確かに、エホバの手が救うのに短かすぎるようになったのでも、  
 その耳が遠くて聞こえにくくなつたのでもない。
- 2 あなたがたを神から引き離したのは、あなたがたの罪惡である。  
 あなたがたの罪が神の顔を隠すので、  
 神はあなたがたの声をお聞きにならないのだ。
- 3 あなたがたの手のひらは血で汚れ、  
 あなたがたの指は罪惡で汚れているからだ。  
 あなたがたの唇は悪知恵を語り、あなたがたの舌は偽りを吐く。
- 4 義を求めて声を上げる者は誰もおらず、  
 高潔な大義を求めて訴える者もいない。  
 彼らは偽って語られたむなし言葉に頼り、  
 悪行をはらんで、悪事を産み出す。
- 5 彼らはまむしの卵をかえし、くもの巣を紡ぐ。  
 その卵を食べる者は皆、死に、  
 卵がつぶれると、そこから蛇が出てくる。
- 6 そのくもの糸は服にはならず、  
 彼らが織り出すものは、自身の覆いにならない。  
 その業は悪事で成り立っており、  
 彼らは巧みに不正な取引をする。

- 7 彼らの足は悪を追い求めて走り回り、  
    罪なき血を流すために急ぎ行く。  
    彼らは悪事ばかりに心奪われており、  
    彼らが通った後に続くのは破壊と災難だ。
- 8 彼らは完全の道に精通しておらず、  
    その領域内には高潔さがない。  
    彼らは自分の道を曲げ、  
    その道を歩む者は誰も平和を知らない。
- 9 それゆえ、救済はいまだわたしたちから遠く  
    義はわたしたちに届かない。  
    わたしたちは光を探すも、そこには闇が広がっている。  
    かすかな希望の光を探すも、暗闇のただ中を歩く。
- 10 わたしたちは目が見えない者のように、端に沿って手探りをし、  
    目のない者のように、まごつきながら進む。  
    昼間でも、わたしたちは夜の暗がりにいるようにつまずき、  
    人生の盛りにあっても死人のようである。
- 11 わたしたちは皆、熊のようにうなり、  
    鳩のように絶え間なく声を発する。  
    公平を待ち望んでも、それは見当たらず、  
    救いを望んでも、それはわたしたちから離れていく。
- 12 わたしたちの背きはあなたの前に増すばかりであり、  
    わたしたちの罪はわたしたちに不利な証言をするからである。  
    わたしたちのとがは明らかであり、  
    わたしたちは自分の悪事を承知している。
- 13 すなわち、故意にエホバを拒み、  
    わたしたちの神に従うことから遠ざかり、  
    よこしまにも強奪の策を企て、  
    不法な取引を思い巡らせてきた。
- 14 それゆえ、救済はやむを得ず退けられ、  
    義は遠く離れて立つほかない。

真理は公の場でつまずき、  
正しさは入ることができない。

15 高潔さが失われるとき、

悪を避ける者は餉食となる。

エホバは公正がないのを御覧になり、

不快に思われた。

16 主はそれを見て、驚き怪しまれた。

なぜ誰もいないのか、執り成す者は一人もいないのか。

そのため、主御自身の腕が御自身のために救いをもたらし、

主の義がその大義のもとに集まった。

17 主は義を胸当てとして、その身に着け、

救いをかぶととして、その頭にかぶり、

報復を衣として、その身にまとい、

上着として、激しい怒りの中にその身を包まれた。

18 主はそのふさわしさに応じて彼らに報いを与えられる。

その敵対者に激しい憤りをもって報われ、

その敵に報復を与えられる。

島々に天罰を下される。

19 人々は西の方角から全能のエホバ<sup>a</sup>を恐れ、

日の昇る方角からその栄光を恐れる。

主は激流のように彼らに臨まれるからだ。

エホバの御靈に驅り立てられて。

20 しかし、エホバは言われる。

「主は贖い主としてシオンに来る。

背きを悔い改めるヤコブの民に来る。」

21 エホバは言われる。「わたしに関して言えば、これが彼らと交わすわたしの契約である。あなたの上にあるわたしの御靈と、あなたの口に置いたわたしの言葉は、あなたの口からも、あなたの子孫の口からも、その子孫の口からも、

<sup>a</sup>19 直訳「エホバの名」。

今よりとこしえに離れることはない。」

## 第 60 章

1 起きよ、光を放て。あなたの光が差し始めた。

エホバの栄光があなたの上に昇った。

2 闇が地を覆い、

深い霧がもろもろの民を覆うが、

あなたの上にはエホバが光を放たれ、

主の栄光があなたの上に現れる。

3 国々の民はあなたの光のもとに来る。

その王たちはあなたの夜明けの輝きのもとに来る。

4 目を上げて、見渡してみよ。

彼らは皆、集まってあなたのもとに来た。

あなたの息子たちは遠くからやって来、

あなたの娘たちはあなたの傍らに戻って来る。

5 そのとき、それを見てあなたの顔は輝き、

あなたの心は畏敬の念に満ちる。

多くの海があなたを頼りにし、

多くの国があなたの内に入ってくる。

6 らくだの大群があなたの地<sup>a</sup>を覆い、

ミディアンとエファのひとこぶらくだもまた地を覆う。

シェバの人々は皆やって来る。

金や乳香を携えて、

エホバの誉れを告げ広めながら。

7 ケダルのすべての群れはあなたのもとに集まり、

ネバヨトの雄羊はあなたに仕える。

彼らはわたしの聖壇のささげ物として受け入れられ、

こうしてわたしは自分の栄光の家を輝かしい所とする。

---

<sup>a</sup>6 ヘブライ語「あなた」。

- 8 雲のように空高く飛び、  
   鳩のようにその門口に飛んでくるこれらの者は誰か。
- 9 彼らは島々からわたしのもとに集まつてくる。  
   タルシシュの船を先頭に、  
   あなたの子らを遠くから連れ戻すために、  
   その銀や金を携えて、  
   あなたを輝かしい者とされた  
   あなたの神、全能のエホバ<sup>2</sup>のもとに。  
   イスラエルの聖者のもとに。
- 10 異国人たちがあなたの城壁を再建し、  
   その王たちがあなたに仕える。  
   わたしは怒りのうちにあなたを打ったが、  
   喜んであなたに憐れみを示そう。
- 11 あなたの門は常に開いており、  
   昼も夜も閉ざされることはない。  
   多くの国があなたのもとに連れて来られ、  
   その王たちも伴われて来るよう。
- 12 そして、あなたに仕えようとしない  
   国や王国は滅びる。  
   そのような国々はことごとく荒れ廃れる。
- 13 レバノンの栄華はあなたのものとなる。  
   糸杉、松、もみの木もともにあなたのものとなる。  
   それらはわたしの聖所の敷地を美しくし、  
   わたしの足を置く場所を輝かしくする。
- 14 あなたを苦しめた者たちの息子は  
   あなたの前に身をかがめるようになり、  
   あなたを罵った者たちは皆、あなたの足元にひれ伏す。  
   彼らはあなたをエホバの町、  
   イスラエルの聖者のシオンと呼ぶ。

<sup>2</sup>9 直訳「エホバの名」。

15 あなたは見捨てられ、忌み嫌われ、  
あなたの地を通る者は誰もいなかつたが、  
それでもわたしはあなたを永遠の誇りとし、  
代々の喜びとする。

16 あなたは國々の乳を飲み、  
王たちの乳房から飲む。  
そのときあなたがたは知る。  
わたし、エホバはあなたの救い主であり、  
あなたの贖い主はヤコブの勇者であることを。

17 わたしは銅の代わりに金を、  
鉄の代わりに銀を、  
木の代わりに銅を、  
石の代わりに鉄をもたらす。  
わたしは平和をあなたの統治者とし、  
義をあなたの圧制者とする。

18 あなたの地で圧政について聞くことはなくなり、  
あなたの境の内で強奪や災難について聞くこともなくなる。  
あなたは救いをあなたの城壁とし、  
忠誠をあなたの門と見なす。

19 昼に太陽があなたの光となることはなくなり、  
夜に月の輝きが  
あなたの明かり<sup>b</sup>となることもなくなる。  
エホバがあなたの永遠の光となり、  
あなたの神があなたの光輝く栄光となられるからだ。

20 あなたの太陽はもはや沈むことがなく、  
あなたの月が衰えることもない。  
あなたの嘆きの日々が終わるとき、  
エホバはあなたにとって尽きることのない光となられる。

---

<sup>b</sup>19 囮と匱のとおり。匱にはない。

- 21 あなたの民はすべて義となり、  
彼らはとこしえに地を受け継ぐ。  
彼らはわたしが植えた枝であり、  
わたしの手の業である。それによってわたしは栄光を得る。
- 22 彼らのうち最も小さい者は氏族となり、  
最も若い者が強大な国となる。  
わたしエホバは、定められた時に、それを速やかになります。

## 第 61 章

- 1 わたしの主エホバの靈が、わたしの上にある。  
エホバがわたしに油を注がれたからである。  
へりくだつた者によきおとずれを告げ知らせるために。  
主はわたしを遣わされた。心の打ち碎かれた者を包み、  
囚われ人たちに自由を告げ、  
つながれている者たちの目を開けるために。
- 2 エホバの慈しみの年と  
わたしたちの神の報復の日を告げ広めるために。  
すべての嘆き悲しむ者を慰めるために。
- 3 シオンで嘆き悲しむ者に、  
灰に代わって  
祭司の頭飾りを授け、  
嘆きに代わって祝いの油注ぎを、  
打ち沈む心に代わって華やかな衣を授けるために。  
彼らはエホバが御自分の栄光のために植えられた  
義の桺の木と呼ばれる。
- 4 彼らはいにしえの廃墟を再建し、  
古い荒廃した所を復興する。  
彼らは何世代も前に取り崩され、  
荒れ廃れた町々を新たにする。
- 5 他国人があなたがたの家畜の群れの世話を放牧し、

異国人があなたがたの農夫となり、ぶどうを育てる者となる。

6 しかし、あなたがたはエホバの祭司と呼ばれ、

わたしたちの神に仕える者と呼ばれる。

あなたがたは国々の富を食べ、

彼らの選り抜きの食物で満足する。

7 彼らの<sup>a</sup>恥は二倍であり、

大声で侮辱されるのが彼らの定めであったので、

その地における

彼らの受け継ぎは二倍となり、

永遠の喜びが彼らのものとなる。

8 わたしエホバは公正な行いを愛するが、

いけにえをささげる者たちの強奪を忌み嫌うからである。

わたしは彼らに確かな報いを定め、

彼らと永遠の契約を結ぶ。

9 彼らの子孫は国々の間で名高くなり、

その末裔はもろもろの民の中で名高くなる。

彼らを見る者は皆、

彼らがエホバの祝福された血筋の者であることを認める。

10 わたしはエホバを大いに喜び、

わたしの魂はわたしの神に喜びを感じる。

主は救いの衣をわたしに着せ、

義の上着でわたしを着飾ってくださるからだ。

祭司の衣装を身にまとった花婿のように、

あるいは宝石で飾り立てた花嫁のように。

11 地が草木を芽生えさせるように、

また、庭がそこにまかれたものを芽生えさせるように、

わたしの主エホバはすべての國の前で、

義と誉れとを芽生えさせてくださる。

---

<sup>a</sup>7 ヘブライ語「あなたの」。

## 第62章

1 シオンのために、わたしは黙ってはいない。

エルサレムのために、わたしは沈黙したまではいない。

シオンの義が光のように輝き、

その救いがたいまつのように燃え立つまでは。

2 国々はあなたの義を見、

彼らの統治者は皆、あなたの栄光を見る。

あなたはエホバの口から授けられた

新しい名によって呼ばれる。

3 そのとき、あなたはエホバの手の中で

栄光の冠となり、

あなたの神の手のひらの中で王冠となる。

4 あなたはもはや「見捨てられた者」と呼ばれず、

あなたの地が「荒廃した地」と呼ばれることもない。

あなたは「わたしの喜ぶ者」として知られ、

あなたの地は「配偶者のある地」と見なされる。

エホバはあなたを喜ばれ、

あなたの地は配偶者を得るからである。

5 若い男がおとめを娶るように、

あなたの息子たちはあなたを娶る。

花婿が花嫁を喜ぶように、

あなたの神はあなたを喜ばれる。

6 エルサレムよ、わたしはあなたの城壁の上に見張り人を任じた。

彼らは昼も夜も黙っていない。

あなたがた、エホバを呼び求める者たちよ、休んではならない。

7 主がエルサレムを再建し、地において広く知らしめられるまで、

主が休まれないようにせよ。

8 エホバはその右の手、その力強い腕によって誓われた。

- 「わたしは二度とあなたの穀物をあなたの敵の食物にさせはしない。  
あなたが勞して得た新しいぶどう酒を異国人に飲ませはしない。」
- 9 収穫した者がそれを食べ、  
エホバを褒めたたえる。  
集めた者がわたしの聖所の囲いの内でそれを飲む。」
- 10 通り過ぎよ、門を通って行け。  
民のために道を備えよ。  
土を掘り、石を取り除いた大路を敷け。  
国々に向けて旗を揚げよ。
- 11 エホバは地の果てにまで布告された。  
「シオンの娘に告げなさい。  
見よ、あなたの救いは来る。  
主の報いは主とともにあり、その業は主に先立つ。」
- 12 彼らは『聖なる民』、  
『エホバに贖われた者』と呼ばれる。  
そして、あなたは『必要とされる者』、  
『決して見捨てられることのない町』として知られるようになる。」

## 第 63 章

- 1 「赤く染まった衣を着てエドムから来るこの者は誰か。  
威厳のある装いでボズラから来るこの者は誰か。  
その者は、自身の権威の力をもって進んで来る。  
それはわたしであり、  
救いの力を持ち、義を告げ知らせる者である。」
- 2 「なぜあなたの装いは赤く、あなたの衣は  
酒ぶねの中でぶどうを踏む者のようであるのか。」、
- 3 「わたしは一人で酒ぶねを踏んだ。  
国々のうち、誰一人わたしとともにいる者はいなかつた。  
わたしは怒りのうちに彼らを踏み、  
激しい憤りのうちに彼らを踏みにじつた。」

彼らの血がわたしの衣に飛び散り、  
わたしの装いをすっかり染めてしまったのだ。

4 わたしは報復の日を心に定めており、  
わたしの贖われた者たちの年が来たからである。

5 わたしは辺りを見回したが、誰一人助けようとする者はなく、  
ひたすら見詰めたが、誰一人支えようとする者もいなかつた。  
そこでわたし自身の腕がわたしのために救いをもたらし、  
わたしの激しい憤りがわたしを支えた。

6 わたしは、怒って国々を足の下に踏みつけた。  
彼らの栄光を地に投げ落としたときに、  
わたしは彼らをわたしの憤りで酔わせた。」

7 わたしはエホバを褒めたたえ、  
エホバの愛に満ちた慈しみを語り告げる。  
エホバがわたしたちのためにされたすべてのことにより、  
また主が憐れみに満ち、この上ない寛容をもって  
イスラエルの家に施してくださった、  
大いなる優しさにより語り告げる。

8 主はこう思われたからだ。「確かに、彼らはわたしの民、  
裏切ることのない息子たちだ」と。  
それで、主は彼らの救い主となられた。

9 彼らのすべての苦しみによって、主御自身も苦しまれ、  
御前の天使が彼らを救い出した。  
主御自身が、愛と憐れみによって、  
彼らを贖われた。  
主は昔からいつも  
彼らを持ち上げ、運んでくださった。

10 それでも彼らは逆らい、主の聖なる御靈を悲しませ、  
主はついに彼らの敵となり、  
主御自身が彼らと戦われた。

11 そのとき、主の民<sup>a</sup>は昔のモーセ<sup>b</sup>の時代を思い出した。

　主の群れの羊飼いとともに、

　海から彼らを連れ出された方は、どこにおられるのか。

　彼の内に聖なる御靈を置かれた方は、どこにおられるのか。

12 それは、御自分の栄光に輝く腕を

　モーセの右の手に伴わせた方であり、

　彼らの前で水を分け、

　永遠の名聲を得られた方である。

13 そのときに深みを通して彼らを導き出された方である。

　砂漠の馬のように、彼らはつまずくことがなかった。

14 谷間の斜面を降りて行く牛のように、

　彼らを導いたのは、エホバの御靈であった<sup>c</sup>。

　エホバよ、そのようにあなたは御自分の民を導かれ、

　輝かしい名聲を得られた。

15 天から見下ろし、

　あなたの栄光に輝く聖なる天の住まいから御覧ください。

　あなたの熱意とあなたの力は今どこにあるのですか。

　あなたの胸の切なる思いと憐れみは

　わたしたちから隠されています。

16 確かに、あなたはわたしたちの父です。

　たとえアブラハムがわたしたちを知らず、

　イスラエルがわたしたちを認めなくとも、

　エホバよ、あなたはわたしたちの父です。

「永遠にわたるわたしたちの贖い主」とはあなたの御名です。

17 エホバよ、なぜわたしたちをあなたの道から迷い出させられたのですか。

　なぜわたしたちの心をかたくなにし、

　あなたを恐れないようにされたのですか。

---

<sup>a</sup>11 言葉の入れ替え。本文では「モーセ」の後に続く。

<sup>b</sup>11 直訳「いにしえの、モーセの」。

<sup>c</sup>14 囮と同じ。囮「彼らに安息を与えた」。

立ち返ってください<sup>a</sup>、あなたの僕たちのために、  
あなたの受け継ぎである部族に。

18 しかし、あなたの民が聖なる場所を所有したのはわずかな間で、  
わたしたちの敵があなたの聖所を踏みにじりました。

19 わたしたちはあなたがかつて統治されたことのない民、  
あなたの名によって知られることのなかった民のようになりました。

## 第 64 章

1 あなたが天を裂いて降りて来て、  
山々があなたの前に溶けますように。

2 水を沸かすために火をつけると、  
熱で水が沸き立つときのように、  
あなた御自身をあなたの敵に知らせ、

3 昔あなたが降りて来て、  
わたしたちが予想もしなかった恐るべきことをされ、  
山々があなたの前に震えたときのように。

4 神を待ち望む者たちのためにこのようになさる方は、  
あなたのほかに、これまで聞いたことも、耳にしたこと、  
目で見たこともありません。

5 しかし、喜んで義を行い、  
あなたの道に従うことによってあなたを覚えるわたしたちを、  
あなたは傷つけられます。

<sup>a</sup>それは、あなたの道にあって、わたしたちが救われるためです<sup>a</sup>。

ああ、わたしたちが罪を犯したとき、あなたはお怒りになられました。

6 今、わたしたちは皆ともに汚れた者のようになり、  
わたしたちの義をすべて合わせても汚れたぼろきれに過ぎません。  
わたしたちは皆、木の葉のように枯れつつあり、

<sup>a</sup>17 または「戻る／立ち返る」。

<sup>a</sup>5 フレーズの入れ替え。本文では「罪を犯した」に続く。

わたしたちの罪は、風のようにわたしたちを運び去ります。

7 それでも、あなたの名を呼ぶ者は誰もおらず、  
奮い立ってあなたに取りすがる者もいません。  
それはあなたが御自分の顔をわたしたちから隠し、  
わたしたちの罪悪の手でわたしたちを弱められた<sup>b</sup>からです。

8 それにもかかわらず、エホバよ、あなたはわたしたちの父です。  
わたしたちは粘土で、あなたは陶器師です。

9 エホバよ、激しくお怒りにならないでください。  
罪悪をいつまでも覚えていないでください。

御覧ください、わたしたち皆があなたの民であるということを  
思し召してください。

10 あなたの聖なる町々は荒れ野になっています。  
シオンは砂漠であり、エルサレムは荒れ地です。

11 わたしたちの先祖があなたを褒めたたえた  
わたしたちの栄光に満ちた聖なる神殿は、  
火で焼かれてしまい、  
わたしたちにとって大切な場所はすべて荒れ廃れました。

12 エホバよ、それでもなお、あなたは御自分を抑えて黙し、  
わたしたちをそれほどに甚だしく苦しめられるのですか。

## 第 65 章

1 わたしに<sup>a</sup>尋ね求めなかつた者でもわたしを見いだすことができ、  
わたしを捜し求めなかつた者でもわたしに近づくことができた。  
わたしは、わたしの名を呼び求めなかつた国民に言った、  
「わたしはここにいる、わたしはここにいる」と。

---

<sup>b</sup>7 直訳「溶けた」。

<sup>c</sup>8 団と匂のとおり。60:21 や諸所と比較。匂「手」。

<sup>a</sup>1 団と匂のとおり。匂にはない。

2 わたしは反抗的な民に、終日わが手を差し伸べていた。

彼らは自分自身の空想を追い、

良くない道に歩む。

3 この民は絶えずわたしの面前でわたしを挑発し、

園の中で犠牲をささげ、れんがの上で煙をたく。

4 彼らは墓場に座り、隠れ家で夜を過ごし、

豚の肉を食べ、

その器は汚れた煮汁があふれている。

5 そして思う。「近寄るな。

わたしのそばに来るな。わたしはあなたよりも聖いのだから」と。

そのような者は、わたしの鼻にとって煙であり、

一日中くすぶっている火である。

6 見よ、わたしの前にはこう記されている。

「彼らの懷に報復する<sup>b</sup>まで、わたしは黙していない。

7 彼ら<sup>c</sup>自身の罪悪と、その<sup>c</sup>先祖の罪悪に対しても同様である」

と、エホバは言われる。

「山々で犠牲を燃やす者、

もろもろの丘の上でわたしを侮辱する者に向けて、

わたしはその膝に、これまで蓄積してきた報いを量り与える。

8 エホバは、このように言われる。

「ぶどうの房にまだ果汁が残っていて、

誰かが『それを潰すな。まだ役立つのだから』と言うときのように、

わたしは僕たちのために行い、

ことごとく滅ぼすことをしない。

9 わたしはヤコブから子孫を、

またユダからわたしの山々を受け継ぐ者を抜き出す。

わたしの選んだ者たちがそれらを受け継ぎ、

わたしの僕たちがそこに住む。

<sup>b</sup>6 本文では「そして報復し」と追加されている。恐らく重複と思われる。

<sup>c</sup>7 国のとおり。國「あなたの」。

10 シャロンは家畜の群れのための牧場となり、  
アコルの谷はわたしを捜し求める  
わたしの民の群れのための休み場となる。

11 あなたがた、エホバを見捨て、  
わたしの聖なる山を忘れ、  
幸運のために食卓を整え、  
繁栄のために混ぜたぶどう酒を注ぐ者よ、

12 わたしはあなたを剣に渡すことを定める。  
あなたがたは皆、虐殺されて倒れる。  
わたしが呼んだときに、あなたがたは答えず、  
わたしが語ったときに、あなたがたは心に留めなかつたからだ。  
あなたがたはわたしの目に悪しきことを行い、  
わたしの思いに反することを行うことを選んだ。」

13 それゆえ、わたしの主エホバはこのように言われる。  
「まことにわたしの僕たちは食べるが、  
あなたがたは飢える。  
まことにわたしの僕たちは飲むが、  
あなたがたは渴く。  
まことにわたしの僕たちは喜ぶが、  
あなたがたはうろたえる。

14 わたしの僕たちは心を喜ばせて叫ぶが、  
あなたがたは心を痛めて泣き叫び、  
魂が打ち碎かれて泣きわめく。

15 わたしの主エホバがあなたがたを殺されるとき、  
あなたがたの名は  
わたしの選んだ者たちにとって呪いとなるだけだ。  
しかし、主の僕たちを、主は別の名で呼ばれる。

16 地において自らのために祝福を祈り求める者は、  
真実の神によって祝福を求め、  
地において誓いを立てる者は、

真実の神によって誓いを立てる。  
 かつての苦難は忘れられ、  
 わたしの目から隠される。

- 17 見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。  
 以前の出来事は覚えられること、  
 思い起こされることもない。
- 18 それであるから、楽しみ、わたしが創造するものをとこしえに喜びなさい。  
 見よ、わたしはエルサレムを造って楽しみとし、  
 その民を喜びとする。
- 19 わたしはエルサレムを楽しみ、  
 わたしの民を喜ぶ。  
 そこではもうすすり泣く声も、苦しみの叫びも聞かれなくなる。
- 20 そこにはもはや、数日しか生きない乳飲み子はおらず、  
 寿命を全うしない老人もいない。  
 若くして死ぬ者は百歳であり、  
 百歳に満たずして死ぬ者は呪われた者となる。
- 21 人々は家を建ててそこに住み、  
 ぶどう畑に植えてその実を食べる。
- 22 彼らが建ててほかの人が住むことはなく、  
 彼らが植えてほかの人が食べることもない。  
 わたしの民の寿命は樹木の寿命のようになり、  
 わたしが選んだ者たちは自分らの手の業よりも長らえる。
- 23 彼らは無駄に勞することがなく、  
 産んだ子らが災難に遭うこともない。  
 彼らはエホバが祝福された者たちの血筋の者であり、  
 その子孫は彼らとともにいるからである。
- 24 彼らが呼ぶ前にわたしは答え、  
 彼らがまだ話しているうちにわたしは答える。
- 25 おかげと子羊は同じように草をはみ、

獅子は雄牛のようにわらを食べる。  
へびについては、ちりがその食べ物となる。  
「わたしの聖なる山のどこにおいても  
危害を加えたり、傷を負わせたりすることがない」と、エホバは言われる。

## 第 66 章

- 1 エホバはこのように言われる。

「天はわたしの王座、  
地はわたしの足台である。  
あなたがたは、わたしにどのような家を建てようとするのか。  
どのような所が、わたしの休息の場となるのか。
- 2 これらはすべて、わたしの手が造ったものであり、

こうして、すべての物が存在するようになった」と、エホバは言われる。  
「それでもなお、へりくだり悔いる靈を持つ者、  
わたしの言葉に細心の注意を払う者を、  
わたしは心に留める。
- 3 しかし、雄牛を殺す者は誰でも、

人を殺す者と同様であり、  
子羊を犠牲としてささげる者は誰でも、  
犬の首を折る者と同様であり、  
穀物のささげ物を差し出す者は誰でも、  
豚の血をささげる者と同様であり、  
香をたく者は誰でも、  
偶像をあがめる者と同様である。
- 4 彼らが自らの道を行くことを好んだように、

彼らの魂は自らの忌まわしい行いを喜ぶ。
- 4 それであるから、わたしは彼らに対して計略を定め、

彼らがひどく恐れることを彼らにもたらす。  
それは、わたしが呼んだときに誰も応えず、  
わたしが語ったときに誰も心に留めなかつたからだ。

彼らはわたしの目に悪しきことを行った。

彼らはわたしの思いに反することを行うことを選んだ。」

5 エホバの声を聞け、

あなたがた、主の言葉に細心の注意を払う者たちよ。

「わたしの名のためにあなたがたを忌み嫌い、

あなたがたを締め出す、

あなたがたの兄弟たちは言う。

『エホバに、その栄光を現させ、

あなたがたが喜ぶ大義を我々が知ることができるようさせよ』と。

しかし、恥を受けるのは彼らである。」

6 聞きなさい、町からの騒ぎ声を、神殿からの騒音を。

それは、御自分の敵に当然の報いをお与えになるエホバの声である。

7 彼女は産みの苦しみが臨む前に産み、

陣痛の苦しみが襲いかかる前に、息子を産む。

8 誰がそのようなことを聞いたことがあろうか。

誰がそのようなことを見たことがあろうか。

地が一日だけ苦しみ、

すぐに一つの国が生まれるということがあろうか。

ところが、シオンは産みの苦しみが臨むやいなや、

その子らを産んだ。

9 「わたしが陣痛の難局に臨ませておきながら、

出産に至らせないことがあろうか」と、エホバは言われる。

「わたしが出産を引き起こした者であるのに、

自らそれを妨げることがあろうか」と、あなたの神は言われる。

10 「エルサレムとともに喜び、彼女のために心を喜ばせよ、

彼女を愛するすべての者よ。

彼女の祝いの宴に加わるがよい、

彼女のために悲しみ嘆くすべての者よ。

11 これからは彼女の慰めの胸から

飲んで満ち足りなさい。

彼女の豊かな胸<sup>a</sup>から心ゆくまで飲むがよい。」

12 エホバはこのように言われるからである。

「見よ、わたしは平和を川のように彼女のもとに至らせ、

国々の豊かさ<sup>b</sup>を洪水の流れのように与える。

そのとき、あなたがたは乳を飲み、腰の上に乗せて運ばれ、

膝の上であやされる。

13 母に慰められる子供のように、

わたしはあなたがたを慰める。

エルサレムのゆえに、あなたがたは慰められるからだ。」

14 あなたがたの心はそれを見て喜び、

あなたがたの手足は新芽の伸びる草のように活気にあふれる。

そのとき、エホバの手が主の僕たちの中に現され、

その激しい怒りが主の敵の中に現される。

15 見よ、エホバは火とともに来られる。

その戦車は旋風のようだ。

主は猛り狂う怒りをもって報復し、

燃え盛る火をもって叱責するために来られる。

16 エホバは火と御自分の剣をもって

すべての肉なる者に裁きを下されるからだ。

そして、エホバに殺される者は多い。

17 「園で不貞を犯す熱狂的な信奉者、また中心となる信奉者で、豚や蛭、ねずみの類の肉を食べる者たちはどうかと言えば、彼らは〔その慣行や概念〕とともに終焉を迎える」と、エホバは言われる。

18 「わたしはあらゆる国民と国語の民を集めるために来る<sup>d</sup>。彼らが近づいてわたしの栄光を見ることができるようにするためである。

<sup>a</sup>11 または「榮光」。

<sup>b</sup>12 または「榮光」。

<sup>c</sup>17 18 節の「わたしは～」に続くところから移動。

<sup>d</sup>18 ヘブライ語 *ba'a*(来る;女性形単数)を *ba'*に修正。

19 そして、わたしは彼らにしを与え、その中で生き残った者たちを、わたしについての知らせを聞いたことがなく、わたしの栄光を見たこともない国々に遣わす。タルシシ、プル、ラド(射手)に向けて、またトバル、ヤワン、遠くの島々に向けて。そして彼らは国々の間でわたしの栄光を告げ知らせ、20 国々の各地からあなたがたの兄弟たちすべてをエホバへのささげ物として、わたしの聖なる山であるエルサレムに連れ戻す。馬や馬車、幌馬車で、ラバ、ひとこぶらくだに乗せて連れ戻す」と、エホバは言われる。「それはイスラエルの民が、ささげ物を清い器に入れてエホバの宮に携えて来たのと同じである。21 彼らの中からも、わたしは祭司やレビ人となる人々を受け入れる」と、エホバは言われる。

22 エホバは言われる。「わたしが造る新しい天と新しい地が、わたしの前にいつまでも続くように、あなたがたの子孫と名もいつまでも続く。23 そして、新月ごと、安息日ごとに、すべての肉なる者たちはわたしの前に来て礼拝する」と、エホバは言われる。24 「そして、彼らは出て行き、わたしに背いた者たちのしかばねを見る。それにつくうじは絶えず、その火は消えることがない。それは、すべての肉なる者に忌み嫌われるものとなる。」

## 参考文献

- Alcalay, Reuben. *The Complete English-Hebrew, Hebrew-English Dictionary*. Jerusalem: Massada, 1970.
- Biblia Hebraica*, ed. Rudolph Kittel. Stuttgart: Wurttembergische Bibelanstalt, 1973.
- Botterweck, G. Johannes, and Helmer Ringgren. *Theological Dictionary of the Old Testament*. Grand Rapids: Eerdmans, 1977.
- Brown, Francis, S. R. Driver, and Charles A. Briggs. *A Hebrew and English Lexicon of the Old Testament*. Oxford: Clarendon, 1974.
- Burrows, Millar. *The Dead Sea Scrolls of St. Mark's Monastery*. Vol. 1. New Haven: American Schools of Oriental Research, 1950.
- Even-Shoshan, Avraham. *Hamilon Hehadash*. 3 vols. Jerusalem: Sivan, 1975.
- Guillaume, Alfred. "Some Readings in the Dead Sea Scroll of Isaiah." *Journal of Biblical Literature* (1957), 40-43.
- Hulst, A. R. *Old Testament Translation Problems*. Leiden: Brill, 1960.
- James, Forrest D. "A Critical Examination of the Text of Isaiah." Ph. D. dissertation, Boston University, 1959.
- Mandelkern, Solomon. *Veteris Testamenti Concordantiae*. Tel Aviv: Schocken, 1974.
- Rosenbloom, Joseph R. *The Dead Sea Isaiah Scroll: A Literary Analysis*. Grand Rapids: Eerdmans, 1970.
- The *Interpreter's Bible*. Vol. 5. Nashville: Abingdon, 1956.

*The Septuagint Version.* Grand Rapids: Zondervan, 1970.  
Young, Robert. *Analytical Concordance to the Bible.* New York:  
Funk and Wagnall's, 1973.

## 日本語版参考文献

新日本聖書刊行会 (2017)『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社  
日本聖書協会 (2018)『聖書 聖書協会共同訳』日本聖書協会  
共同訳聖書実行委員会 (1987)『聖書 新共同訳』日本聖書協会  
日本聖書協会 (1955)『口語訳聖書』日本聖書協会

[著者]

アブラハム・ギレアディ

オランダ出身。第二次大戦後に家族でニュージーランドに移住。20代のときにイスラエルに5年間移住の経験を持つ。エルサレムのラビ養成学校に通い、ヘブライ語やユダヤ人の文化、ユダヤ人特有の聖典の分析方法を学ぶ。米国ブリガム・ヤング大学にて修士号と博士号取得(ヘブライ語聖書と古代近東学)。博士課程修了後10年におよぶ研究を基に発見したイザヤの文学手法に基く著書を多数出版し続けている。

[翻訳者]

下川 健一(しもかわけんいち)

滋賀県出身。現在、長野県伊那市在住。2010年に米国ブリガム・ヤング大学大学院にて博士号取得(臨床心理学)。米国ノースウェスタン大学ファミリーインスティチュート博士研究員、同大学心理学部大学院講師(カウンセリング心理学)を経て2012年に帰国。帰国後、メンタルヘルス・カウンセリングやコンサルテーションに従事。現在、一般社団法人イザヤ研究所インターナショナル代表、下川心理学臨床カウンセリング・オフィス代表、およびオリーブ出版代表。

## イザヤ書の分析的翻訳

---

2026年1月9日 電子版発行

著 者 アブラハム・ギレアディ

訳 者 一般社団法人 イザヤ研究所インターナショナル 翻訳部一同

発行者 下川 健一

発行所 一般社団法人イザヤ研究所インターナショナル

〒396-0301 長野県伊那市高遠町藤沢 3990

TEL: 050-3138-4840

---

表 紙 デビッド・クリステンソン

この作品のいかなる部分も、記事やレビューに含まれる簡単な引用を除き、出版社の書面による許可なしに複製することはできません。

---

© 2026 Isaiah Institute International

All rights reserved.

Printed in Japan

ISBN978-4-910531-04-5